

明治四十四年七月

東西蠶業講習所
上田蠶絲專門學校
長野・福島
兩縣立蠶業學校

入學試驗問題集

東京 明文堂 發行

268

233

特26

177

明治四十四年七月

東西蠶業講習所
上田蠶絲專門學校
長野・福島
兩縣立蠶業學校

入學試驗問題集

明治
44. 8. 12
内交

東京 明文堂發行

目次

一 西ヶ原蠶業試験場入學試験問題	一
一 蠶業講習所入學試験問題	三
一 東京蠶業講習所養蠶本科生入學試験問題	一四
一 同 養蠶別科生入學試験問題	一九
一 同 製絲本科男生入學試験問題	二四
一 同 製絲本科女生入學試験問題	二六
一 同 製絲別科女生入學試験問題	二七
一 上田蠶絲専門學校本科生入學試験問題	九七
一 長野縣立小縣甲種蠶業學校本科生入學試験問題	一〇三
一 福島縣立蠶業學校本科生入學試験問題	一一五
附 錄	
一 東京蠶業講習所規程	一
一 京都蠶業講習所規程	一七
一 上田蠶絲専門學校規程	三五
一 長野縣立小縣甲種蠶業學校規程	四三
一 福島縣立蠶業學校規程	五五
一 高山社蠶業學校規程	六九
一 競進社蠶業學校規程	八一

入學試驗問題集

西ヶ原蠶業試驗場入學試驗問題

明治二十五年入學試驗問題

- 一 凡桑樹ハ其栽植ノ深淺又ハ疎密ニ由リ成長ニ遲速アリ收穫ニ多寡アリ榮枯ニ長短アリト云フ各實驗上ノ得失ヲ示セ
- 二 良好健全蠶種ヲ製造セント欲スルトキハ如何ナル方法ヲ用ユベキヤ
- 三 五石ノ繭ヲ收ムルニ要スル蠶室ノ坪數蠶箔簇(蠶箔簇共尺坪ヲ以テ其面積ヲ記セ)及ヒ飼育人夫ノ數如何
- 四 給桑上ヨリ蠶兒ノ發育ニ不齊ヲ生スル主因ハ如何
- 五 蠶量五匁ヲ掃下シ飼育中每齡五分宛蠶兒ヲ減耗シ上簇迄ニ二割五分ヲ減シタルトキハ幾何ノ桑葉ヲ費シ幾許ノ繭ヲ收ムベキヤ

明治二十六年入學試驗問題

- (1)
- 一 今新ニ桑園ヲ設ケントスルモノアリ早、中、晚桑ノ割合ハ各幾何ニシテ一反歩ニ付幾株宛何時頃如何ニ栽植セハ可ナルヤ

官立蠶業講習所
蠶業學校

入學試驗問題集

西ヶ原蠶業試驗場入學試驗問題

明治二十五年入學試驗問題

- 一 凡桑樹ハ其栽植ノ深淺又ハ疎密ニ由リ成長ニ遲速アリ收穫ニ多寡アリ榮枯ニ長短アリト云フ各實驗上ノ得失ヲ示セ
- 二 良好健全蠶種ヲ製造セント欲スルトキハ如何ナル方法ヲ用ユベキヤ
- 三 五石ノ繭ヲ收ムルニ要スル蠶室ノ坪數蠶箔簇(蠶箔簇共尺坪ヲ以テ其面積ヲ記セ)及ヒ飼育人夫ノ數如何
- 四 給桑上ヨリ蠶兒ノ發育ニ不齊ヲ生スル主因ハ如何
- 五 蟻量五匁ヲ掃下シ飼育中毎齡五分宛蠶兒ヲ減耗シ上簇迄ニ二割五分ヲ減シタルトキハ幾何ノ桑葉ヲ費シ幾許ノ繭ヲ收ムベキヤ

明治二十六年入學試驗問題

- (1)
- 一 今新ニ桑園ヲ設ケントスルモノアリ早、中、晚桑ノ割合ハ各幾何ニシテ一反歩ニ付幾株宛何時頃如何ニ栽植セハ可ナルヤ

(2)

- 二 蠶種貯藏法ノ注意及貯藏ノ目的如何
- 三 普通製蠶種一枚ノ卵量及ヒ之ヨリ生スル蟻量ハ幾何ナルヤ
- 四 蟻量五匁ノ蠶ニ對スル各齡ノ給桑量及其回數如何
- 五 蠶兒ノ發育ハ温度ノ高低ニヨリテ遲速アリト云フ果シテ然ラバ蠶室内ノ平均温度六十五六度ナレバ幾日間七十二三度ナレバ幾日間ニシテ上簇スルモノナリヤ
- 六 熟蠶體ノ重量ニ對スル蛹量及絲量ノ割合如何

明治二十七年度入學試驗問題

- 一 桑樹仕立方ノ數法ヲ舉ケ其得失ヲ示セ
- 二 冬期中蠶種ヲ貯藏スルニ際シ最モ注意スヘキ要點如何
- 三 既製ノ蠶種ニ就キ良好ナルヲ撰拔セント欲セバ如何ニシテ可ナルヤ
- 四 早生桑ニ反歩中生桑三反歩晩生桑五反歩アリ栽植後五六年目ナル時其收穫駄數并刈桑百貫目ニ對スル條莖葉ノ割合幾何ニシテ蟻量壹匁ヲ飼育シ得ヘキ各齡給桑幾何ナルヤ
- 五 飼育中濕氣ノ多量ナル害如何
- 六 上簇中ノ注意如何

明治二十八年度入學試驗問題

- 一 桑苗購入ニ際シ注意スヘキ要點如何
- 二 冬期蠶種ヲ浸水スルノ利害如何
- 三 蠶兒各齡ニ於ケル成育ノ割合ヲ示セ
- 四 蟻量四匁ヲ飼育スルトキハ其收繭凡ソ幾何ニシテ之レニ要スル桑量如何
- 五 就眠中乾燥ニ過クルヨリ生スル害如何
- 六 近來蠶蛆ノ各地ニ蔓延セル原因如何
- 七 殺蛹及貯繭ノ良法ヲ示セ

明治二十九年度入學試驗問題

- 一 普通製蠶種壹枚ノ卵量及卵數大約幾何ナルヤ
- 二 蠶種催青ノ標準及其方法如何
- 三 蠶兒就眠中乾燥又ハ濕潤ニ過キタル時ノ取扱如何
- 四 春蠶ヲ飼育スルニ室内ノ平均温度八十度、七十度及六十度ナルトキハ凡ソ幾日ヲ經テ各上簇ニ至ルヤ
- 五 上簇中注意スヘキ要點如何

蠶業講習所入學試驗問題

明治二十九年本科入學試驗問題

(3)

●算術

(4)

- 一 甲乙丙ノ三數アリ甲ハ二個五分ノ二乙ハ一個三分ノ一ナリ今甲ヨリ丙ヲ減スレハ乙數ニ丙ヲ加ヘタルモノニ等シ問フ丙數幾何
- 二 水夫アリ每一時間ノ漕力一里三分ノ二ニシテ流水ノ速度一里ナリ今若干ノ道程ヲ漕キ上リ某地ニ達スルトキ正午ニ至レリ而シテ元ノ地ニ漕キ下リシニ總計十時間ヲ費セリ問フ出船及歸船セシハ何時ナルヤ

●動物學

- 一 昆蟲類ノ三様ノ變態トハ如何
- 二 脊椎動物ト無脊椎動物トノ區別ヲ問フ

●植物學

- 一 植物ノ類化作用ヲ説明セヨ
- 二 隱花植物ノ實例二種ヲ舉ケヨ

●理學

- 一 槓杆ノ種類ヲ問フ
- 二 華氏及攝氏寒暖計劃度ノ方法及攝氏ノ度ヲ華氏ノ制ニ改算スルノ法ヲ問フ

●化學

- 一 化學トハ如何ナル事ヲ論究スル學ナルヤ
- 二 爐火ヨリ炭酸瓦斯ノ發生スルハ如何ナル化學變化ニ因ルヤ

●養蠶術

- 一 蠶種貯藏ノ注意如何
- 二 催眠ヨリ桑附ニ至ル迄ノ處置如何
- 三 蠶量二十匁ノ飼育ニ要スル桑園ヲ設クルニハ其反別幾何ニシテ早、中、晚桑ノ割合如何

明治三十二年度別科生入學試驗問題

- 一 桑樹ノ植付及仕立方ニ因リ桑葉收穫ノ多寡并ニ生育年限ノ長短ヲ問フ
- 二 蠶種ノ貯藏保護ノ方法ヲ明記セヨ
- 三 一枚ノ蠶種ニシテ發生ニ遲速アルハ如何ナル理由ナルヤ
- 四 發生ノ際ヨリ初眠迄ノ間ニ於テ蠶兒ノ強弱ヲ鑑別スル法如何
- 五 蠶兒結繭ノ始メヨリ之レヲ終ル迄七十五六度ノ溫度ハ華氏ニシテ凡ソ幾時間ヲ要スルヤ

全 上 追入學試驗問題

- 一 早、中、晚三種ノ桑樹ヲ栽植スルニハ其割合幾干ナレハ養蠶ニ適當ナルヤ
- 二 春蠶種ヲ運搬スルニ適當ナル時期及其荷造法ヲ畧記セヨ
- 三 蠶卵ヲ孵化セシメントスルニハ幾度ノ溫度ヲ以テ幾日間經ルヲ適度トスルヤ
- 四 蠶兒就眠中ニハ如何ナル點ニ最モ注意スベキヤ
- 五 蠶兒三齡及五齡中蠶座ノ面積并ニ給桑量幾何ヲ以テ適當トスルヤ

明治三十二年度本科生入學試驗問題

(5)

(6)

●動物學

- 一 節肢動物トハ如何
- 二 動物體ノ左右相稱トハ如何

●植物學

- 一 根ト莖トノ區別ヲ説明セヨ
- 二 完全花ノ諸部ヲ列記セヨ

●理學

- 一 百分ノ水ト同容積ノ水銀ハ何「グラム」ノ重量ヲ有スルヤヲ概算セヨ但シ水銀ノ比重ハ「一三、六」トス
- 二 三種水銀寒暖計ノ相異ナル點ヲ舉ケヨ

●化學

- 一 分子、原子、及元素トハ如何ナルモノナリヤ
- 二 左ノ化學方程式ヲ説明セヨ



●數學

- 一 繭一石三十八圓五十錢替ニテ百十七石三斗ヲ買入レ一斗ニ付六十五錢ノ費用ヲ拂ヒ百二十五貫八百三十七匁ノ生絲ヲ繰リ得テ五千五百七十五圓ニ賣捌ケリ其損益幾何ナルヤ
- 二 父アリ田地二反八畝二十四歩ヲ三子ニ分與スルニ長子ハ次子、末子ノ和ヲ取り又次子ト末

子トノ所得ハ十一ト五トノ如シト云フ各所得幾何ナリヤ

- 三 十七町三反二畝二十四歩ノ原野ト此面積ノ四分ノ一ナル方形ノ桑園ト交換シ其周圍ニ垣ヲ設クルニ長サ一間ニ付三十五錢ヲ費スト云フ此費用幾何ナルヤ

●養蠶法

- 一 桑樹栽植ノ手續ヲ問フ
- 二 眠蠶ト熟蠶トノ別如何
- 三 催眠ニ際シ温度上昇シ且ツ空氣多濕ナルトキハ如何ナル處置ヲ施スヘキヤ

同上 本科生追入學試驗問題

●動物學

- 一 昆蟲類ノ特徴ヲ問フ
- 二 原生動物ニ屬スル動物ノ名ニテ舉ケヨ

●植物學

- 一 葉ノ開度トハ如何
- 二 地下莖ノ例三四ヲ舉ケヨ

●理學

- 一 大氣壓トハ何ソ
- 二 光線ノ反射及屈折トハ如何

(7)

●化學

- 一 化學親和力トハ如何ナルコトナリヤ
- 二 左ノ記號ヲ説明セヨ

HOI
NaCl
NH₃
KNO₃
K₂CO₃

●養蠶法

- 一 桑樹仕立法ノ數法ヲ舉ケテ其得失ヲ示セ
- 二 蠶兒ノ病症ニ依ラスシテ不齊トナル原因ヲ列舉シ其救治法ヲ明記セヨ
- 三 光澤解舒良キ繭ヲ得ントスルニハ上簇中如何ナル點ニ注意ヲ要スルヤ

●數學

- 一 若干頭ノ熟蠶ヲ上簇セシメタルニ普通ノ繭百顆ニ對シ同功繭ヲ生セルコト八顆ノ割合ニシテ合計一千〇二十六頭ノ繭ヲ獲タリ今此同功繭ハ何レモ二個ノ蠶兒協同シテ造レルモノトセハ熟蠶ノ頭數及同功繭ノ顆數如何
- 二 四人資本ヲ合シ商ヲ爲シ共ニ利金四千七百五十五圓ヲ得タリ今之レヲ配分スルニ甲ノ三倍ハ乙ノ得ルトコロニ等シク甲乙ノ和ハ丙ニ等シク尙乙丙ノ和ハ丁ニ等シト云フ由テ問フ各

利金幾何

- 三 三億九千六百五十六萬五千三百七十五ノ立方根ヲ問フ

明治三十一年度別科生入學試驗問題

- 一 施肥耕耘ノ時期及其方法ヲ記セヨ
- 二 稚蠶ト壯蠶ト飼育法ノ異ナル要點ヲ列舉セヨ
- 三 硬軟ニ過キシ桑葉ヲ給與スル場合ニハ如何ナル結果ヲ蠶兒及營繭上ニ來タスヤ
- 四 保護ヲ誤ツタル蠶種ハ發生ノ際如何ナル變態ヲ現ハスヤ
- 五 粗糠ハ如何ナル効用ヲ有スルヤ及ヒ之レヲ使用スル場合ヲ明記セヨ

明治三十一年度本科生入學試驗問題

●動物學

- 一 魚類ノ循環器ヲ記セ
- 二 蜘蛛類ト昆蟲類ノ異ナル點ヲ記セ

●植物學

- 一 寄生植物ヲ説明セヨ
- 二 花ノ緊要機關及保護機關トハ如何ナルモノナルヤ

●理學

(10)

- 一 振子ヲ用キタル時計ハ寒暖ニ依リテ遅速ヲ生スルモノアリト云フ此ノ如キモノハ如何ナル場合ニ遅ル、ヤ且其理由ヲ説明セヨ
- 二 或日午前六時空氣ノ溫度ヲ計リシニ攝氏氷點以下二度ヲ示シ午後二時ニハ攝氏五度午後十時ニハ華氏三十三度ナリト云フ此平均溫度ハ攝氏何度ナルヤ

●化學

- 一 原子量トハ如何ナルモノナルヤ
- 二 酸性、中性、及鹽基性ヲ説明セヨ

●數學

- 一 二位ノ數アリ一位ノ數ハ十位ノ數ノ三分ノ二ニシテ其和ハ十五ナリ元數幾何
- 二 甲乙二人アリ東京ヨリ京都ニ赴クニ甲ハ每時速度十一里ノ汽車ニ乘リテ十四時間ヲ費シ乙ハ同八里半ノ汽車ニ乘リテ十七時間三十四分ノ十三ヲ費セリ而シテ途中甲乙何レモ若干距離ノ間汽車ノ速度每時五里ニ減シタル所アリシト云フ東京及京都間ノ距離如何
- 三 若干頭ノ熟蠶ヲ上簇セシメタルニ成繭百顆ノ中同功繭八顆ノ割合ニシテ合計三千〇二十五顆ノ繭ヲ得タリ今此同功繭ハ何レモ二顆ノ蠶兒相與ニ營ムモノトセハ問フ熟蠶ノ頭數及同功繭ノ顆數幾何

●養蠶法

- 一 蟻量十匁ヲ飼育スルニハ桑量何程ニシテ何反歩ノ桑園ヲ要スルヤ
- 二 縮蠶ノ多ク現ハル、前ニハ蠶兒ハ如何ナル狀態ヲ呈スルヤ

- 三 除沙ヲ爲スニ粗糠ヲ用フルト網ヲ以テスルノ得失ヲ比較セヨ

同上 追入學試驗問題

●動物學

- 一 海綿蟲ヲ説明セヨ
- 二 無性生殖ヲ説明セヨ

●植物學

- 一 葉ノ作用ヲ問フ
- 二 雌雄同株及雌雄異株ノ例各三四ヲ舉ケヨ

●理學

- 一 空氣中ト眞空中ニ於ケル物體ノ落下スル有様ヲ記セ
- 二 蠶室內空氣ノ溫度ハ上下ニヨリ異レリ其理由如何

●化學

- 一 有機無機ノ區別如何
- 二 硫酸ノ内ニ木片ヲ投スルトキハ黑色ニ變ス其理如何

●數學

- 一 甲乙丙ノ三數アリ甲ハ二十個乙ハ十個五分ノ三ナリ今甲ヨリ丙ヲ減シタルモノハ乙數ニ丙ヲ加ヘタルモノニ等シト云フ丙數如何

(11)

(12)

- 二 同溫度ニ於テ華、攝、列三氏ノ寒暖計ノ度ノ和ハ百〇四度ナルトキハ各寒暖計ノ度數幾何
- 三 甲乙二人同所ヨリ出發スルトシテ甲ハ正東ニ百五十里乙ハ正南ニ百八十里進行セル時ノ甲乙二人ノ距離如何

●養蠶法

- 一 給桑上ヨリ來リタル蠶兒不齊ノ諸原因ヲ舉ケヨ
- 二 五齡盛食期ノ蠶座ハ二齡末期ノ凡ソ何倍ヲ要スルヤ
- 三 上簇中ニ於テ注意スヘキ要點如何

同上 追入學試驗問題

●動物學

- 一 甲殼類ノ例三四ヲ舉ケヨ
- 二 放射相稱トハ如何

●植物學

- 一 呼吸作用ト同化作用ノ別ヲ問フ
- 二 塊莖トハ如何ナルモノゾ

●理學

- 一 晴雨計ニ於ケル水銀ノ昇降ハ何ヲ示スモノナリヤ及其理由ヲ説明セヨ
- 二 燈火ヲ遠サクレバ何故ニ暗キヤ且其割合如何

●化學

- 一 化學的變化ヲ起サシムルニ必要ナル媒介ハ如何ナルモノナリヤ
- 二 亞硫酸瓦斯ノ製法及其瓦斯發生ノ際生スル化學的變化ノ式ヲ舉ケヨ

●數學

- 一 或人若干金ヲ所持シ最初其四分ノ一ヲ出シ次ニ其五分ノ一ヲ出セシニ尙六十六圓ヲ殘セリト云フ問フ原所持金幾何
- 二 甲乙ノ數アリ乙ハ甲ノ三分ノ二ナリ然レトモ各數ヘ六個ヲ加フレハ乙ハ甲ノ五分ノ四トナルベシ甲乙ノ元數幾何
- 三 甲乙二人同所ヨリ發足スルトシテ甲ハ東方ニ五十里乙ハ南方ニ八十四里進行セリ問フ甲乙ノ距離幾何

●養蠶法

- 一 根刈及高木仕立ノ利害ヲ比較セヨ
- 二 掃立ノ早晚ハ蠶兒ノ發育及營繭上ニハ如何ナル差異ヲ來タスヤ
- 三 十貫匁ノ生繭ヲ得ルニハ五齡中凡ソ幾何ノ桑量ヲ要スルヤ

明治三十二年度別科生入學試驗問題

(13)

- 一 立木ト根刈桑トノ得失ヲ比較説明セヨ
- 二 蛆害ニ因テ斃ル、蠶兒ヲ飼育上ヨリ輕減セシムル方法如何

(14)

三 蠶室ノ廣大ニシテ寒冷ナルト狹小ニシテ温暖ナルモノトニ於テ若シ飼育ヲ過ツトキハ兩者如何ナル結果ヲ現ハスヤ及之ヲ安全ニ仕遂グ可キ方法ヲ問フ

東・西蠶業講習所入學試驗問題

明治三十二年度本科生入學試驗問題 (東京)

●數 學

- 一 二園ノ地アリ甲地ノ長サハ乙ノ四倍ナリ乙ハ正方形ニシテ其積各同等ナリ而シテ其周圍甲ハ乙ヨリ長キコト三十間ナリ各邊ノ長サ幾何
- 二 若干頭ノ蠶兒ヲ掃立テ二眠迄ニ其半數ヲ失ヒ更ニ他ヨリ五百頭ヲ添加シ其後又此三分ノ一ヲ失ヒタレドモ尙千二百四十五頭アリ最初ノ掃立頭數如何
- 三 $CS + \frac{1}{2}HS$ ニ於テ C ノ値ヲ求ム
- 四 或人歲入三分ノ二ヲ家計ニ充テ其餘歲三分ノ二ヲ他ニ使用ス而シテ尙七十圓ヲ收藏スト云フ此人ノ歲入幾何

●動 物 學

- 一 單眼、複眼トハ如何
- 二 軟體動物、蠕形動物ニ屬スル動物ノ名各二ヲ舉ゲヨ

●植 物 學

- 一 植物ノ葉ノ綠色ヲ呈スルハ如何ナル物質ヲ存スルニ因ルヤ且此物ノ効用ヲ問フ
- 二 茶、松、稻ノ三植物ハ分類學上如何ナル部門ニ屬シ何レガ最モ桑ニ類シ何レガ最モ之ニ遠カレルヤ

●作 文

- 一 蠶絲業視察ノ爲メ友人ノ支那ニ行クヲ送クル文

●物 理 學

- 一 兩凸「レンズ」ガ物體ノ影像ヲ擴大ナラシムル理由ヲ圖解セヨ
- 二 重力ノ加速度十六尺ノ地上ニ毎秒八十尺ノ速度ヲ以テ落ち來レル物體ハ何尺ノ高所ヨリ何秒間以前ニ落ち初メタルモノナリヤ

●化 學

- 一 例ヲ舉ゲテ酸化及還元ノ二作用ヲ説明セヨ
- 二 鹽素ノ色素ヲ晒白スル理由ヲ問フ

●養 蠶 法

- 一 一齡中ニ採收セバ正葉二十五貫匁ヲ得ベキ桑園アリ若シ五齡期ニ至リ摘採スルモノトセバ幾何ノ桑葉ヲ得幾頭ノ五齡蠶ヲ飼育シ得ベキヤ
- 二 蠶兒掃立時期ノ遅速ハ養蠶上利害ノ關係ヲ有スルコト勘カラズト云フ如何ニシテ其適度ヲ得ベキヤ又遅速ニ失セル場合ノ利害如何

(15)

三 掃立ノ方法ヲ詳記セヨ

(16)

同上 追入學試驗問題

●數 學

一 職工アリ初月ハ四日働キ毎月一日ヅ、増シ四ヶ月ニシテ卒業ス但シ前二ヶ月ト後二ヶ月トノ賃錢ハ三十六錢ノ差ナリト云フ毎月ノ所得幾何

二 甲、乙、丙、丁、ノ四地一直線ヲ爲セルアリ甲丁ノ距離ハ三十四里ナリ而シテ甲乙ノ距離ト丙丁ノ距離トハ二ト三トノ如ク甲乙ノ距離四分ノ一ニ丙丁ノ距離二分ノ一ヲ加フレバ乙丙ノ距離三倍ニ當ルト云フ各ノ距離幾何

三 $2x + a = x + 3b = 2c$ 於テ x ノ値ヲ問フ

四 $(2a^2 + ab - b^2) \div (a + b)$ ノ商ヲ問フ

●動 物 學

一 家蠶ハ如何ナル種類ニ屬スルヤ

二 哺乳類ノ特性ヲ問フ

●植 物 學

一 植物根ノ効用ヲ問フ

二 花ノ構造ヲ問フ

●作 文

一 友人ノ修學旅行ヲ送ル文

●物 理 學

一 物體ヲ水中ニテ秤量セハ空氣中ニ於テスルヨリモ輕キハ何故ナルヤ

二 光線反射ニ關スル定則ヲ列記セヨ

●化 學

一 化合力ヲ説明セヨ

二 一酸化炭素ト碳酸瓦斯トノ異ナル點ヲ詳記セヨ

●養 蠶 法

一 蠶量二十匁ヲ飼育スルニ要スル人夫、蠶具、(蒲箔) 蠶室ノ面積及桑園反別ヲ問フ

二 蠶種製造用蠶兒ト繰絲用蠶兒トハ飼育中注意スヘキ要點ニ差異アラハ之ヲ詳記セヨ

三 蠶種貯藏中注意ス可キ事項ヲ列記セヨ

明治三十二年度本科生入學試驗問題 (京都)

●數 學

一 三ヲ以テ整除シ得ヘキ數ノ特性ヲ問フ

二 佛國ニ於テハ生絲ノ細太ヲ檢スルニ五百メートルノ長サヲ以テ量リ五十三ミリグラム一三ヲ以テ一デニールトナセリ又伊太利ニ於テハ四百五十メートルノ長サヲ以テ量リ五十三グラムヲ以テ一デニールトナスト云フ佛國ニ於ケルニデニール七五ノ絲ハ伊太利ニ於テハ幾デニールノ絲トナルヤ

(17)

(18)

●(右 算術)

- 三 $ax + bx + cx = abc$ ナル式ニ於テ a ノ値ヲ求ム
 $a = -1, b = -2, c = -3$ ナルトキハ次式ノ値幾何
 $\{a - (b - c)\}^2 + \{b - (c - a)\}^2 + \{c - (a - b)\}^2$

(右 代數)

(運算式ハ總テ之ヲ記載シ置クベシ)

●動物學

- 一 胞子蟲類ノ特性ヲ問フ
- 二 分類學上蠶蛾ノ系統ヲ示セ

●植物學

- 一 双子葉植物ト單子葉植物トノ葉ノ異ナル點ヲ示セ
- 二 馬鈴薯ノ食スヘキ部分ハ根莖葉何レノ部分ニ屬スルヤ且其理由ヲ説明セ

●作文

- 一 蠶種製造會社ノ創立ヲ祝スル文 (假名交リ記事文)

●物理學

- 一 毛細管引力トハ如何ナルモノナリヤ
- 二 凡テ瓦斯體ハ壓力ト溫度ニヨリテ如何ニ其容積ヲ變ズルヤ

●化學

- 一 原子價トハ如何ナルモノナリヤ例ヲ舉ケテ説明セ
- 二 普通炭火ヨリ生ズル瓦斯ニシテ動物ニ害アルモノハ如何ナル性質ヲ有スルカ又其瓦斯ノ發生スル理由ハ如何

●養蠶法

- 一 寒地ト暖地トニヨリ桑樹栽培付ケノ期節ニ區別アリヤ果シテ之レアリトセハ各適當ナル時期ヲ示セ
- 二 冬期蠶種貯藏中誤テ高溫ニ觸レシムルトキハ如何ナル害アリヤ
- 三 早生種ノ老硬ナル桑葉ヲ以テ五齡ノ蠶兒ヲ養フトキハ其結果如何

明治三十三年度別科生入學試驗問題 (東京)

●作文

- 一 某桑園ヲ觀ルノ記

●養蠶法

- 一 養蠶中火力ヲ用フルノ目的及其効用如何
- 二 蠶兒ノ發育ニ不齊ヲ來ス原因ヲ列舉セ
- 三 三眠期ニ於テ五十枚ノ蠶兒ハ四眠ノ際何枚ニ擴クルヲ適當トスルヤ

同上 別科生入學試驗問題 (京都)

(19)

●作文

一 繭生絲品評會ヲ觀ルノ記

●養蠶法

一 蠶兒ヲ掃立ツルニハ午前ヲ可トスルカ午後ヲ可トスルカ最モ可ナル時刻ハ如何

二 蠶兒飼育中乾燥ニ過クル傾向アルトキ又ハ濕潤ニ過クルトキハ如何ニシテ之ヲ防クヤ適宜ノ方法ヲ舉ケヨ

三 桑園ノ耕耘ハ一年何回ニシテ何レノ時期ニ行フヲ可トスルヤ

明治三十四年度別科生入學試驗問題 (東西)

●養蠶法

一 水田アリ用水ニ乏シキガタメ廢シテ桑園ヲ作ラントス開墾及植付ノ方法ハ如何ニセバ可ナルヤ

二 壹石ノ繭ヲ得ントスルノ目的ヲ以テ蠶兒ヲ養ハントスルニハ若干ノ蠶種、桑葉、器具及人夫ヲ要スルヤ

三 溫度ノ昇降常ナク給桑ニ時々不足アル時ハ蠶兒ハ如何ナル狀況ヲ呈スヘキヤ

●作文 (假名交リ記事文)

一 觀櫻記

明治三十五年度養蠶本科生入學試驗問題 (東西)

●數學

一 $3\frac{3}{4} \times 4\frac{1}{2} + 5\frac{1}{2} - 2\frac{2}{3}$ ヲ計算セヨ

二 或人所有地ノ三分ノ一ヲ賣リ又其殘リノ八分ノ五ヲ子息ニ讓リ其餘地ヲ時價ニテ算スレハ五百七十一圓七十五錢ニ當ルト云フ然ラハ全地ノ價幾何ナリヤ

(右算術)

三 一事業ヲ爲スニ甲ハ十二時間乙ハ四時間ニテ成了シ得ヘシ今此事業ヲ初メ甲若干時働キ次

ニ乙之ニ代リテ若干時働キテ都合六時間ニシテ成了セリト云フ甲ノ働キシ時間幾何

四 $3x^2 - 3ax^2 + 3a^2x + y^2 - 1$ ヲ $x + y - 1$ ニテ除セ

(右代數)

五 圓周上ノ四點ヲ結ヒテ作レル四邊形ノ二對角ハ互ニ補角ヲナスコトヲ證セヨ

(右幾何)

●動物學

一 動物ノ呼吸器ニ就キ説明セヨ

二 昆蟲類ノ特質ヲ記セ

●植物學

一 日光ノ植物ニ及ホス作用ヲ記スヘシ

(22)

二 松、竹、梅ニ就キ植物學上其相異セル點ヲ舉ケヨ

●作 文

一 夏日舟遊ノ記

●物 理 學

一 壓力ト融解點トノ關係ヲ述ヘヨ

二 長キ箸ニテ挟ムニ困難ヲ感スルハ如何ナル理由ナルカ

●化 學

一 鹽素酸「ボタシユム」ニ過酸化「マンガシ」ヲ加ヘテ熱セハ如何ナル變化ヲ生スルカ

二 炭酸瓦斯ノ分子量ヲ問フ又其密度ハ水素ノ密度ノ幾倍ナルヤ

●養 蠶 法

一 蠶兒盛食ノ際雨桑ノ外貯ヘナキ時ハ如何ナル處置ヲナスヘキヤ

二 間口二間半奥行三間高サ九尺ノ室ニ於テハ五齡蠶約何頭ヲ飼育スルヲ適度トスルヤ

三 蟻量七匁五分ヲ飼育シ上繭拾五貫匁ヲ得タリ何歩ノ作ト稱スヘキヤ

明治二十五年年度養蠶本科生追入學試驗問題 (東西)

●數 學

一 $7x+1.19x-1.31+213$ ヲ計算セヨ

二 三人合同シテ或ル事業ヲ爲サントス其資本金ハ一萬三千六百圓ニシテ出金ノ割合ハ甲ト乙

トハ四分ノ三ト五分ノ三ノ如ク乙ト丙トハ七ト十二分ノ十一トノ如シト云フ各人ノ出金額ハ幾何

(右 算 術)

三 某校ノ入學試驗ニ於テ及第點ハ受験者ノ平均點ヨリ二點少ク及第者得點ノ平均點ヨリ十一點少ク又落第者得點ノ平均ノ二倍ニ等シ而シテ受験者ノ中四分ノ一ハ落第セリ然ルトキハ及第點ハ幾點ナリシヤ

四 $(x+1)(x+3)(x+5)(x+7)+15$ ヲ因子ニ分解セヨ

(右 代 數)

五 等邊三角形内ノ一點ヨリ三邊ニ引ケル垂線ノ和ハ常ニ一定不易ナルコトヲ證明セヨ

(右 幾 何)

●動 物 學

一 皮膚組織トハ如何

二 イヌ、クラゲ、ミ、ズ、ウニ、エビノ動物學上ノ所屬ヲ問フ

●植 物 學

一 サクラ、イネ、マツダケ、ニ就テ植物學上ノ所屬ヲ問フ

二 植物ノ養分ヲ攝取スル方法ヲ記セ

●作 文

一 橋上觀月ノ記

(23)

●物理學

- 一 「エネルギー」ノ不滅トハ如何例ヲ舉ケテ説明セヨ
- 二 氷ヲ貯フルニ鋸屑ヲ用ユル理由如何

●化學

- 一 食鹽ニ硫酸ヲ加フレハ如何ナル變化ヲ生スルカ
- 二 百「グラム」ノ水ヲ分解シテ幾何「グラム」ノ水素ヲ製シ得ヘキカ

明治三十五年度製絲本科男生入學試驗問題 (東京)

●數學

- 一 某製絲會社ニ於テ若干個ノ生絲ヲ拂下クルアリ若干ノ人員ニテ之ヲ等分ニ買ハントスルニ各人七個宛配分スレハ十二個餘リ八個宛配分スレハ三個不足スルニ至ルト云フ人員及ヒ生絲ノ個數幾何
- 二 次ノ式ヲ計算セヨ

$$\frac{(x+7)^2 + (x-1)^2}{(x-1)^2} \times (x+1)^2$$

(右算術)

- 三 次ノ方程式ヲ解ケ

$$\frac{x}{x-2} + \frac{x-9}{x-7} = \frac{x+1}{x-1} + \frac{x-8}{x-6}$$

- 四 某宴會ノ會費ハ總計二十四圓ナリト云フ之ヲ會者ニテ等分ニ拂フヘキヲ内四名丈ケハ拂ハサリシヲ以テ殘リノ人數ニテ之ヲ拂フニ一名ノ出金額三十錢ヲ増セリ會者總ヘテ幾人ナルヤ

(右代數)

- 五 與ヘラレタル直線内ニ其線外ノ二定點ヨリ等距離ニアル點ヲ見出セ
- 六 二圓互ニP點ニ於テ内切シ大圓ノ弦ABハC點ニ於テ小圓ニ切スレハPC線ハ角APBヲ二等分スルコトヲ證明セヨ

(右幾何)

●物理學

- 一 比熱トハ何ソ又比熱ト温度トノ關係ヲ示セ
- 二 凹面鏡ト凸レンズノ類似ノ點ヲ舉ケヨ

●無機化學

- 一 亞鉛ニ硫酸ヲ注加セル時ノ化學的變化ヲ詳記セヨ
- 二 水中ニ炭酸瓦斯ヲ注入スルニ白澱ヲ生ス此水中ニハ如何ナル物質ヲ含有スルヤ

●作文

夏口驟雨ノ記

●製絲法

- 一 生繭購入ノ順序及運搬取扱方法如何

- 二 新古ノ繭ヲ繰絲スルニ當リテ其異ナル點ヲ示セ
- 三 生絲試驗器ノ種類ヲ記セ

明治三十五年度製絲本科女生入學試驗問題 (東京)

●算術

- 一 製絲工女アリ一日十六錢五厘ツ、ノ賃金ニテ廿八日間働キ月末ニ至リ賃金ノ外更ニ賞與トシテ三十八錢ヲ貰ヒ受ケタリト云フ工女ノ所得總テ何程ナリヤ
- 二 或繭九升六合ヲ繰絲セシニ生絲七十六匁八分ヲ得タリ今此繭ヲ以テ十六貫目ノ生絲ヲ製造セントセハ幾何ノ繭ヲ要スヘキヤ

●理科

- 一 現時用ユル衣服ノ原料ハ何々ナリヤ
- 二 火消壺ニ入レタル火ノ忽チ消ユルハ如何ナル理由ナリヤ

●作文

- 一 卒業ヲ賀スル文

●製絲法

- 一 普通ノ工女ハ一日(十一時間)ニ幾何ノ生絲ヲ製シ得ルヤ
- 二 大小ノ繭ヲ混シテ繰絲スルトキハ如何ナル注意ヲ要スヘキヤ
- 二 普通一升ノ繭ヨリ幾何ノ生絲ヲ製シ得ルヤ

明治三十五年度製絲別科生入學試驗問題 (東京)

●作文

- 一 仕立物ヲ依頼スル文

明治三十五年度製絲本科女生追入學試驗問題 (東京)

●算術

- 一 或製絲工場ニ於テ女工百參拾七人アリ而シテ一日一人ノ平均賃金拾八錢五厘ニシテ一ヶ月ニ廿七日間繰絲セリト云フ一ヶ月ノ總女工賃金幾何ナルヤ
- 二 生絲拾壹匁ヲ製造スルニ繭一升二合ヲ要セリト云フ同質ノ繭百石ヲ以テ生絲幾何ヲ製造シ得ルヤ

●理科

- 一 風ハ如何ナル理ニヨリテ起ルヤ
- 二 蠶ノ經過ヲ記セ

明治三十六年度養蠶別科生入學試驗問題 (東西)

●養蠶法

- 一 左ノ桑ヲ早生、中生、晩生ニ區別セヨ

- 一 市平、鶴田、十文字、鼠返、九紋龍、魯桑、細江、小牧、
 - 二 桑園耕耘ノ必要ナル理由ヲ問フ
 - 三 蠶種ニ寒水浴ヲ行フノ目的ヲ問フ
 - 四 蠶兒一萬頭ハ第三齡眠裏ノ際蠶箔幾枚トシテ適當ナリヤ
但蠶箔ノ大サハ長三尺五寸幅二尺五寸トス
 - 五 上簇中ニ於ケル火力ノ効用ヲ問フ
- 作 文 (假名交リ記事文)
- 一 某養蠶傳習所ヲ觀ルノ記

明治三十六年度養蠶本科生入學試驗問題 (東西)

●數 學

$$1 \frac{21}{54} + \frac{1}{5} - \frac{1}{216} + \frac{1}{12}$$

ヲ最簡分數ニ化セ

$$\frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{6}$$

- 二 或人繭若干石ヲ二千四百圓ニテ購入シ之ヲ二千八百圓ニテ賣リシニ一石ニ付全石數ノ九分
ノ一二等シキ金圓ヲ利セリト云フ繭ノ石數幾何
- (右算術)

三 $2x^2 + 7x + 12$ 及 $3x^2 + 4x + 3$ ノ最低公倍數ヲ求ム

四 甲乙二管ヲ以テ水槽ニ水ヲ注入スルニ甲ノミヲ以テセハ四時半乙ノミヲ以テセハ六時間ニ
テ滿水ス又槽底ノ栓ヲ抜ケハ五時間ニテ滿水ノ水ヲ盡クスヘシト云フ今栓ヲ抜キタル儘ニ
テ甲乙二管ヨリ同時ニ注入セハ幾時間ニテ滿水スヘキカ

(右代數學)

五 相等シキ底邊及相等シキ高サノ平行四邊形ノ積ハ相等シキコトヲ證セヨ

(右幾何學)

●動物學

- 一 左ノ動物ノ移動器ヲ圖解セヨ
アミトバ、ミ、ヅ、カタツムリ、ウニ、ハト
- 二 環蟲類ト昆蟲類トノ異同ヲ列記セヨ

●植物學

- 一 シハ(桑)ト「オラシダイチゴ」ノ果實ヲ比較說明セヨ
 - 二 年輪形成ノ理由ヲ說明セヨ
- 養蠶法
- 一 桑苗ノ重ナル繁殖法ヲ舉ケ其方法ヲ略記セヨ
 - 二 乾繭拾貫匁ヲ得ンニハ蟻量幾匁ヲ掃立テ桑葉幾何ヲ要スルヤ
 - 三 蠶兒上簇後ノ注意ヲ問フ

●物理學

- 一 光ノ屈折ノ定律如何
- 二 左ノ語ノ意義ヲ問フ
 - イ 質量
 - ロ 重量
 - ハ 加速度
 - ニ 比重

●化學

- 一 酸素ヲ含有セサル酸ノ名稱三種ヲ列記セヨ
 - 二 アンモニア、硫酸、及硝酸ノ鑑識法ヲ述ヘヨ
- 作文
- 一 勸業博覽會ノ効果ヲ論ス

明治三十六年度製絲本科男生入學試驗問題 (東京)

- 數學 (算術、代數及幾何學)
- 物理學
- 化學
- 作文

(以上養蠶本科男生入學試驗問題ト同一)

●製絲法

- 一 生繭及全乾繭各一升ノ重量幾何
- 二 生繭購入ニ際シ之カ鑑定法ノ要點ヲ示セ
- 三 繭乾燥ノ度合ニ應シ煮湯及繰湯ノ適當ナル溫度ヲ示セ

明治三十六年度製絲本科女生入學試驗問題 (東京)

●算術

- 一 或ル婦人金四十三圓ヲ以テ買物ヲナスニ金十九圓ニテ絹縞一反金十五圓ニテ帶地一本金五圓五十錢ニテ蝙蝠傘一本金一圓四十錢ニテ下駄一足ヲ買ヒ殘餘ノ金ヲ以テ書籍三冊ヲ買ヘリト云フ此書籍平均一冊ノ代金何程
- 二 一日絲量六十匁ヲ繰ル工女五十人ヲ以テ百五十日ニ繰ル可キ繭ヲ一日五十匁ヲ繰ル工女百人ヲ以テセハ何日ヲ要スルヤ

●理科

- 一 炭酸瓦斯ノ動植物ニ對スル利害ヲ問フ
- 二 同重量ノ綿ト石トヲ同時ニ同シ高サノ所ヨリ落スニ石ハ綿ヨリ速ニ地上ニ達スルヲ見ル如何ナル理ナルヤ

●作文

(32)

一 入學ヲ友ニ報スル文

製 絲 法

一 生絲一捻二十匁ヲ製スルニハ繭ノ容量若干ヲ要スルヤ

二 十四「デニール」ノ生絲ヲ製スルニハ繭凡何粒ヲ以テセハ可ナルヤ春、夏、秋蠶繭各種ニ就テ示セ

三 繰絲スル順序ノ大略ヲ記セヨ

明治三十六年度製絲別科生入學試驗問題 (東京)

● 作 文

一 暑中見舞ノ文

明治三十六年度製絲本科女生補缺入學試驗問題 (東京)

● 算 術

一 一反ニ付三圓ノ絹七反ト一反ニ付二圓五十錢ノ絹二十五反ト一反ニ付四圓五十錢ノ絹六反トアリ今之ヲ平均スルトキハ一反ニ付何圓ノ絹トナルヤ

二 工女百六十人アリ二ヶ月ノ間ニ米四十二石ヲ要スト云フ然ルトキハ工女二百四十人ニ對シテ一ヶ年間幾何ノ米ヲ貯フヘキヤ

● 理 科

一 高山ニ於テ百度(攝氏)以下ニテ水ノ沸騰スル理如何

二 炭ノ燃燒ヲ盛ニセントスル時何故ニ風ヲ送ルヤ

● 作 文

一 觀菊ノ記

● 製 絲 法

一 生絲壹個(九貫目)ヲ製造セントスルニハ普通ノ繭幾何ヲ要スベキヤ

二 精良ナル生絲ヲ製造セントスルニハ如何ナル注意ヲ要スベキヤ

三 若莢ノ繭ヲ繰絲スルニ方リ繰湯ノ溫度ハ如何ニ加減スベキヤ

同 上製絲別科生補缺入學試驗問題 (東京)

● 作 文

一 菊見ニ人ヲ招ク文

明治三十六年度製絲本科男生追入學試驗問題 (東京)

● 數 學

一 正多角形ノ面積ハ其周ト邊徑トニテ包ム矩形ノ半分ニ等シキコトヲ證セ
(以上幾何學)

(33)

(34)

二 左ノ方程式ヲ解クベシ

$$y+z=2a$$

$$z+x=2b$$

$$x+y=2c$$

三 或ル路ニ電信柱相等シク隔リテ立テリ每哩ニ在ル柱ノ數ヲ壹本宛減シタランニハ柱ト柱トノ間ハ二ヤード十五分ノ四ダケ廣クナルベシト云フ每哩ニ在ル柱ノ數如何

(以上代數學)

四 次ノ平方根ヲ求メヨ

$$400.640256.$$

五 或ル間屋生絲若干捆ヲ壹萬貳千圓丈仕入之ヲ壹萬七百九拾圓ニ賣レリ然ルニ一捆ニ付全捆數ノ十分ノ一ニ等シキ金圓ヲ損セリト云フ捆數ヲ問フ

(以上算術)

●物 理 學

一 左ノ語ノ意義ヲ問フ

イ 濕 度

ロ 比 熱

ハ 密 度

ニ 飽和蒸氣

二 水ノ壓力ト其深サトノ關係如何

●化 學

一 鹽化水素ノ製法ヲ問フ

二 酸、鹽基、鹽トハ如何ナルモノカ例ヲ舉ゲテ説明セヨ

●作 文

一 生絲改良ノ必要ヲ論ズ

●製 絲 法

一 生繭殺蛹ニ適當ナル時期及溫度ヲ示セ

二 繰絲小枠繰リト大枠直繰ト如何ナル利害アリヤ大略ヲ示セ

三 生絲ノ織度ヲ均一ニ製造スルニハ如何ナル方法ニヨルカ

明治三十七年度養蠶製絲本科生入學試驗問題 (東西)

●數 學 (養蠶科、製絲科)

一 若干頭ノ蠶兒ヲ掃立テ二眠迄ニ其半數ヲ失ヒ更ニ他ヨリ五百頭ヲ添加シ其後又其三分ノ一ヲ失ヒタレドモ尙千二百四十五頭アリ最初ノ掃立頭數幾何

二 十七町三反二畝廿四歩ノ原野ト此面積四分ノ一ナル方形ノ桑園トヲ交換シ其周圍ニ垣ヲ設クルニ長サ一間ニ付三十五錢ヲ費スト云フ然ラバ此費用幾何ナルヤ

(以上算術)

(35)

(36)

三 左ノ分數式ヲ簡單ニセヨ

$$\frac{x^3 - 2x + 2}{2x^3 - 3x^2 + 1}$$

四 四人資本ヲ合シ製絲工場ヲ建設シテ生絲ヲ製シ其生産品ヲ賣リテ四千七百五十五圓ノ利益ヲ得タリ今之レヲ配分スルニ甲ノ所得三倍ハ乙ノ所得ニ等シク甲乙所得ノ和ハ丙ノ所得ニ等シク尙乙丙所得ノ和ハ丁ノ所得ニ等シト云フ然ラバ各所得幾何

(以上代數)

五 三角形内ノ一點ヲ各頂點ニ連結スル三直線ノ和ハ三角形ノ周圍ヨリハ小ニシテ周圍ノ半ヨリハ大ナルコトヲ證明セヨ

六 定直線ニ平行シ定圓ニ切線ヲ引クコトヲ求ム

(以上幾何)

●物理學 (養蠶科、製絲科)

一 絶對溫度、絶對壓力、絶對濕度、關係濕度トハ如何

二 霧吹ノ原理ヲ説明セヨ

●化學 (養蠶科、製絲科)

一 化合及ビ分解ニ就キテ説明セヨ

二 「アンモニヤ」ト「アンモニウム」トノ區別ヲ問フ

●作文 (養蠶科、製絲科)

一 體育ノ必要ヲ論ズ

同 上養蠶本科生入學試驗問題 (東西)

●動物學

一 哺乳類ノ循環系ヲ記セ

二 細胞トハ如何

●植物學

一 荳科植物ノ特徴及効用ヲ述ベヨ

二 幹ノ構造及作用ヲ問フ

●養蠶法

一 百蛾附蠶種一枚ノ卵ノ重量及是ヨリ發生スル蟻ノ重量ヲ問フ

但蠶ノ種名ヲ附記スベシ

二 成ル可ク給桑量ヲ節約シテ蠶兒ヲ飼育セントスルニハ如何ニセハ可ナルヤ

三 掃立期節ノ早晚ニ過ギタル場合ノ弊害ヲ問フ

同 上製絲本科生入學試驗問題 (東京)

●製絲法

一 適當ナル殺蛹方法ヲ示セ

(37)

(38)

- 二 索緒上注意スベキ要點ヲ記セ
- 三 工女ノ獎勵法ハ如何ナル方法ヲ可トスルヤ

同 上製絲本科女生入學試驗問題 (東京)

●算術

I 3630 ÷ 25 + 30
II

- 二 五十石ノ貯水アリ毎日十石ヅ、使用シ他ヨリ毎日使用石數ノ二分ノ一ヲ補ヘリ然ルトキハ幾日ニシテ池ノ水最初ノ半分ノ石數トナルヤ

●理科

- 一 井水ノ夏冷カニシテ冬温カナル理如何
- 二 化合ト混合トノ區別ヲ問フ

●作文

- 一 出征軍人ヲ送ル文

●製絲法

- 一 生繭十貫目ヲ本乾繭ニスレバ其重量凡幾何ナルヤ
- 二 普通ノ工女ハ一日(十時間)ニ幾何ノ繭ヲ繰リ得ルヤ
- 三 繭ヲ煮ルニハ如何ナル點ニ注意スベキヤ

明治三十七年度養蠶別科生入學試驗問題 (東京)

●養蠶法

- 一 桑苗植付ニ付注意スベキ要點ヲ問フ
- 二 食桑ノ硬或ハ軟ニ過クルトキハ蠶ノ發育上ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤ
- 三 尙未ダ眠ラザルノ蠶兒數多アル時、既ニ起蠶ヲ生ゼバ如何スベキヤ
- 四 普通生繭一千顆ノ容量及重量ハ幾何ナルヤ

●作文

- 一 寒夜讀書ノ記

明治三十七年度養蠶別科生入學試驗問題 (京都)

- 一 桑ノ接穗ハ如何ニ選擇スベキヤ
- 二 蠶兒一二齡ノ頃ニ於テ其發育ヲ不齋ニ陥ラシムル主ナル原因ヲ列舉セヨ
- 三 蠶兒飼育上火力ノ効用ヲ問フ
- 四 三眠迄ニ於テ一萬頭ノ蠶兒アリ其後之ヲ上簇ニ至ルマデ飼育スルニハ桑葉ノ摘入量凡ソ幾何ヲ要スルヤ

●作文

- 一 秋季旅行ノ記

(39)

(40)

同 上製絲別科女生入學試驗問題 (東京)

- 作 文
- 一 納涼ニ人ヲ招ク文

明治三十七年度製絲本科女生追入學試驗問題 (東京)

●算 術

一 $550 \div (\frac{1}{20} + \frac{1}{30})$

- 二 工女アリ毎日十時間ヅ、三十日間働キ六圓ノ勞銀ヲ得タリ然ルトキハ八時間ヅ、十五日働ケバ幾何ノ勞銀ヲ得ベキヤ

●理 科

- 一 日ノ出若クハ日没ノ際太陽ノ大キク見ユルハ何故ナルヤ
- 二 物體ノ燃燒ニ空氣ハ何故必要ナリヤ

●作 文

- 一 友人ノ卒業ヲ祝スル文

●製 絲 法

- 一 春蠶乾繭ニ適當ナル繰湯溫度ヲ示セ

- 二 優等工女一日(十時間)ノ繰絲量ヲ示セ

- 三 生絲検査器械ノ名稱ヲ舉ゲヨ

同 上製絲本科女生追入學試驗問題 (東京)

●算 術

一 $60 \times (\frac{1}{2} + \frac{1}{3} + \frac{1}{4} + \frac{1}{5})$

- 二 繰絲棒アリ五分間ニ四百五十回轉ス然ルトキハ一秒間ニハ幾回轉スルヤ

●理 科

- 一 水中ニ於テ物體ノ輕ク感ズル理ヲ問フ
- 二 硫黃ヲ燻蒸スレバ如何ナル瓦斯ヲ發生スルヤ

●作 文

- 一 橋邊納涼ノ記

●製 絲 法

- 一 殺蛹ノ適度ヲ知ル方法ヲ問フ
- 二 生繭ヲ選別スルノ方法ヲ示セ
- 三 繰絲上絲量ノ多少ニ關係スル主ナル要點ヲ示セ

(41)

同 上製絲別科女生追入學試驗問題 (東京)

(42)

●作 文
一 旅ニ在リテ母ニ奉ル文

明治二十八年年度養蠶・製絲本科生入學試験問題 (東西)

●英 語 (養蠶科、製絲科)
譯 解

1. The bat is no more a bird than the rat is.
2. The more honesty a man has, the less he affects the air of a saint.
3. When the spinning (of a silkworm) is done, the silk must be carefully and promptly unwound, or the moth would burst the cocoon and thus spoil the silk.

國 文 英 譯

- 一 今後絹絲の輸出額は從來よりも増加するでしょうか
- 二 左様な戦争が平和になつた際には餘程増すだらうと思はれます

文 法

Correct the following:—

1. I told him that I see him ever.
2. Being too long and difficult, I have not finished the passage yet.
3. Had I been you, I don't do so.

4. Many a building have been reduced to ash through the mischief of child.
5. He said that Rothschilds are rich family.

●物 理 學 (養蠶科、製絲科)

- 一 毛細管現象ノ起ル理由如何
- 二 温度ト比重トノ關係ヲ説明セヨ

●化 學 (養蠶科、製絲科)

- 一 貳拾グラムノ亞鉛ヲ用ユルトキハ幾グラムノ水素ヲ製シ得ベキヤ
但亞鉛ノ原子量六五、四
水素ノ原子量一、〇一
- 二 次ノ化學變化ヲ記セ

- 1) $3Ca + 8HNO_3$
- 2) $K_2Cr_2O_7 + 4H_2SO_4$

●作 文 (養蠶科、製絲科)

- 一 實業教育ノ必要ヲ論ズ

●動 物 學 (養蠶科、製絲科)

- 一 雌雄同體雌雄異體トハ何ゾ例ヲ舉ゲテ説明セヨ
- 二 次ニ掲グル動物ニ就キ各其ノ屬スル門ヲ記セ
蚜蟲、繸蟲、ツウリムシ、蠅蟲、ツリガネムシ、夜盜蟲、

(43)

●數 學 (養蠶本科)

- 一 百人ナレバ毎日十二時間宛働キ六十日間ニ長サ六哩ノ堤ヲ作ル可シ今八十人ニテ四十八日間ニ長サ四哩ノ堤ヲ作ランニハ毎日幾時間働キテ可ナルヤ
- 二 自轉車アリ前輪ノ徑三呎後輪ノ徑十二吋ナリ今或道路ヲ行キシニ後輪ハ前輪ヨリ百回多ク廻轉セリ道程ノ長サ幾呎ナルヤ
(以上算術)

三 $x = 1$ ナルトキハ $\frac{2}{x^2 - 1} + \frac{1}{x - 2}$ ノ値ヲ見出セ

四 矩形ノ地アリ面積1800坪周圍170間アリ各邊ノ長サ幾何
(以上代數)

五 平面行四邊形ABCDノ對邊AD及ヒBCノ中點ヲEFトセハ直線BE, DFハ對角線ACヲ三等分ス
(以上幾何)

●植 物 學 (養蠶本科)

- 一 種子ノ構造ヲ問フ
- 二 營養物攝取上葉ト根ト異ナル點ヲ記セ

●算 術 (製絲本科)

一 空桶アリABCノ三管ヲ有スAナレバ三時間Bナレバ四時間ニシテ其ヲ充スベク又Cハ一時間ニシテ之ヲ盡スベシ今三管ヲ順次午後一時、二時、三時ニ開ケバ桶ハ何時ニテ空虚ト

ナルヤ

二 或ル物品ヲ八百圓ニ賣リテハ四分ノ損アリ依テ六分ノ利益ヲ見ントセハ幾何ニ賣リテ可ナリヤ

三 直徑九吋ノ管ヲ以テセバ或ル水量ヲ六時間ニ放出ス然ラバ前ノ三倍ノ量ヲ放出センニ直徑六吋ノ管四本ヲ用ユレバ幾時間ヲ要スルヤ

四 直圓壘形ノ一升入水榭ノ高サ二寸七分ナルトキハ底面ナル圓ノ半徑何寸何分ナリヤ

●代 數 (製絲本科)

一 $x + y = u, xy = v$ ナルトキ $x^4 + y^4$ 及 v ノ値ヲ示セ

二 AトBハ三百哩距タレル停車場ナリ今A及ヒBノ停車場ヨリ同時ニ相向テ發車セリ而シテ中途ニテ二車出會セシ後Aヨリ發車セシモノハ九時間ニシテBニ着シBヨリ發車セシモノハ四時間ニシテAニ着セリト云フ兩列車ノ速度並ニ全程ヲ通過スルニ要セシ時間ヲ求ム

●幾 何 (製絲本科)

- 一 二ツノ與直線ヨリ等距離ナル點ヲ他ノ與直線上ニ求ム
- 二 三角形ノ一ツノ頂點ヨリ引ケル高サガ其邊ト交ハリテ此ノ邊ノ二ツノ部分ノ比例中項ナルトキハ此ノ三角形ハ直角三角形ナルコトヲ證セ

明治二十八年年度製絲本科女生入學試驗問題 (東京)

●算 術

(46)

- 一 工女アリ日給三十五錢ニテ二百七十五日間働キ内食費トシテ二十七圓五十錢ヲ支拂ヒ小遣費トシテ十三圓七十五錢ヲ費セシト云フ此工女ノ所得金何程ナリヤ
- 二 製絲工場ニ於テ賞與金千七百六十八圓チ一等工女及二等工女若干人ニ分配セシニ一等工女ノ所得一人ニ付十圓ニシテ二等工女ハ五圓ナリ而シテ尙十八圓ヲ剩セリト云フ各工女ノ數ヲ問フ

但一等工女ノ數ハ二、二等工女ノ數ハ三ノ割合ナリ

●理科

- 一 水ノ沸騰ヲ繼續スレバ其量減少スル理由如何
- 二 動物ノ呼氣ト吸氣トハ如何ナル差異アリヤ

●作文

- 一 出征軍人ノ家族ヲ慰ムルノ文

●製絲法

- 一 半乾燥繭ト本乾燥繭トハ其養方ニ如何ナル區別アリヤ
- 二 解舒不良ナル繭ヲ製絲スルニハ如何ナル注意ヲナスベキヤ
- 三 繭一石ヲ製絲スルニ一人ニテ幾日ヲ要シ生絲幾何ヲ得ベキヤ

明治二十八年年度製絲別科生入學試驗問題 (東京)

●作文

- 一 養蠶ニ手傳ヲ頼ム文

明治二十八年年度養蠶別科生入學試驗問題 (京都)

●算術

- 一 事務員アリ午前六時襷ヲ出デ一時間運動シ朝ノ食事ニ一時間ヲ要シ二時間新聞紙ヲ讀ミ三時間ニテ衣服ヲ更メ夫レヨリ四時間ニテ事務所ニ着シ五時間休息シ六時間事務ニ従事シ七時間分間晝ノ食事ニ費シ八時間雜談ニ時ヲ移シ九時間事務ニ従事シ十時間ニテ歸宅シ十一時間休息シ晩ノ食事ニ一時間ヲ費シ十二時間雜談シ次ノ二時間ヲ沐浴遊戲應接等ニ費シ夫レヨリ三時間ヲ讀書又ハ事務ニ費シ四時間休息シ寢ニ就クト云フ此人ノ睡眠ニ供スル時間ハ何程ナルヤ

●理科

- 一 蠶室アリ間口二間半奥行三間高サ一間半ナリ其上下四圍ノ面積ハ幾平方尺ナリヤ
- 二 絹布三反ノ價八一〇錢ニシテ絹布二反ハ木綿六反ニ木綿七反ハ紬三反ニ紬四反ハ双子木綿六反ニ相等シト云フ、双子木綿一反ノ價幾何
- 一 空氣ノ組成ヲ問フ
- 二 華氏寒暖計六十八度ノ溫度ヲ攝氏并ニ列氏寒暖計ノ目盛ニ改算セヨ
- 三 樹木ニ年輪ヲ生ズル理由ヲ問フ

●養蠶法

(47)

(48)

- 一 桑園ノ耕耘及施肥ノ時期ヲ問フ
 - 二 春蠶五齡期ニ於ケル刈桑百貫目中ニ存スル新梢量ノ量幾何ナリヤ
 - 三 春蠶ト秋蠶トハ飼育方法ニ於テ如何ナル差異アリヤ其大要ヲ述ベヨ
 - 四 給桑拾貫目ニ對シ幾何ノ生繭ヲ收ムベキヤ
- 作 文
- 一 某蠶業家訪問之記

明治二十九年年度養蠶本科生入學試驗問題 (東西)

●英語 譯解

- 1. The seemed to the world as far as possible from a hero; yet his life was heroic in an unusual degree.
- 2. True courtesy, after all, must spring from the heart, rather than from the head.
- 3. Owing to these habits, work has always been to him what water is to a fish.
- 4. True men create circumstances, which, in turn, aid them.

文 法

- 1. Explain as much as you can difference between the future perfect tense and the past perfect tense in the indicative mood.

2. Explain the use of each of the infinitives:—

a. He came to see the house.

b. He does not fear to die.

3. Correct the errors:—

I wish I was so rich as him.

4. Correct the errors:—

The robber, of that you spoke yesterday, must have be caught by policemen.

和 文 英 譯

- 一 友人田崎君ハ二三日前郷里ヲ出立シマシテ今朝七時十五分此地ニ到着シマシタ
- 二 試験ハ大層困難ト聞キマシタカラ今迄運動ヲ廢シテ一生懸命ニ勉強シマシタ、シカシ、コレマテ思ヒマシタヨリモ多分餘程ヤサシイデセウト今ハ想像シマス

●物 理 學 (養蠶科、製絲科)

- 一 半徑五センチメートル高サ拾センチメートルノ金屬ノ圓柱アリ其質量參キログラムナリト云フ金屬ノ密度ト比重トヲ問フ
- 二 器中ノ水面ニ浮ベル氷塊アリ之ガ融クルトキハ水面ノ高サハ如何ニ變ス可キカ理論ニヨリテ説明スベシ

(49)

●化 學 (養蠶科、製絲科)

一 分子量及瓦分子ヲ説明セヨ

二 二五%ノ稀硝酸一〇〇グラムヲ中和スルニ要スル

(a) 水酸化カリウム液(一五%ノ水酸化カリウムヲ有ス)

(b) アンモニア水(一〇%ノアンモニアヲ有ス)

ノ量ヲ求ム

但原子量ハ水素 一、〇一 酸素一六、〇〇

窒素一四、〇四 カリウム三九、一五

●作 文 (養蠶科、製絲科)

一 信用ノ重ンズベキヲ論ズ

●數 學 (養蠶本科)

一 四百二十立方センチメートルノ液體アリ之ヲ日本ノ樹量ニ改算セヨ

但シーセンチメートルハ日本尺ノ三分三厘ニシテ日本樹一升ノ容積ハ六四、八二七立方寸ナリ

二 茲ニ一町六反歩ノ桑園ヲ賣ルモノアリ即時ニ二千五百圓ヲ受取り一年ノ後千圓二年ノ後又千圓三年ノ後千二百六十圓ヲ受取り合計五千七百六十圓ニテ賣却セントス今若シ一ケ年ハ%ノ利息ニテ重利法ニ依リ計算シ差異ナケレハ全部即金ニテ廉價ニ賣却スベシト云フ即金拂ノ賣價何程ナルヤ

(以上算術)

三 一 $\frac{a}{c} + \frac{b}{c}$ ナニ根トスル方程式ヲ作レ

四 黄繭六十個アリ此内ヨリ若干顆ヲ取り去リ其代リニ白繭ヲ容レ再ヒ黄白ヲ取り混ぜ前回ヨリ十四個多ク取り出シ(取り出シタル黄繭ト白繭トノ比ハ残りタルモノ、黄繭ト白繭トノ比ニ等シ)之ニ代ユルニ白繭ノミヲ容レタリ此時黄繭ト白繭トハ相半セリト云フ最初取り出シタル黄繭ノ數幾何

(以上代數)

五 正三角形内ノ一ツノ點ヨリ三ツノ邊ヘ引ケル垂線ノ和ハ其高サニ等シ
(以上幾何)

●植 物 學 (養蠶本科)

一 氣孔ノ構造ヲ説明シ其作用ヲ述ヘヨ

二 芽トハ如何ナルモノゾ及其種類ヲ大別セヨ

動 物 學 (養蠶本科)

一 左記昆蟲ニ就キ各其屬スル目ヲ記セ

桑尺蠖蛾、蠅、蜜蜂

二 動物ノ消化器ニ就キ説明セヨ

●算術 (製絲本科)

- 一 縮尺十萬分ノ一ノ地圖ニ於テ東京府ノ面積 一三八、一三方里ハ幾平方尺ナルカ
- 二 互ニ嚙ミ合ヒテ回轉セル二個ノ齒車アリ大ナルモノハ其齒數三十二、小ナルモノハ二十四ナリ大ナル齒車ガ二、五分間ニ三十回轉スルナラハ小ナル齒車ハ四五分間ニ幾回轉スルヤ
- 三 今ヨリ五ヶ年後ニ償還サル可キ年五分利付ノ債券ヲ額面百圓ニ就キ九十六圓ニテ買フトキハ單利ニテ計算シテ年利何程ノ利廻リニ當ルカ
- 四 某製絲工場ニ工事アリ甲組ノ工夫ナラハ一人ニテ六十日間ニ成業シ得ベク乙組ノ工夫ナラハ一人ニテ八十日間ニ成業シ得ベシト云フ今甲組ノ工夫三人ト乙組ノ工夫五人トハ八日間就業セシメタリ該工事ハ既ニ成業セシヤ否ヤ若シ成業セザレハ殘業ハ該工事ノ幾分ニ當ルカ

●代數 (製絲本科)

- 一 $y^2 - xy = 15$ $x^2 + xy = 14$ ノ二方程式ヨリ x ノ値ヲ求メヨ
- 二 四人資本ヲ合シテ商業ヲ爲シ利金四千七百五十五圓ヲ得タリ今之ヲ配分スルニ甲ノ三倍ハ乙ノ得ル所ニ等シク甲乙ノ和ハ丙ニ等シク尙乙丙ノ和ハ丁ニ等シト云フ然ラハ各利金幾何
- 幾何 (製絲本科)
- 一 與ヘラレタル直線チ一邊トシテ正六邊形ヲ作ル方法並ニ其理由ヲ記セ
- 二 内接四邊形ノ對邊ノ引長線ガ互ニ作ル角ノ二等分線ハ直角ニ交ハルコトヲ證明セヨ

明治二十九年製絲本科女生入學試驗問題 (東京)

●算術

- 一 二種ノ繭アリ其和ハ三百二十顆ニシテ其差ハ八十顆ナリト云フ各數如何
- 二 或仕事ヲナスニ甲ハ六日ヲ費シ乙ハ八日ヲ費スト云フ今甲乙兩人ニテ二日間働ク時ハ其仕事ノ殘リ幾何ナルヤ

●理科

- 一 風ノ吹ク日ニ物ヲ干セバ能ク乾クノ理由ヲ問フ
- 二 屋外ニ鐵ヲ置ケバ銹ヲ生ズル理由ヲ問フ

一 藝文

●製絲法

- 一 繭ハ種類ニ依リ大小アレドモ大略一升ノ粒數ハ何程アリヤ
- 二 生繭ト乾燥繭トヲ製絲スルニ注意ノ異ナル點ヲ示セ
- 三 大粒ノ繭ト小粒ノ繭トハ一升ノ絲量何レガ多キヤ

明治二十九年製絲別科生入學試驗問題 (東京)

- 作 文
- 一 花見ニ人ヲ招ク文

明治三十九年度養蠶別科生入學試験問題 (京都)

●算 術

- 一 數ト量トノ區別ヲ説明セヨ
- 二 茲ニ一町歩ノ畑アリ之レニ桑ヲ植ウルニ畦間ヲ六尺トシ一坪ニ付キ二本ノ割合ヲ以テセリト云フ其ノ株數及株間ノ距離ヲ問フ
- 三 時計アリ三晝夜ノ間ニ四分三十五秒遅ルト云フ此ノ時計ガ一分進行スル間ニ正シキ時計ハ何程進ムカ

●養 蠶 法

- 一 越年蠶種貯藏ノ必要如何
- 二 春夏秋蠶ニ就キ餉食ニ適當ナル時期ヲ述ベヨ
- 三 育蠶上桑ヲ早生中生晩生ノ三種ニ區別スル理由如何

●理 科

- 一 近眼者ノ眼鏡ハ何故ニ凹レンズヲ用フベキカ
- 二 左記纏繞植物ノ莖ノ卷キ方ヲ問フ
 - 一、あさがは
 - 二、ふぢ
 - 三、いんげんまめ

- 三 乾キタル木ハ生木ヨリモ燃ヘヤスキハ如何ナル理ナリヤ
- 作 文

一 慕參ノ記

明治四十年年度養蠶、製絲本科男生入學試験問題 (東西)

(養蠶科、製絲科)

●英 語

譯 解

- 1. It is no proof that one can not do a thing because he does not like doing it; it is harder to do what one does not like:— that is all.
- 2. Never take a mean advantage of any one in any transaction, and never be hard upon people who are in your power.
- 3. When we say that boys and youngmen should get into the habit of rising early we mean that they should do so by acquiring the corresponding habit of going early to bed.
- 4. He is not only idle who does nothing, but he is idle who might be better employed.

文 法

- 1. Correct the errors, if any, in the following sentences:—
 - a. Your brother are three year elder than me.

- b. I am very much tired to walk some longer.
- c. The book is written with such an easy English as beginners can understand it.
- 2. Change (a) into the indirect form of narration, and (b) into the direct form:—
 - (a) When I met him at Yokohama he said, "I came here three weeks ago."
 - (b) I asked him if that was all he could tell about that matter.

和文英譯

- 一 蠶はあんなに小さい昆虫でありながら尙ほ能く非常の利益を人類に與へます私共も人間と生れたからには何とか人類を益する事業をなしたいものです
- 二 觀光の爲め我國に渡來する外客の數は年一年と増加するのにこれを收容すべき旅館の設備の未だ不完全なるは甚だ遺憾のことである

●物理學 (養蠶科、製絲科)

- 一 水ハ表面ヨリ、油ハ下面ヨリ凍ル理由如何
- 二 色消シ「レンズ」ノ構造及び其理ヲ説明セヨ

●化學

- 一 千グラムノ炭酸瓦斯ヲ製スルニハ幾何量ノ炭酸曹達(結晶水ヲ含マサルモノ)ヲ要スベキカ但原子量ハ酸素一六、〇〇 炭素一二、〇〇 ナトリウム二三、〇五
- 二 水中ニ「カリウム」ヲ投シタルトキ生ズル化學變化ヲ説明セヨ

●作文 (養蠶科、製絲科)

- 一 滿韓旅行ヲ勸ムルノ文

●數學 (養蠶本科)

- 一 次ノ計算ヲ行ヘ

$$\frac{(14 + 5 + 20) \sqrt{3}}{3 + 6 + 21}$$

$$\frac{(3 - 4) \times \frac{1}{\sqrt{2}}}{6 - 7}$$

- 二 三女ノ爲ス業ハ五童ノナス業ニ等シク二女ノ業ハ一男ノナス業ニ等シ今六男十女十五童共ニ執業シ工賃十七圓二十錢五厘ヲ得タリト云フ然ラハ各一人壹日ノ賃錢何程 (以上算術)

- 三 次ノ計算ヲ行ヘ

$$(16a^2 + 6a^{-2} + 5a^{-1} - 6) \div (2a^{-1} - 1)$$

- 四 人アリ馬ト車トヲ四百五十圓ニテ買ヒ其馬ハ百分ノ五ノ利ヲ得テ賣リ其車ハ百分ノ二十ノ利ヲ得テ賣リタルヲ以テ之ヲ通算セハ百分ノ十六ノ利ニ當ルベシト云フ馬ノ原價ヲ問フ (以上代數)

- 五 二ツノ相等シカラサル直線ノ和ノ半分ハ其直線ノ間ノ比中項ナル直線ヨリ大ナリ (以上幾何)

●動物學 (養蠶本科)

- 一 蛤ノ貝殻ニ就キ其構造及開閉作用ヲ説明セヨ

(58)

二 飛蝗(ハツタ)ノ外形ヲ詳記セヨ

●植物學(養蠶本科)

一 地下莖ト根トノ區別ハ如何

二 葉ノ開度トハ如何

●地理(養蠶科、製絲科)

一 本邦近海ノ潮流ヲ問フ

二 歐羅巴洲ノ略圖ヲ畫キ左記ノ名稱ト國名トヲ共ニ記入シテ其位置ヲ示スベシ

1、アドリアチック海 (Adriatic Sea)

2、アルプス連山 (The Alps)

3、バルチック海 (Baltic Sea)

4、ゼノア (Zeno)

5、里昂 (Lyon)

6、米兰 (Milan)

7、マンチエスター (Manchester)

8、馬耳塞 (Marseilles)

9、ローン河 (R. Rhone)

10、高加索連山 (Caucasus Mts.)

●算術

一 (a) 次ノ式ノ計算ヲ行フベシ (小数點以下二位迄出シ、以下四捨五入スベシ)

$$\frac{1}{\sqrt{3}} (\sqrt{2})^5 (4) - 2$$

(b) .0000000001ハ、.01ノ幾乗ニ當ルカ

二 甲ハ酒一升ノ内ニ水三合ヲ混シタルモノトシ乙ハ酒一升ノ内ニ水一合ヲ混シタルモノトシ兩者ヲ混合シテ一升中ニ水一合五勺ヲ混有セル混合酒一斗ヲ作ランニハ甲乙兩者ヲ如何ニ混合スベキカ

三 三百圓ノ負債ヲ年賦三ヶ年間ニ毎年同額宛償却セントスルニハ年何圓宛ヲ償却ス可キカ但シ利子ハ年八分ノ割

四 (a) 三立方ハ二尺立方ノ何倍ニ當ルカ

(b) 一寸平方ハ二尺平方ノ何分ノ一ナルカ

●代數及幾何學

一 $4x^2a^{-2} - 12xa^{-1} + 25 - 24x^{-1} + 16x^{-2}a^2$ ノ平方根ヲ求ム

二 $\frac{2}{3}$ ニ等シキ分數アリ分母分子ノ各ニ或ル數ヲ加フルトキハ $\frac{1}{2}$ トナリ分母分子ノ各ヨリ同シ數ヲ引キ更ニ一ヲ減スルトキハ $\frac{1}{3}$ トナルト云フ此分數ヲ求ム

(以上代數)

三 三角形ノ内一ツノ點ヨリ三ツノ頂點ニ至ル距離ノ和ハ三角形ノ周ヨリ小ニシテ其半分ヨリ

(59)

(60)

- 大ナルコトヲ證明セヨ
 四 與ヘラレタル二ツノ直線ニ接スル圓ノ中心ノ軌跡ヲ求ム
 (以上幾何學)

明治四十年度製絲本科女生入學試驗問題 (東京)

●算術

- 一 金壹千圓ヲ甲乙丙ノ三人ニ分配スルニ乙ハ甲ノ三倍ヨリ拾圓少ク丙ハ甲ノ四倍ヨリ貳圓多シト云フ各所得幾何ナルカ
 二 壹里ハ幾尺ニ當ルカ

●理科

- 一 物質ノ三態トハ何ゾヤ
 二 花ノ構造ヲ略記セヨ
 ●作文
 一 入學ヲ祝スルノ文

●製絲法

- 一 繭一粒ノ絲長ハ檢尺器ニテ普通何回アルヤ
 二 繭五粒ヲ以テ繰絲スレバ約幾デニール位ノ生絲ヲ製シ得ルヤ
 三 善良ナル生絲ヲ製スルニハ如何ナル點ニ注意スベキヤ

明治四十年度製絲別科生入學試驗問題 (東京)

●作文

- 一 母ノ安否ヲ尋ヌル文

●製絲法

- 一 解舒惡シキ繭ハ如何ナル方法ニ依リ繰絲スレハ可ナルヤ
 二 選別セザル繭ヲ繰絲スルトキハ如何ナル不利益アリヤ
 三 生絲ニ綾ヲ施スハ如何ナル必要ニ由ルモノナルヤ

明治四十年度養蠶別科生入學試驗問題 (京都)

●算術

- 一 長サ三尺六寸巾二尺八寸ノ長方形蠶箔ト直徑二尺八寸ノ圓形蠶座トノ二種アリ此兩蠶箔ニ各周圍二寸ヲ殘シ0.8平方尺ニ蟻量一匁ヲ掃立ツルモノトセバ收容シ得ベキ蟻量如何
 但圓周率ハ三、一四一五九二六五
 二 收繭ヲナスニ甲ハ四日乙ハ三日ヲ要スト云フ甲乙兩人共同シテナストキハ幾日ヲ要スルカ
 三 甲乙兩人共同シテ養蠶ヲナシ利益金八十圓ヲ得タリ而シテ甲ハ出資高百二十圓乙ハ二百圓ナリ尙甲ハ養蠶教師ナリシヲ以テ此利ノ十分ノ一ヲ得タリ而シテ此利金ヲ各出資高ニ應ジテ配分セントス各人ノ所得幾何ナルカ

(61)

(62)

●養蠶法

- 一 桑苗ノ選擇法ヲ問フ
 - 二 左ノ桑種ノ特徴ヲ列記セヨ
市平 魯桑
 - 三 秋蠶ヲ飼育シ一石二斗ノ繭ヲ得ルニハ蠶室ノ坪數及摘入桑凡幾何ヲ要スルカ
 - 四 上簇結繭中温度高キトキハ繭質ニ如何ナル關係ヲ及ボスカ
- 理科
- 一 被子植物及裸子植物トハ如何ナル者カ
 - 二 雌雄同體ノ動物ノ名稱三ツヲ舉ゲヨ
 - 三 左ノ術語ノ意義ヲ問フ
化合、
比重、

●作文

- 一 蠶況通知ノ文 (書翰文)

明治四十一年度養蠶、製絲本科男生入學試驗問題 (東西)

●英語 (養蠶科、製絲科)

譯解

- 1. The earlier and more thoroughly this lesson is learned, the better it will be for his peace of mind and his success in life.
- 2. Industry or idleness are habits, each as easily acquired as the other.
- 3. The habit of doing a kind deed every time he had a chance to do it, was early formed by him.
- 4. (a) To and fro.
(b) By and by.
(c) He gave up his plans.

文法

- 1. Write a simple sentence containing a verb in the passive voice.
- 2. What is an adverbial phrase?
Give an example.
- 3. Explain the future perfect tense.
(Give an example.)
- 4. Correct the errors.
He has arrived Hakodate at tenth of last month.

(63)

下ノ文ヲ英譯セヨ

(64)

一 昨日私カ將ニ停車場ヲ去ラウトシマシタトキ其二三日前名古屋ヲ逢ヒマシタ五人ノ支那人ニ出逢ヒマシタ

●物理學 (養蠶科、製絲科)

一 物體ヲ垂直ニ投ゲ上ゲタルトキ十六秒ノ後原位ニ落下シタリト云フ其物體ノ達シタル高サヲ問フ

但空氣ノ抵抗ナキモノト假定ス

二 氣壓七百六十「ミリメートル」ナリト云フハ如何ナル意味カ又此氣壓ハ一平方「センチメートル」ニ付幾何「グラム」ナルカ

但水銀ノ比重ヲ一三、六トス

●化學 (養蠶科、製絲科)

一 蠟燭ノ焰ヲ説明セヨ

二 食鹽ヨリ鹽化水素ヲ製スル方程式ヲ作レ又食鹽一〇「グラム」ヲ使用スルトキハ幾許「グラム」ノ鹽化水素ヲ生ス可キヤ

但シ原子量 水素ハ 一、〇〇八

「ナトリウム」ハ 二三、〇五

鹽素ハ 三五、四五

●作文 (養蠶科、製絲科)

一 成功ヲ論ス

●地理 (養蠶科、製絲科)

一 左ノ海峽ノ名稱如何

臺灣島ト比律賓群島トノ間

占守島ト勘察加半島トノ間

對馬島ト韓國トノ間

澎湖列島ト清國福建省トノ間

樺太島ト露領沿海州トノ間

二 英佛二國ノ國體風俗其他異ナル點ヲ簡單ニ表示ス可シ

●數學 (養蠶本科)

一 年利四歩三厘トスルトキハ元金六百七十五圓八十三錢二厘ニ對シ三年五ヶ月七日間ノ利息何程トナルヤ

但厘位以下三位迄精算ス可シ

二
$$\sqrt[3]{\frac{4913}{5832}} + \sqrt{\frac{324}{361}} - \sqrt[3]{\frac{3375}{54872}}$$
ノ値ヲ求ム

(以上算術)

三 次ノ方程式ヲ解ケ

$$x^3 - 26x^2 - 27x = 0$$

(65)

四 或人其ノ飼養スル所ノ家禽アリ五月中ニ得タル卵ハ四月中ニ得タル卵ヨリ百個多ク五月中

ノ卵ノ數ヲ毎日平均スレバ四月中ノ卵ノ數ヲ毎日平均セシ數ヨリ三ツ多カリシト云フ五月
中ニ得タル卵數幾何

(以上代數)

五 三ツノ平行線ガ第四ノ直線ト交レバ四ツノ直線ハ同一ノ平面上ニ在リ
(以上幾何)

●動物學 (養蠶本科)

一 變態トハ何ゾヤ例ヲ舉ゲテ説明セヨ
二 左ノ動物ヲ分類セヨ

蚊	アワビ	草履蟲	カツホノエボシ
ムカデ	ナメクシ	ヒドラ	ゴカイ
ウニ	サンシヨウウオ	ヤツメウナギ	フジツボ
ヒトデ	シラミ	フグ	ミジンコ
オウムガイ	蠅	ホヤ	サソリ

●植物學 (養蠶本科)

一 果實ノ種類ヲ問フ
二 日光ト植物ノ同化作用トノ關係ヲ問フ

●算術 (製絲本科)

一 次ノモノヲ最簡分數ニ直セ

$$\frac{(1+3-1) \times 67}{(2+3-7) \times \frac{5}{2}} \times \frac{5}{2}$$

$$\frac{161 + (\frac{7}{3} + \frac{1}{6} + \frac{5}{3})}{5 + \frac{1}{6} + \frac{5}{3}}$$

二 内徑一尺二寸高サ六十尺厚サ四分ノ一時ノ煙突ノ重量ヲ問フ

但鐵材ノ一立方尺ノ目方ハ五十八貫目壹吋ハ〇、八三八寸トス

三 桑園ヲ作ルニ壹坪ニ付桑苗五株宛ヲ植ユルトキハ壹千八百五十株ヲ剩ス可シ若シ六株宛植
ユルナラバ五百七十株ノ不足ヲ生ズ可シト云フ桑苗ノ總數及桑園ノ坪數ハ如何

四 或人金三百圓ヲ某銀行ニ預ケ年利六%ニテ半年毎ニ利金ヲ元金ニ繰リ込ムトキハ何年ノ後
ニ半年毎ニ利金トシテ十五圓受取ル可キカ

●代數及幾何學 (製絲本科)

一 次ノ方程式ヲ解ケ

$$8x - 1 = 1$$

$$83 - 1 = 8 - 4 = 2 + 4$$

二 列車ヲ引カザルトキハ毎時間貳拾四哩ヲ走り四車ヲ引クトキハ毎時間貳拾哩ヲ走ル機關車
アリ此機關車ハ幾車迄引キ得ベキカ

但列車ヲ引クトキ速度ノ減少ハ車數ノ平方根ニ正比例スト云フ

(以上代數)

(68)

- 三 與ヘラレタル一點ヲ過ギル弦ノ中點ノ軌跡ヲ求ム
- 四 與ヘラレタル正六邊形ト等積ナル正三角形ヲ作レ
(以上幾何學)

明治四十一年度製絲本科女生入學試驗問題 (東京)

●算術

- 一 絹五尺ト紬三尺ト其ノ價相等シク而シテ絹一尺ノ價ハ紬一尺ノ價ヨリ十二錢安シト云フ各一尺ノ價幾何
- 二 工女アリ毎日十時間宛働キ十二日間ニ七斗八升ノ繭ヲ繰絲シタリト云フ此ノ割合ニテ毎日十二時間宛働キ二十五日間ニハ幾何ノ繭ヲ繰絲ス可キヤ
- 理科
 - 一 炭火ヲ起スニ吹子ヲ用フル理由如何
 - 二 水銀寒暖計ノ種類ヲ舉ゲテ之ヲ説明セヨ
- 作文
 - 一 夏ノ朝

●製絲法

- 一 春蠶繭ト夏秋蠶繭トハ之ヲ繰絲スルニ如何ナル差異アリヤ
- 二 繭ヲ繰絲スルニハ如何ナル注意ヲ要ス可キヤ
- 三 煮繭法ヲ誤リクル繭ヲ繰絲スルニハ繰湯ノ溫度ハ如何ニ加減ス可キヤ

明治四十一年度製絲別科生入學試驗問題 (東京)

●作文

- 一 草花ヲ贈ル文

●製絲法

- 一 繭ノ適當ナル煮加減ハ如何ニシテ之ヲ知ル可キヤ
- 二 生繭一舛百匁ノモノヲ本乾燥ニスルトキハ何匁ニナルヤ
- 三 春蠶繭ト夏秋蠶繭トハ何レカ繰絲シ易キヤ又絲量ハ何レガ多キヤ

明治四十一年度養蠶別科生入學試驗問題 (京都)

●算術

- 一 $(10\frac{1}{2} + 0.25 + 46.7) \times (496\frac{1}{2} - 117\frac{1}{2})$ 計算セヨ
- 二 馬八頭若シクハ牛五頭ヲ九十一日間使役シテ運ビ終ルベキ米ヲ各七頭宛共ニ使役スルトキハ幾日間ニテ運ビ終ルベキカ
- 三 或店ニ於テ二割三分利ヲ見テ正札ヲ付ケタル品物ヲ買主ノ求メニヨリテ正札ヨリ二割ヲ減シ賣リ渡セリト云フ此店ノ損益ノ歩合ヲ問フ
- 四 登山ヲナスニ一時間ニ付、上リハ半里下リハ二里ノ割合ニテ往復ニ五時間半ヲ費セリ麓

(69)

ヨリ頂上マデノ距離ヲ求メヨ

●養蠶法

- 一 秋蠶種購入上注意スベキ要點ヲ列舉セヨ
- 二 春蠶期ニ於テ最モ飼育ニ困難ナル氣象状態ヲ説キ併セテ之レニ要スルノ方法ヲ述ベヨ
- 三 桑ノ播種方法ヲ問フ

●理科

- 一 物質ノ三體トハ如何ナルモノカ實例各四ツヲ舉ゲヨ
 - 二 軟水硬水ニ就テ知ル所ヲ略述セヨ
 - 三 植物ノ生長ニ必要ナル要件ヲ問フ
 - 四 動物ノ彩色ニ就テ説明セヨ
- 作文
- 一 共同稚蠶飼育ヲ見テ感アリ

明治四十一年度女子入學試驗問題 (京都)

●算術

- 一 五月二日ガ日曜日ナリ此月ノ月曜日ヲ、コトゴトク書キナラベヨ
- 二 晝ノ時間ハ夜ノ時間ノ5/7ナルトキハ晝ノ時間ハ何程ナリヤ
- 三 大小二數アリ其和ハ五百五ニシテ其差ハ二十五ナリト云フ兩數各幾何ナリヤ

●理科

- 一 植物ノ葉ハ如何ナル作用ヲナスカ
 - 二 水ノ成分ヲ問フ
- 作文
- 一 友人ニ養蠶ヲ勸ムル文
 - 養蠶法
 - 一 除沙ハ何故必要ナルカ
 - 二 蠶兒上簇中注意スベキ點ヲ舉ゲヨ

明治四十二年度養蠶製絲本科男生入學試驗問題 (東西)

●英語 (養蠶科、製絲科)

英文和譯

- 1. Children insensibly come to resemble those who are about them—as insects take the color of the leaves they feed on.
- 2. When a false friend is trying to persuade you to your own disadvantage, yield, and you win only his contempt; firmly refuse, and he at once acknowledges you as his superior.
- 3. We envy a man who has achieved great success, but we do not see the failures and heart-aches upon heart-aches which he buried beneath his triumph.

文 法

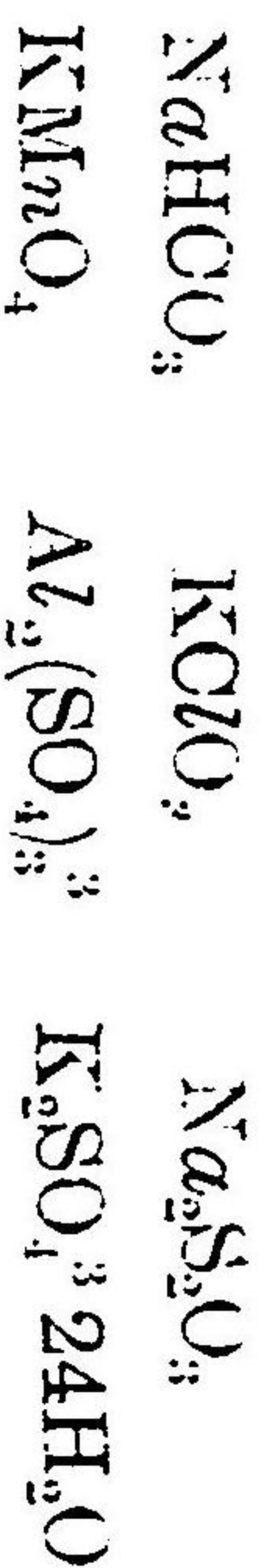
I. Correct the errors:—

- a. The wind blowed hardly last night.
- b. Japan is consisted with five main islands.
- c. When I asked him if he has ever been at Nara, he answered that he has not, but he is going there this summer.
- 2. Fill up the blanks with appropriate words:—
 - a. — Shinano is — longest — all the rivers — Japan.
 - b. — — a previous engagement I was prevented — accepting his invitation — dinner.

和 文 英 譯

- 一 この頃のやうに鐵道事故が頻々と起つては旅行もなか／＼安心しては出來な
- 二 それと知つたら何とか仕様もあつたらうに
 - 物 理 學 (養蠶科、製絲科)
 - 一 毎秒一九・六米ノ速サニテ直上ニ投上ケタル物體ハ幾何ノ高サニ達ス可キカ
但重力ノ加速度ハ毎秒九百八十糎トシ空氣ノ抵抗ナキモノトス
 - 二 次ノ術語ヲ説明セヨ
 - 波ノ干涉 發音體ノ共鳴 光ノ分散(分解トモ云フ)
 - 化 學 (養蠶科、製絲科)

- 一 單體又ハ複體ノ分子量ハ密度ノ二倍ナルコトヲ説明セヨ
- 二 左ノ分子式ノ名稱ヲ問フ



●作 文

一 勤儉論

●地 理 (養蠶科、製絲科)

- 一 本邦重要輸出品及輸入品ヲ問フ
- 二 左記諸國ノ首府ヲ問フ

1 和 蘭	2 希 臘	3 暹 羅	4 印 度
5 メキシコ	6 西班牙	7 濠太利	8 加奈太
9 瑞 西	10 土耳其		

●植 物 學 (養蠶本科)

- 一 葉ノ構造ヲ記載セヨ
- 二 左記植物ハ何科ニ屬スルヤ

馬鈴薯	桑	羅 荷
-----	---	-----

 - 動 物 學 (養蠶本科)
 - 一 動物ノ生代交替トハ如何實例ヲ舉ゲテ説明セヨ

(74)

二 左ノ動物ヲ分類セヨ

十二指腸蟲	カウガイヒル	ヒドラ	疥癬蟲
介殼蟲	カメノテ	浮塵子	ワラジムシ
衣魚	エンジムシ		

●數 學 (養蠶本科)

- 一 元價五圓ノモノニ定價ヲ附シツノ定價ノ二割引ニ賣ルモ尙二割ヲ利セントス定價ヲ何程トナス可キカ
- 二 三十五日間ニ任上ク可キ工事アリ今十六人ニテ毎日六時間ヅ、働キ二十日ニテ漸ク業ヲナセリ約束ノ期日マデニ殘業ヲ爲シ終ルニハ毎日八時間ヅ、働カシムルモ尙幾人ノ不足ナルヤ (以上算術)
- 三
$$\frac{x^2 + 3x + 6}{x - 2} + \frac{x + 6}{x - 2} + \frac{x + 9}{x - 2} = 3$$
ヲ解ケ
- 四 正午ニ甲府ヲ發スル普通列車ト午後六時ニ同所ヲ發スル急行列車トガ翌朝同時ニ乙府ニ到着スル時ハ急行列車ノ毎時ノ速度如何
但甲乙兩府ノ距離ハ三百二十哩ニシテ急行列車ハ普通列車ヨリ毎時平均十二哩早シトス (以上代數)
- 五 圓周ニ於テノ角ハ同シ弧ノ上ニ立ツ所ノ中心ニ於テノ角ノ半分ナリ (以上幾何)

●算 術

- 一
$$\frac{13.0625 + (\frac{1}{2} + \frac{3}{4} + \frac{1}{10})}{1.3 \times 25 + (\frac{5}{12} - \frac{1}{37}) \times 922}$$
ヲ簡約セヨ
- 二 商人アリ品物ヲ二割高ク賣ラントセシニ却テ其賣ラント欲セシ價ノ二割ヲ減シテ賣レリト云フ此商人ノ損益如何
- 三 製絲工女一人一時間繰絲スルトキハ石炭一斤(日本斤)ヲ要ス而シテ火爐一平方尺ニ付一時間ニ石炭九封度(英斤)ヲ燃燒スルトセハ百二十人ノ工女ヲ使役スル工場ニテハ火床面積何程ノ汽罐ヲ要スルヤ
又一日十二時間繰絲スルトシ八ヶ月ノ燃料幾何ナルヤ
- 四 年利率率チ一割トシテ現時ヨリ滿三ヶ年後ニ受取ル金貳千圓ノ現價如何
●代數及幾何 (同上)

$$x^2 - 6x + 5 + \frac{2}{x-2} = 0 \text{ ヲ解ケ}$$

$$\log 2 = .30103$$

ノ整數部分ノ數ヲ問フ

(以上代數)

(75)

三 菱形ノ對角線ハ互ニ垂線ナルコトヲ證明セヨ

(76)

四 斜邊及直角ノ頂點ヨリ之ヲ引ケル垂線ヲ與ヘラレタルトキ直角三角形ヲ作ル方法ヲ説明セヨ
(以上幾何)

明治四十二年度製絲本科女生入學試驗問題 (東京)

●算術

- 一 壹反六圓ノ紬ト壹反二圓五十錢ノ木綿縹トヲ合セテ十二反買ヒシニ其價格總計四十圓五十錢ナリト云フ各幾反ナルカ
- 二 生絲ノ相場百斤ニ就キ九百六十圓ノトキ三貫五百匁ノ生絲ノ價格幾何
但生絲一斤ハ百六十匁トス

●理科

- 一 竹、麥稈等ヲ燃ヤス時ニ爆發ヲ發スル理由如何
 - 二 蠶ノ變態ヲ問フ
- 作文
- 一 製絲場ヲ觀ルノ記

●製絲法

- 一 十四「デニール」ノ生絲ヲ製スルニハ繭幾粒付ニテ繰絲スレバ可ナルヤ
- 二 普通ノ工女ハ一日(十時間)ニ幾許ノ繭ヲ繰リ幾何ノ生絲ヲ製シ得ルヤ
- 三 生繭及本乾燥繭ノ一疋重量ハ約幾何ナルヤ

●作文

- 一 遊學セル姉ノ安否ヲ問フノ文

●製絲法

- 一 選別繭ト不選別繭トノ繰絲ニ於ケル利害ノ點ヲ示セ
- 二 同種ノ繭ヲ繰絲スルニ絲量ニ多少ヲ生ズルハ何故ナルカ
- 三 百人繰ノ工場ニテ一日間ニ製造スル生絲量及使用スル繭ノ數量ハ大略幾許ナルヤ

明治四十二年度養蠶別科生入學試驗問題 (京都)

●算術

- 一 茲ニ一農家アリ一年間ニ生計費ハ〇圓ヲ要シ、其~~必要~~ハ普通農作物ニヨツテ得ラルト云フ、今桑ヲ購入シテ春蠶ヲナシ其不足及ビ外ニ〇圓ノ豫備費ヲ得ントス而シテ蠶量ハ匁ニ對シテ貫〇〇匁ノ桑葉ヲ要シ〇貫〇〇匁ノ收繭ヲナスモノトスレバ蠶量幾匁ヲ掃キ立テラ可ナリヤ

但シ桑一貫匁ノ價ハ15錢ニシテ繭100匁ノ價ハ30錢ナリトス

- 二 次ノ式ヲ解ケ

$$\begin{matrix} 2x + 2y = 10 \\ 3x + 2y = 5 \end{matrix}$$

(77)

- 三 小豆ノ升ニ合ト粟一斗ハ升ノ價ハ相等シク小豆及粟一升ノ價ノ差ハ〇錢ナリト云フ各ハ升ノ價如何

●養蠶法

- 一 春蠶種ニ對シ一日平均華氏六十五度ノ溫度ヲ以テ催青ヲ施サハ催青着手後何日目ニ孵化スルヤ
 - 二 春夏秋蠶各其繭質ニ如何ナル差異アリヤ
 - 三 根刈仕立ノ桑園一反歩ニ栽植スベキ桑樹ノ株數如何
 - 四 桑園ニ適スル肥料ノ名稱二三ヲ舉ゲ且其ノ施用法ヲ略述セヨ
- 理科
- 一 蒸發ト沸騰トノ區別ヲ説明セヨ
 - 二 炭酸瓦斯ノ組成及其性質ヲ述ベヨ
 - 三 葉ノ種類ヲ問フ
 - 四 動物ノ寄生ト共棲トハ如何ナルモノカ例ヲ舉ゲテ説明セヨ
- 作文
- 一 入學試驗場裡ノ感

明治四十二年度女子入學試驗問題 (京都)

●算術

- 一 和ヲ求ム
 - 二 林檎ヲ若干ノ女子ニ與フルニ五ツ宛與フレバ四ツ餘リ若シ六ツ宛與ヘントスレバ三ツ不足
 - 三 スト云フ此ノ林檎ノ數及女子ノ人數如何
二メートルノ長サト一間ノ長サトハ何レガ長キカ且ツ其差ハ何寸ナルカ
- 理科
- 一 燃燒トハ何ツヤ
 - 二 花ノ構造ニ就テ記セ
- 作文
- 一 父母ノ安否ヲ訪フ文
- 養蠶法
- 一 高サ九尺奥行三間間口二間半ノ蠶室ニ於テハ蠶量幾多ヲ飼育シ得ベキヤ
 - 二 眠中蠶座濕潤ニ過グルトキハ如何ナル手段ヲ施スベキカ
 - 三 除沙ヲ行フニ網ヲ以テスルトキハ如何ナル得點アリヤ

明治四十二年度養蠶製絲本科男生入學試驗問題 (東西)

●英語 (養蠶科、製絲科)

英文和譯

- (79)
- 1. There are many whose birth is a sentence of hard labour for life, but it does not follow that their life should, on that account, be unhappy and uninteresting.
 - 2. We are apt to forget how much we owe to science, because many of its wonderful

gifts have become familiar parts of our everyday life.

3. Mere politeness can never be a substitute for moral excellence, any more than the hawk can take the place of the heart of the oak.

文 典

- 一 八品詞ヲ悉ク含メル一文ヲ記セ
- 二 次ノ文中ニ誤アラハ之ヲ正セ

- a. I am ill for two weeks.
- b. I am very surprised at the news.
- c. No sooner he heard the news, he wept aloud.
- d. His strength is superior than mine.
- e. I am fond of a walking in the field.

和 文 英 譯

- 一 我國デハ春カラ秋迄蠶ヲ飼ツテ居リマシテ此期間常ニ繭ガ出來マスガ夏蠶ヤ秋蠶ノ絲ハ春蠶ノヨリ概シテ劣ツテ居ル
- 二 田中ト云フ男ハ今コソ零落シテアンナツマラヌ商買ヲシテ居マスガアノ男ノ父ハ縣下デ一時ハ幅ヲ利カシタ男デシタ

●物 理 學 (養蠶科、製絲科)

- 一 甲乙丙ノ物質アリ甲ニ對スル乙ノ屈折率ルニシテ乙ニ對スル丙ノ屈折率ルナラバ甲ニ對ス

ル丙ノ屈折率ハミニナルコトヲ證セヨ

- 二 液體中ニ没入セル固體ハ其排除セル液體ノ重サダケ見掛ノ重サヲ失フトイフ其理如何

●化 學 (養蠶科、製絲科)

- 一 漂白粉ノ漂白作用ハ鹽素ノ酸化作用ニヨル依テ問フ電離說ニヨリテ此變化ヲ説明セヨ
- 二 次ノ言葉ノ意義ヲ問フ
 - イ、加水分解 ロ、還元作用 ハ、脫酸作用
 - ニ、昇 華 ホ、潮 解

●作 文 (養蠶科、製絲科)

- 一 我邦ト蠶絲業

●地 理 (養蠶科、製絲科)

- 一 我國ノ氣候ヲ左右スル大原因ニ就テ述ベヨ
- 二 左記各地ノ所在ヲ問フ
 - イ、シドニー
 - ロ、トリエスト
 - ハ、マルセーユ
 - ニ、フライデルフィア
 - ホ、チデッサ
 - ヘ、ハンブルグ

ト、アムステルダム
 チ、ポーツマス
 リ、ビュノスアイレス
 ヌ、アレキサンドリア

● 數 學

- 一 細菌ハ適當ナル狀況ニ於テハ三十分毎ニ分裂増殖ス即始メ一個ノ細菌ハ三十分ニシテ二個トナリ一時間ノ後ハ四個トナルト云フ如此ニシテ五十時間ヲ經レハ其數幾何トナルヤ
- 二 $\frac{1}{10} + \frac{7}{32} + \frac{3}{8} + 0.046875 + 1.23$ ナ簡單ニセヨ

(以上算術)

- 三 $\frac{a+2\sqrt{-1}-a-2\sqrt{-1}}{a-2\sqrt{-1}-a+2\sqrt{-1}}$ ナ簡單ニセヨ

- 四 人アリ金千三百圓ヲ二分シテ甲乙二人ニ相異ナル利率ニテ貸付シテ若干月ノ後同シ利息ヲ得タリ今若シ甲ノ元金ヲ乙ノ利率ニテ計算セバ利息三十六圓トナルベク又乙ノ元金ヲ甲ノ利率ニテ計算セバ利息四十九圓トナルベシ各ノ利率ヲ求ム

(以上代數)

- 五 三角形ノ二邊ノ中點ヲ結ブ直線ハ第三邊ニ平行ナルコトヲ證セヨ

(以上幾何學)

● 植 物 學 (養蠶本科)

- 一 花ノ各部分ノ名稱及位置ヲ圖ヲ以テ示セ
- 二 左記ノ植物ハ何科ニ屬スルヤ
 - イ、さくら
 - ロ、たうがらし
 - ハ、たうもろこし
 - ニ、かきつばた

● 動 物 學 (養蠶本科)

- 一 左記動物ノ成蟲ニ就テ呼吸器ノ存在スル部位ヲ問フ
 - 一、イセエビ
 - 二、トタテグモ
 - 三、ハツタ
- 二 擬態トハ如何例ヲ舉ゲテ説明セヨ

● 算 術 (製絲本科)

- 一 四個ノ相連續セル整數ノ和九十八ニ等シ此等ノ數ヲ求ム
- 二 年五分ノ複利ニテ滿三ヶ年後ニ受取ルベキ金額一千圓ノ現價幾何
- 三 間口二間奥行二間高一間半ノ室内ニ温度十五度ノ乾燥空氣充ツ、之ニ水蒸氣ヲ飽和セシメシニハ幾何ノ水ヲ蒸發セシムルヲ要スルカ、但該温度ニ於テ水蒸氣ハ「リットル」毎ニ一

- 二、七「ミリグラム」マデ含有セラ、ルヲ得
(一「リットル」ハ一、〇〇〇立方糎、一糎ハ三分三厘トス)
- 四 六百七十三ノ平方根ヲ小數二位マテ計算セヨ
●代數及幾何學 (製絲本科)

- 一 $\sqrt{2a-1} \times \sqrt{2a+1} = 2$ ヲ解ケ
- 二 甲ハ砂糖上五斤、中四斤、下六斤ヲ買ヒテ代金三圓四錢ヲ拂ヒ乙ハ上四斤、中五斤、下一斤ヲ買ヒテ代金二圓七錢ヲ拂ヒ丙ハ上三斤、中二斤、下四斤ヲ買ヒテ二圓ヲ出シテ釣錢十八錢ヲ受取レリ、三種ノ砂糖一斤ノ代價各幾何
(以上代數)
- 三 圓ニ内接スル四邊形ノ相對スル二邊ノ長サ相等シキトキハ他ノ相對スル二邊ハ互ニ平行ナルコトヲ證セヨ
- 四 與ヘラレタル一ツノ圓ニ接シ及ヒ與ヘラレタル直線上ノ與ヘラレタル點ニ於テ其直線ニ接スル圓ヲ畫クコトヲ求ム
(以上幾何學)

明治四十三年製絲本科女生入學試驗問題 (東京)

●算術

- 一 三人ノ學生アリ、或運動場ヲ一周スルニ甲ハ八分、乙ハ十分、丙ハ十六分ヲ要ス今三人同時ニ同所ヲ發シ同一方向ニ周ルトキハ再ビ出發點ニ相會スルハ幾分ノ後ナルカ
- 二 次ノ計算ヲナスベシ
$$\frac{1}{1+3} \times \frac{1}{1+2}$$

●理科

- 一 鏡ニ呼氣ヲ吹キ掛クレハ曇チ生ズル理由ヲ説明スベシ
- 二 蠟燭ノ焰ヲ説明セヨ
●作文
- 一 海水浴ニ友ヲ誘フノ文
●製絲法
- 一 重量五百八十匁ノ生繭ハ柀量ニシテ何程ナルヤ
- 二 集緒器(俗ニボタン)ハ湯面ヨリ何寸位離レタルチ可トスルヤ又如何ナル効力チ有スルヤ
- 三 夏期ニ至リ前日ノ繰リ残り繭ヲ繰絲スルニハ如何ナル方法ニナセバ可ナルヤ

明治四十三年製絲別科生入學試驗問題 (東京)

●作文

- 一 手作リノ菊花ヲ友人ヘ贈ルノ文

●製絲法

- 一 殺蛹繭及本乾燥繭等ヲ繰絲セントスルニ各煮繭ノ程度ヲ問フ

- 二 繭ヲ煮過シタルトキハ如何ナル方法ニヨリテ繰繰スベキヤ
- 三 夏期ニ至リ繰繰リ残り繭ヲ翌日マデ貯ヘ置クニハ如何ナル方法ニナシ置クヲ可トスルヤ

明治四十三年度養蠶本科追入學試驗問題 (東西)

●動物學

- 一 昆蟲類ト人類ニ於テ骨格ノ位置及び其作用ヲ問フ
- 二 脱皮、分業ノ二現象ヲ昆蟲類ニ例ヲ舉ゲ説明セヨ

●植物學

- 一 隱花植物トハ何ゾヤ
- 二 唇形科、十字花科植物トハ如何

●數學

- 一
$$\frac{(20\frac{1}{2} - 8\frac{3}{4}) \times \frac{1}{17}}{(6 - 2\frac{1}{2}) \times \frac{1}{3} + 4\frac{1}{2}} \times 4985$$
 ナ簡單ニセヨ
- 二 十時ヨリ十一時迄ノ間ニ於テ長短針ノ相合フ時ハ何時何分何秒ナリヤ
- 三 二十人が或仕事ヲ十二時間ニ爲セリト云フ三倍ノ仕事ヲ五分ノ一時間ニ仕上グルニハ幾人ヲ要スルカ
- 四 或ル數ニ10ヲ掛ケ得タル積ヲ13ニテ割り此ノ商ニ元ノ數其レ自身ヲ加ヘ更ニ20ヲ加ヘタル和ハ1000ナリト云フ或ル數トハ如何ナル數ナリヤ

(以上算術)

- 一
$$\frac{b-c}{a^2-(b-c)^2} + \frac{c-a}{b^2-(c-a)^2} + \frac{a-b}{c^2-(a-b)^2}$$
 ナ簡單ニセヨ
- 二
$$\frac{a(b+c)}{b+c-a} + \frac{b(c+a)}{c+a-b} + \frac{c(a+b)}{a+b-c}$$
 ナ簡單ニセヨ
- 三 或ル仕事アリAニハ廿日間Bニハ十二日間ニテ仕上グルコトヲ得ルモノナリA其仕事ニ着手シタリシガ其後事故アリテ之ヲ止メタルニヨリB直チニ代リテ働キ遂ニ仕上ゲタルハA着手後十四日ナリシト云フ然ラバAハ何日間働キシヤ
- 四 二數アリ一數ハ他ノ一數ノ五分ノ三ニシテ其平方ノ差ハ十六ナリト云フ二數如何 (以上代數)
- 一 正方形ABCDノ一邊ABヲ引長シテ一線ヲ引キBヨリABノ二倍ノ長サニ於テE點ヲ設ケ此點ニ迄Dヨリ一線ヲ引キ其線トBCトノ交點ヲFトスルトキハEB \parallel FCナルコトヲ證セヨ
- 二 平行四邊形ABCDニ於テEF \parallel CD、ABノ中央點MハAF \cdot BDノ交點MハCF \cdot BDノ交點ナルトキハDM \parallel MN \parallel NBナルコトヲ證セヨ (以上幾何)

●英語

英文和譯

1. If he erred at all, it was by so painful a degree of self-distrust that even the mil-

(88)

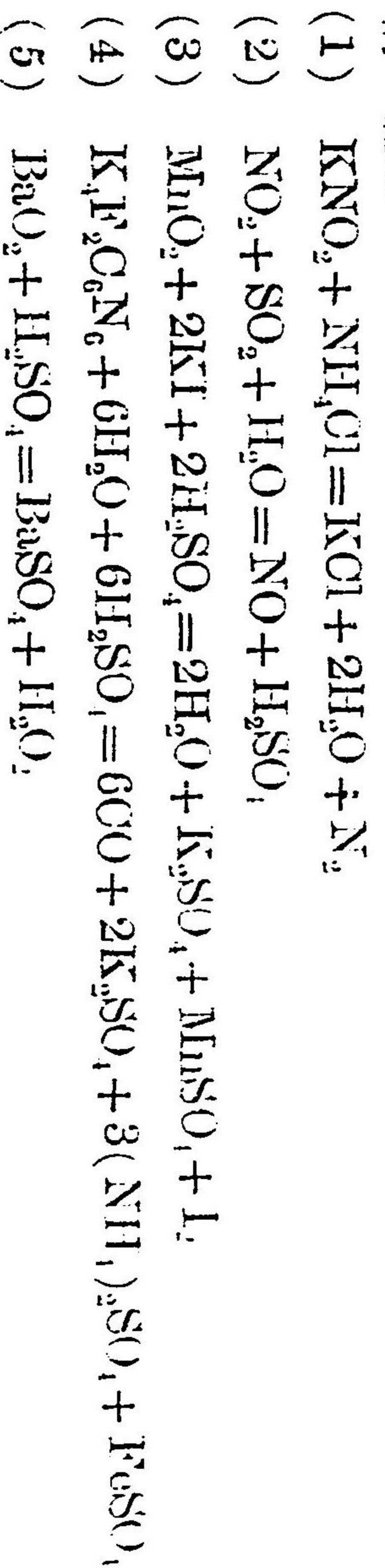
dest censure would lead him to consider an indifferent action as a crime.
2. I never thought for a moment that a trial quarrel would taken such a turn
3. "Plan your work, and work your plan", some body has tritely said, and it appli-
es with particular force to a business career.

文 典

1. Fill the blanks with suitable words:—
 - a He studies hard—that he may succeed
 - b Poor—he is, he is quite honest.
 - c Are you acquainted—him?
- 2 Correct the errors:—
 - a There were many peoples quarrelling.
 - b I has bought an light-days clock.
 - c Every body were satisfied.

和 文 英 譯

- 一 ツレ程ノ大損害ヲナシタカラニハ餘程ノ大雨デアツタニ相違ナイ
- 二 繭ハ生絲ノ原料デアルカラ良好ナル生絲ヲ製産スルニハ繭ノ選擇ニ注意シナケレバナラヌ
- 物 理 學
- 一 熱ノ仕事當量トハ何ゾ
- 二 寫眞師ガ撮影スルトキ動カス「レンズ」ノ蓋ハ何故ニ種板ニ感ゼザルカ
- 化 學
- 一 例ヲ舉ゲテ接觸作用及可逆反應ヲ説明セヨ
- 二 左ノ式ヲ説明セヨ



●作 文

一 洪水ノ記

●地 理 學

- 一 韓國ノ略圖ヲ畫キ各道、山脈、主ナル河川都市、港灣ノ位置及名稱ヲ附記セヨ
- 二 日本ヨリ英國「ロンドン」ニ至ル航路中ノ碇泊港及海峽ノ名稱ヲ舉ゲヨ

●算 術

- 一 $728 + 37 = 3367$ ナ簡約セヨ
- $832 + 259 = 518$

(89)

- 二 振子ノ二回往復ノ時間ヲ以テ時計面ノ一秒ヲ記ス時計アリ、一日ニ一分ヅ、進ムトセバ此

(90)

- 振子ノ一回往復ノ時間幾何
- 三 正方形ノ土地アリ、之ニ桑樹ヲ植ウルニ每樹一間半ノ間隔ヲ以テセバ三三六四本ヲ植ウルコトヲ得、今一間宛ノ間隔ヲ以テセバ幾本ヲ植エ得ベキカ、又土地ノ面積幾何
- 四 氣壓ハ高サ一千米ヲ昇ル毎ニ凡ソ一割二分ヲ減ズ、今平地ノ氣壓七六〇耗ナルトキ之ヨリ四千米高處ニ於ケル氣壓ヲ計算セヨ

●代 數

一 $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = 2, \quad xy + \frac{1}{x} + \frac{1}{y} = 8$ ヲ解ケ

- 二 水ト酒精トノ混合液二種アリ、一ハ水一酒精三ノ割合ニテ、他ハ水三酒精五ノ割合ニテ混合セル今此二種ノ混合液ノ各ヨリ若干宛ヲ取出シテ新ニ水五リットル、酒精九リットルヲ含メル液ヲ作ラントス、幾何宛ヲ取出スベキカ、

●幾 何

- 一 二等邊三角形ABCノ相等シキ一邊AB及ACノ上ニ夫々AD及AEガ相等シキ様ニ點D及Eヲ取り直線BE及CDヲ引キ其交點ヲFトセバ三角形BFC及三角形DFEハ各二等邊ナルコトヲ證セヨ
- 二 一ツノ圓ノ與ヘテレタル弦ABノ中點Eヲ過ギリ任意ノ他ノ弦CDヲ引ケバ弦CDノ分OE・DEノ包ム矩形ハ弦ABノ半分ノ上ノ正方形ニ等シキコトヲ證セヨ

明治四十三年度製絲本科女生追入學試驗問題 (東京)

●製 絲 法

- 一 生絲一捻(十八匁)ヲ製スルニハ繭ノ容量幾何ヲ要スルヤ
- 二 精良ナル生絲ヲ製造セントスルニハ如何ナル注意ヲ要スベキヤ
- 三 繰絲スル順序ノ大要ヲ記セ

●理 科

- 一 噴水ノ理ヲ説明スベシ
- 二 雞卵ノ淡水ニ沈ミ濃厚ナル鹽水ニ浮ムハ何故ナリヤ

●算 術

- 一 九人ノ工女ガ毎日十二時間ヅ、十五日間働キテ百三十五反ノ織物ヲ織ルト云フ此割合ニテ幾人ノ工女ガ毎日十時間ヅ、八日間働キテ百二十反ノ織物ヲ織ルカ
- 二 次ノ計算ヲナス可シ

$251\frac{1}{2} - (15 \times 12)$

●作 文

- 一 運動會ヲ觀ルノ記

明治四十三年度製絲別科生追入學試驗問題 (東京)

●製 絲 法

- 一 煮過ギ繭ト若煮繭トハ製絲方法ニ區別アリヤ

(91)

(92)

- 一 品物ノ買入方ヲ在京ノ友人ニ依頼スル文
- 二 厚皮繭薄皮繭又ハ浮キ繭沈ミ繭等様々ニナレルモノニ就キテハ如何ニ筈ヲ使フベキカ
- 三 繭ヲ煮ルニハ如何ナル點ニ注意スベキヤ

●作文

明治四十三年度女子入學試験問題 (京都)

●算術

- 一 次ノ寄セ算ニテ米ノ處不明ナリ之レヲ確メヨ
17米

米3
271

- 二 24人ニテ1日仕上グル仕事ヲ1人ニテ成サシメンニハ幾日ニテ仕上グルカ
- 三 30分間ニ桶ヲ充スベキ一ツノ管ヲ開キテ其桶ニ水ヲ送リタルニ10分ノ後桶ノ漏ルルコトヲ發見シ直ニ之レヲ止メタレドモ之レガタメニ分遅レテ桶充テリ、モシ漏ルルコトヲ覺ラザリシナランニハ幾分ニテ桶充チタルベキカ

●理科

- 一 物體ノ三態トハ如何ナルモノカ及其性質ヲ比較説明セヨ
- 二 昆蟲類ガ他ノ動物ト異ナル點ヲ舉ゲヨ

●養蠶法

- 一 除沙ハ如何ナル効アリヤ
- 二 蟻量ニ拾匁ノ蠶兒ガ健全ニ發育スレバ四齡中裏ニハ蠶箔何枚トナルカ
但シ蠶箔ノ大サハ長三尺五寸巾二尺五寸トス
- 三 秋蠶黒種トハ如何ナル種カ
- 四 秋蠶九千頭ヲ五齡中養フニ幾何ノ摘入桑量ヲ要スルカ

●作文

- 一 蠶業ノ狀況ヲ問合ハス文

同上女子追入學試験問題 (京都)

●算術

- 一 1113ニ如何ナル同數ヲ乗ズレバ其差1トナルベキカ
- 二 一事ヲナスニ1人ニテノ時間ニ成了ス今此三倍ノ力ヲ有スル人1人ニテ此事ヲ成ストキハ何時間ヲ要スルヤ
- 三 時計アリ八月二日午後十一時ニ1分進ミ居リシニ同月七日午前九時ニ1分遅レタリ此ノ時計ガ正合セシ日時ヲ問フ

●理科

- 一 空氣ノ成分ヲ問フ

(93)

二 根ノ種類ヲ問フ

●養 蠶 法

一 洗種ハ如何ナル効アリヤ

二 簇一平方尺ニ付幾何ノ熟蠶ヲ上簇セシムベキカ

●作 文

一 暑中見舞ノ文

●算 術

一 汽船アリ静水ナレバ毎時拾哩ヲ行キ曳船スルトキハ毎時四哩ヲ行クト云フ今毎時壹哩流ル

、河ニ拾哩往復スルニ上リハ曳船シ下リハ曳船セザルトキハ其要スル時間幾何

二 繭ヲ五百圓ニテ買ヒ之レヲ二回ニ賣リ初回ニハ二割ヲ利シ次回ニハ一割五分ヲ利シ合計九

拾圓ノ利益アリタリト云フ然ラバ初回及次回ニ得タル利益金額ハ各幾何ナリヤ

三 圓ノ面積ハ半徑ノ平方ニ比例ス長針ト短針トノ長サノ比 $\frac{11}{10}$ ナル時計ニ於テ長針短針ノ

四 半時間ニ經過スル面積ノ比ヲ求メヨ

次ノ式ヲ簡單ニセヨ

$$\frac{21 \times 33}{3 \times 11} = \frac{13 \times 11}{11 \times 11}$$

明治四十三年度別科生入學試驗問題 (京都)

●養 蠶 法

一 蠶兒飼育上ノ要點ヲ略説セヨ

二 一尺平方ノ蠶座面ニ上簇セシムルニ適當ナル熟蠶ノ頭數及其重量ヲ問フ

三 桑園管理上ノ年中行事ヲ示セ

四 根刈桑仕立ニ適當ナル畦間及株間ノ距離如何

●理 科

一 保護鳥ノ名稱五ツ、ヲ舉ゲヨ

二 根ノ構造ヲ問フ

三 潛熱トハ如何例ヲ舉ゲテ説明セヨ

四 化合ト混合トノ區別ヲ説ケ

●作 文

一 見學旅行ノ記

上田蠶絲專門學校入學試驗問題

四十四年度本科入學試驗問題

● 化 學

(注意 答案ハ横書ニスベシ)

- 一 酸、鹽基及ビ鹽トハ如何ナルモノナルカ、マタ其レ等ガ水溶液中ニ於ケル状態ヲ説明セ
- 二 次ノ例ヲ舉ゲテ説明スベシ
 - (a) 同素體 (b) 同分異性體
 - (c) 炭水化物 (d) 炭化水素
- 三 次ノ場合ニ起ル反應ヲ化學方程式ヲ以テ示シ且其成生物ノ名稱ヲ附セ
 - (a) 大理石ニ鹽酸ヲ作用セシメントキ
 - (b) 銅ニ硝酸ヲ作用セシメントキ
 - (c) 硫酸化バリウムニ硫酸ヲ作用セシメントキ
 - (d) 炭化カルシウムニ水ヲ作用セシメントキ
- 四 温度攝氏十二度壓力七百六十五「ミリメートル」ノトキ「ナトリウム」十五瓦ニ水ヲ作用セシメテ生ズル水素ノ容積及重量ヲ問フ但シ「ナトリウム」ノ原子量ハ二十三トス

●物 理

- (注意 答案ハ横書ニスベシ)
- 一 彈丸ヲ地平ヨリ垂直ノ方向ニ一秒二百五十米ノ速度ニテ發射シタリトス然ル時ハ此彈丸ハ發射時ヨリ幾秒ノ後一秒五十四米ノ速度ヲ得ルカ、又其時マデニ彈丸ノ經過シタル距離ヲ問フ。但シ空氣ノ抵抗ハナキモノトス
 - 二 吸上唧筒ノ理ヲ説明セヨ、此唧筒ヲ用ヒテ水ヲ水面ヨリ幾尺ノ高サニ上グルコトヲ得ルカ
 - 三 烟突ハ如何ナル理ニ基キ如何ナル目的ニ用ヒラル、カ
 - 四 光ノ屈折ノ定律ヲ述ベヨ
 - 五 電動機ニ就キテ知ル處ヲ記セ

(以上五問題)

●動物及植物

(注意 答案ハ縦書ニスベシ)

- 動物
- 一 昆蟲ノ變態トハ如何
 - 二 次ノ動物ノ屬スル門綱目ヲ問フ
 - ミ、ズ カヘル タ ヒ エ ビ
 - ハツタ ト ビ ウ マ イ ス
 - 三 鶏卵ノ構造ヲ圖解セヨ
 - ア サ リ
 - ダ ニ

植 物

- 一 植物體ヲ構成スル主要ナル元素ヲ舉ゲテ其給源ヲ説明セヨ
- 二 地衣類ノ特徴ヲ問フ
- 三 左ノ植物ノ普通食用ニ供スル部分ハ植物學上如何ナル部分ナリヤ
 - サツマイモ サトイモ ワサビ ラツキヤウ カブラ
 - イネ モ、 クリ メウガ エンドウ

(以上合六問題)

●數 學

(注意 答案ハ横書ニスベシ)

- 一 甲乙二ツノ蠶籠アリ、甲ニ六百二十四匹、乙ニ五百四十四匹ノ蠶ヲ飼育ス、或ル原因ノタメ甲乙兩籠ヨリ同數ノ死蠶ヲ出シタルニヨリ甲ノ蠶ノ數ハ乙ノソレノ三倍ニナレリト云フ、甲乙兩籠ニ生存セル蠶ノ匹數幾何ナルカ (算術)
- 二 1111...ナル循環小數ヲ分數ニ直セ (代數)
- 三 次ノ聯立方程式ヲ解ケ

$$\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{5}{6}, \quad \frac{1}{x^2} + \frac{1}{y^2} = \frac{1}{36} \quad (\text{代數})$$

- 四 與ヘラレタル直線ヲ斜邊トセル直角三角形ノ直角ノ頂點ノ軌跡ヲ求ム (幾何)
- 五 正六角錐ノ高サa時、底面ノ一邊ノ長サb時ナル時其表面積ヲ求メ併テ計算ノ理由ヲ記セ

(幾何)

六 A、B、C ナ三角形ノ内角トシ、a、b、c ナ其對邊トス、然ル時ハ次ノ關係アルコトヲ證明セヨ

$$\frac{a \sin C}{b - a \cos C} = \tan \frac{1}{2} C \quad (\text{三角})$$

七 次ノ方程式ヲ解ケ

$$\sqrt{3} \cos \theta + \sin \theta = 1. \quad (\text{三角})$$

(以上七問題)

●國語及漢文

(注意 答案ハ縦書ニスベシ)

第一、解釋、書取及文法

一 左ノ國文ヲ平易ナル口語ニテ解釋セヨ

世ノ人身ノ貧シク賤シキヲ憂ヘズトミサカエテ願ハズ喜バザルヲヨキ事ニスレドモ何ノヨキ事ナラムコトワリナラヌ振舞ヲシテアナガチニ願ハムコソハアシカラメホドノニツトムベキワザナイソシクツトメテナリノホリ富ミサカエムコソ父母ニモ先祖ニモ孝行ナラメ

二 左ノ漢文ニ句讀點返點及送假名ヲ附シ且之ヲ平易ナル口語ニテ解釋セヨ

宋人得玉獻諸子罕子罕弗受獻玉者曰以示玉人玉人以爲寶他故散獻之子罕曰我以不貪爲寶爾以玉爲寶若以與我皆喪寶也不若人有其寶

三 左ノ傍線ヲ施セル語ニ漢字ヲ宛テヨ

ちゆうじつ けふ にふくし きんけん さんをさめ これしん これぎじゆんこ
うぞくをなしくわをさりじつにつさくわうたいあひいましめじさやう
やまざるべし

四 左ノ文章ニ誤アラハ正シ且其理由ヲ説明セヨ

- イ、流行追フテ華美ニ流レナ
- ロ、身ハ朽ツルトモ名ハ消ヘザルベシ
- ハ、涙落サヌ者コソナカリシ

(以上四問題)

第二、作文

(注意 文體ハ普通ニ限ル、文字ハ凡八百字以内トシ必ズ縦書スベシ)

一 吾ガ學ビシ學校

●英語

(注意 答案ハ横書ニスベシ)

英文和譯

1. The signal to begin or to end a contest was a pistol-shot.

2. The vision of Fuji against the blue resembles a white half-opened fan hanging inverted in the sky.

- 3. Do what is right and never mind the consequences.
- 4. It is true that not a few men kill themselves by over-work; but the proportion of such is small to the number who die from violating the laws of health.
- 5. Having found out the thing we have to do, we must throw into it all the energies of our being seeking its accomplishment at whatever hazard or sacrifice,

英文和譯

- 一 アナタノ御兄弟ハ昨日此繪ヲ私ニ下サイマシタ
- 二 家ハカリデナク庭モ立派ダ
- 三 私ガイツモ持ツテ居ル時計ハ銀ノデ御座イマス
- 四 御宅デ何新聞ヲ御取リニナリマスカ、ハイ、時事新報ニ朝日新聞ヲ取リマス
- 五 日本ノ勞働者ハ高イ賃錢ヲ貰ヒマセン

長野縣立蠶業學校入學試驗問題

明治三十九年度本科生入學試驗問題

算術

- 一 米五俵ヲ麥五俵ニ六圓五十錢ヲ足シテ交換シ損益ナキトキ米三俵ト麥二俵トノ價合セテ二十四圓九拾錢ナリトセバ各一俵ノ價何程ナリヤ
- 二 $\frac{1}{11} \times 0.92$
- 三 人夫三十人ニテ十日ヲ要ス可キ工事ヲ今六日ニテ仕上ゲンニハ猶更ニ幾人ヲ増ス可キカ
- 四 甲乙二人ニテ商業ヲ營ミ利益百三十七圓五十二錢ヲ得タリ然ルニ乙ハ其業務ヲ勤メタルニヨリ特ニ利益ノ三分ノ一ヲ與ヘ其殘リヲ甲ハ五乙ハ三ノ割合ニテ配當セリト云フ各所得金幾何ナルカ
- 五 原價六圓ノ毛布ヲ定價ノ一割引ニテ賣ルモ尙二割ノ利益ヲ得ンニハ其價ハ幾何トナス可キカ

理科

- 一 害蟲ノ名三ツヲ舉ゲ而シテ各ガ主トシテ害スル食物ノ種類ヲ記セ
- 二 家畜ノ名三ツヲ舉ゲ各其主ナル利用方ヲ記セ
- 三 日本紙及西洋紙ヲ製スルニ必要ナル原料ヲ記セ
- 四 電燈(俗ニタマ或ハランプト稱スル部分)ノ構造ヲ記セ

●國語科

一 作文

在校の友人に本校の状況を問合する文

(日本文體)

自己ノ志望ヲ述ブ

(記事文)

二 書取

ふくぎはせんせいはいは、しじゆくをとらさやうみたにひらき。いざりすどのしよをもちひて、につしんのちしきをあたへ、どくりつじそんをしゆぎとしてこくかいうようのさいをやらせいせり、しかのみならずまたおほいに、しよをあらはして、せいやうのじじやうをのべ、ぐわいこくのちりをおしい、りくわのちしきをあたへだんじよのきやうくんをときなどして、あまねくこくみんをみちびきたり

右文ヲ漢字交リ文ニ改メヨ

三 摘字

機微、探檢、波止場、表彰、

右讀方及ビ解釋ヲナスベシ

それがし。わづらひ。とりあへず。おもかげ。ねぎらふ。

右意義ヲ解釋スベシ

四 解釋

馬琴ノ讀書シテ度ニ過ギ、逆上口痛ノ病起リテ安眠ヲ得ラレズナリシカハアル日之ヲ醫ニ謀リシニ醫驚キテ「君生來血氣人ニ勝レタレドモ人ノ機根ニハ限リアリ……強ヨクモツ

ネニキビシク張リテユルメザレバ其弦タヘザルヲ得ズ名利ノタメニ身ヲソコノフハ智者ノセザルトコロ今ヨリ少シクユルメヨトイフ」「レノ箇所ヲ解釋スベシ

●地理科

一 日本帝國ノ略圖ヲ書キ之レニ東京、横濱、京都、大阪、仙臺、名古屋、廣島、熊本、札幌、臺北ノ位置ヲ記入セヨ

二 九十九里ノ濱、熱田ノ宮、正倉院、下ノ關、佐世保、仁川港、旅順口、モスコフ府、ボストン、セイロン島

右所在國名及著明ナル所以ヲ記セ

三 廣島縣宇品港ヲ解纜シテ韓國京城ニ至ル順路ヲ略叙スベシ

●歴史科

一 弘安ノ役ノ大略ヲ記セ

二 徳川吉宗將軍ノ治績ノ大略ヲ舉ゲヨ

三 左ノ事ニ就テ大略ヲ記セ

イ、大政奉還

ロ、參勤交代

ハ、御三家

明治四十年入學試験問題

●算術科

一 米若干石ヲ一圓ニツキ六升ノ相場ニテ買ヒ之レテ一圓ニツキ六升五合ニテ賣リ一石ニ斗三

- 升ヲ利セリ石數如何
- 二 或水桶ニ水ヲ充タスニ大管ヲ用フレバ三時間ヲ要シ大小二管ニテハ二時間ヲ要ス然ラハ小管ノミニニテハ幾時間ヲ要スルカ
- 三 通常人ノ體温ハ攝氏三十七度トス依テ華氏ノ幾度ニ當ルカ
- 四 重サ三十貫目ノ荷物ヲ二百七十里ノ所ニ運搬スルニ賃錢廿八圓ヲ要スルトキ賃錢四拾二圓ニテ四百五十里ノ所ニ運搬シ得可キ荷物ノ目方何程
- 五 石油商アリ物價騰貴ノタメ仕入レ値段一箱三圓ノ品物ヲ一割二分ノ利益ヲ得テ賣ルモ尙現時ノ相場ノ二割引ニ相當スト云フ現時ノ價幾何ナルカ

●理科

注意答案ハ明瞭ニ答ト解説トヲ記ス可シ

- 一 蜜蜂ノ性質ヲ問フ
- 二 果樹ノ名五ツヲ擧ゲヨ之レニ各自ノ土地ニ於ケル開花及結實ノ期節ヲ付記スベシ
- 三 シヤボンノ重ナル原料ヲ問フ
- 四 空氣ニ重サルコトヲ如何ニシテ知ルカ其方法ヲ記スベシ
- 歴史科
- 一 注意此答案ニハ各自姓名ノ外ニ現住地ノ縣郡町村名ヲ付記スベシ
- 二 建武ノ中興トハ如何
- 三 崇神天皇ノ御治績ヲ問フ
- 左ノ解ヲ問フ

●國語科

日英同盟、執權、昌平校、譜代、

- 一 作文
- 他郷ニアリテ父母ノ安否ヲ問フ文 (日用文體)
- 二 蠶業學校ヲ志望スルニ至リシ由來ヲ述ベヨ (記事文)
- 三 摘字
- 扁頗、破壊、擴張、負債、粗鬆、
- 右文字ノ讀方及意義ヲ記セ
- 身をそこなふ、をしなべて、はきく、のどけき、たゆみなく、
- 右詞ノ意義ヲ記セ
- 三 書取
- キンケン、チヨチク、ギリヨ、コーウン、アイサツ、チキ、カヂヤ、タイクツ、タイダ、
- チリヨ、
- 右語ヲ漢字ニ改ムベシ
- 四 解釋
- 世は海なり、身は舟なり、志は楫なり、楫を悪しくとれば行くべき方に行かず、風波に遇へば舟覆る如く、志のもちやう肝要なり、悪しく志をもてば身を覆す、楫のとりやう悪しくして舟を覆すが如し「右文ヲ解釋セヨ」

●地理科

- 一 長野縣ノ地圖ヲ書キ之レニ長野市、松本市、上田町、千曲間川、犀川、天龍川、木曾川、淺間山、御嶽、諏訪湖ノ位置ヲ記入セヨ
- 二 左記ノ地ニツキ知レル所ヲ問フ
寢覺床、笠置山、嚴島、札幌、基隆、平壤府、上海港、カルカッタ、リヨン、サンフランシスコ港、
- 三 日本横濱港ヲ出帆シテ英領カナダ州ノ首府オタワニ至ル順路ヲ指示セヨ

明治四十一年度本科入學試験問題

●算術

- 一 砲車アリ七千三百メートルノ地ニ行クニ二時間半ヲ費セリ依テ平均一時間ニ我里程ニテ幾何ヲ行クカ
 - 二 或仕事ヲ甲乙二人ニテ三日間ニ其半分ヲ仕上ゲ其後甲ノミニテ五日間ニ仕上ゲタリト云フ今若シ此仕事ヲ兩人別々ニササハ各幾日ニテ仕上グベキカ
 - 三 百本ノ價一圓二十錢ノ桑苗ヲ四坪ニ付十五本ノ割合ヲ以テ一反九畝十四歩ノ畑ニ植付ケントスル桑苗ノ價幾何ナルカ
 - 四 或人生絲五捆ヲ周旋人ニ托シテ賣リタルニ賣價ノ二歩ニ當ル手数料ト三圓五十錢ノ雜費ヲ支拂タルタメニ手ニ入りタル金ハ四千三百五十七圓五十錢ナリト云フ捆ノ賣價幾何ナルカ
- 理科
- 一 稻及桑ニ對スル害虫ノ名ヲ列舉ス可シ
 - 二 水ヲ分解シテ其成分ヲ求ムル方法ヲ問フ
 - 三 食鹽ノ製法ヲ記セ

●國語、作文

- 一 蠶業學校入學ノ目的を問はれしに答ふる文
- 二 摘字
機根、憔悴、刊行、永劫、遊興、武者振、愚痴、素焼、納豆、乃至、
右ノ讀方及意義ヲ記セ
- 三 書取
コビキ、カザヤ、テウナ、カミクズヒロヒ、コメツキ、
右漢字ニ改ムベシ
- 四 釋解
勸學ノ歌

勸學ノ歌
たとへあまたにわたらずとひとふしをだに修めなば身のためとなること多し勉めや勵めた
細みなく進みノてよどみなく難きこと、て厭ふなよ學びの海に舟路あり教の山にしをり
ありなにかをそれんをそるまじ
右歌の解釋をなすべし

●地理科

- 一 河川ト物産トノ關係ヲ略述セヨ

(110)

二 海岸線ノ長キ地方ノ夙ニ文明ニ赴クノ理由ヲ略述セヨ

明治四十二年度本科生入學試驗問題

●算術

- 一 農家アリ今年ノ收穫高ニ比シ一割三分ノ增收ニテ一石三斗五升ヲ多ク收メタリト云フ全年ノ收穫高ハ何程ナルカ
- 二 人夫六十人毎日六時間ヅ、働キテ九ヶ月間ヲ要スル仕事ヲ六ヶ月ナシタルトキ十二人ヲ増シテ毎日十二時間ヅ、働クコトニシタリト殘業ハ幾月ニテ成ルカ
- 三 桑葉四拾五圓ヲ費シテ上繭二百五十匁中繭百五十匁玉繭二百五十匁屑繭百匁ヲ得タリト云フ桑葉百貫ヲ費セバ上繭中繭玉繭屑繭各何程ナルカ
- 四 一年ニ四回發生スル四化蠶アリ一回毎ニ二百五十倍ノ數トナル今第一回ノトキ八匹アリ第四回目ノ發生ニハ幾匹トナルカ
- 五 $(2\frac{1}{2} + 3\frac{1}{2} - 4\frac{1}{2}) \div (5\frac{1}{2} + 7\frac{1}{2})$

●國語科

- 一 作文 (日用文)
蠶業學校ニ入學ヲ進ムル手紙
春野邊ニ遊ブノ記 (記事文)
- 二 摘字

御稜威、靡然、賞讚、模範、敷島ノ大和心、醸造、圓錐形、漂流、收穫、浮塵子、

右讀方及意義ヲ記セ

大友宗麟、遵守、豐饒、只管、納豆、

右讀方ヲ記セ

三 書取

ツウベン、カイテイ、カンボツ、ジウナン、トクチヨ、タイシヤク、ガスト、イワウ

右漢字ニ改ムベシ

四 解釋

大岡忠相ハ裁判ガ上手デ公平デ一人モ無實ノ罪ヲ受ケタルモノガアリマセンデシタノデ人ガ皆「大岡様ハ神様ノ様ナ方ダドンナル者デモオ目ヲクラマスコトハデキン」ト謂テナツタサウデアリマス

右ノ解釋ヲナスベシ

●理科

- 一 昆蟲ノ變態ヲ問フ
- 二 日光ガ三稜玻璃ヲ通過スルルキハ如何ナル變化アリヤ及其變化ノ理由ヲ説明セヨ
- 三 石炭ノ製造法及其用途ヲ問フ
- 四 風媒花植物ト蟲媒花植物ト異ル點ヲ説明セヨ

●歴史科

(111)

- 一 南朝時代勤王ノ士五名ヲ舉ゲヨ
- 二 鎌倉時代ノ大略ヲ記セ
- 三 左ノ意義ノ大略ヲ記セ
古事記、元老院、三奉行、

●地理科

- 一 日本ノ條約國六ヶヲ舉ゲヨ
- 二 臺灣ノ物産中主ナルモノ三ヶヲ記セ
- 三 世界中生絲ヲ最モ多ク産スル國三ヶヲ記セ
- 四 左ノ所在地及其ノ著名ナル所以ヲ記セ
下ノ關、畝傍山、二見浦、博多

明治四十三年度本科生入學試驗問題

●算術

- 一 次ノ式ヲ計算セヨ
 $5x^3 + 11x^2 + 1$
- 二 桑園一反歩ノ桑葉量二百廿一貫ナルトキハ一反八畝十五歩ノ桑園ヨリハ幾何ノ桑葉ヲ得可キカ
- 三 或汽船ガ六時間ノ航海ヲナシ、二順次一時間ノ速ハ一六、一八、一五、一六、一九、一七、海里ナルトキハ一時間ノ平均ノ速ハ幾海里ナルカ之レヲ十分ノ一迄精算セヨ
- 四 三人四週間ノ宿料十九圓三十錢ナルトキハ此割合ニテ七人ニ對スル十三週五日間ノ宿料何程ナルカ
- 五 甲カ某地ヲ發シテヨリ二時間ノ後乙同地ヲ發シテ甲ヲ追フトキハ幾時ニシテ乙ハ甲ニ追ヒ付クカ
但甲乙毎時ノ速ハソレ々二十六町、三十四町ナリ
注意第一問ハ運算ヲ其他ノ四問ハ算式ト計算ノ順序ヲ付記スルヲ要ス

●作文

- 一 蠶業學校入學ノ目的ヲ知ラスル文 (日用文)
- 二 實業學校參觀ノ記 (記事文)

摘字

嗜好、寂寞、圓錐形、慘狀、壯麗、消毒劑、變態、精製、餓死、彩色、
右ノ讀方意義ヲ記セ
鑄造術、酋長、明石瀉、鴨越、太沽、
右讀方ヲ記セ
書取

ユキヨリ、シユロシヨリ、サンタン、センメー、ユイゴン、シヤシヨリ、ズイムシ、ソ
ラマメ、ホーチク、レンラク、

(解釋)

心奪ハレテ逃ヨトノ聲モ耳ニ入ラザリキ、カクテ庇ダニナカリシハ母ノ慈愛ニホカナラズ
ソレガシ弱年ノ頃ヨリ幾度トナク戰場ニ出デ候ヘシガカバカリ見ゴトナル士ハツヒニ見シ
事候ハズイカガ成リ果テ候ニカ

●理科

- 一 石鹼ノ種類製法用途ヲ問フ
- 二 秋ノ七草ヲ記セ
- 三 農家ニ利用セラル、動物ノ名六ツヲ記セ
- 四 寫真器ノ構造ヲ問フ

●歴史科

- 一 神功皇后ノ御治蹟ヲ記セ
- 二 織田信長ノ尊王ニ就テ知レルコトヲ記セ
- 三 徳川氏ノ大名配置ハ如何ナル策ヲ取リシヤ

●地理科

- 一 我國ノ潮流ニ就テ記セ
- 二 金、銅、石炭、石油、砂糖、樟腦、蠶種、藍、牛、馬ノ我國ニ於ケル主要ナル産地ヲ記セ
- 三 左ノ地ニ就テ知レルコトヲ記セ
國府臺、足利、赤穂、馬公、擇捉島

福島縣立蠶業學校入學試験問題

明治三十九年度本科生入學試験問題

●讀書科

- 一 鮮明。寓居。紹介。當惑。一斑。間接。徳器。國家。筆蹟。
右一々解釋
- 二 忿怒一たびその節を失へば胸中道理なく親戚もこれを顧る地なく故舊もこれを恕する違な
く恩誼を破り信義を失ひて生涯の禍をかもすにいたる
右講義

●數學科

- 一 或人生繭一舛ニ付四十八錢六厘ヅ、ニテ二石四斗ヲ買入レ製絲費用金十八圓六十一錢五厘
ヲ費シテ之ヲ生絲ニ製シ金百五十八圓三十五錢五厘ニ賣拂ヘリト云フ然ラバ此人生繭一石
ニ付何程ノ利益ヲ得タリヤ
- 二 或養蠶家桑葉若干ヲ買入レ其八分ノ一ヲ使用シ三分ノ一ヲ他ニ讓リシモ尙ホ二十六貫目ヲ
殘存セリト云フ最初買入シ桑葉ノ目方何程ナルカ
- 三 甲乙兩農ノ桑園相隣接スルアリ甲ハ一町二反三畝歩乙ハ八反六畝半ヲ有ス今兩農共同シテ
霜害豫防ノ爲メ之ヲ燠烟セシニ費用三圓七十八錢ヲ要セリト云フ因テ反別ニ應シ之ヲ分擔

セバ其出金額各如何 (以上答式并ニ運算ヲ詳記スベシ)

●理科

- 一 攝氏及華氏寒暖計ノ構造ヲ問フ
 - 二 例ヲ舉ゲテ化合物ト混合物トノ區別ヲ説明セヨ
 - 三 花ノ各部ノ名稱ヲ問フ
 - 四 海ニ棲ム哺乳動物ノ例三ケヲ舉ゲ且ツ陸ニ棲ムモノト差違アル點ヲ示セ
 - 五 何故ニ空氣ト食物トハ人類ノ生活ニ必要ナルヤ
- 歴史科
- 一 北清事件ノ原因ヲ語レ
 - 二 左ノ人々ノ事蹟ヲ問フ
 稚郎子、 坂上田村麿、 以仁王、
 徳川吉宗、 吉田松蔭、 能久親王、
- 地理科
- 一 奥羽及北海道ニ於ケル著名ナル都會ヲ問フ
 - 二 我國ニ於ケル輸出貿易品ノ主ナルモノヲ舉ゲヨ

明治三十九年別科入學試験問題

●養蠶科

- 一 蠶兒ノ不整トナルハ如何ナル點ニ基スルカ詳ニ之ヲ記セヨ
- 二 春蠶種ノ買入レ方ニツキ注意スベキ事柄ヲ問フ
- 三 左ノ章句ニ讀ミテ附ケ略解ヲナスベシ

聖徳太子と云ふ御方は養蠶上につき次の如く宣はれました
 蠶を養ふは父母の赤子を育つるが如く蠶を思ふ事我子を思ふ如くせよ寒暖陽氣の加減平生我身に倣ひて温ならず冷ならず平和なる様陽氣を廻らし晝夜間斷なく精力を盡すべし云々

飼育に従事するものは皆此心にて能く注意し御互が協同和樂して懇切に取扱はねばなりませぬ

- 四 或人一反歩貳百八十貫ノ收穫アル桑園三反八畝歩ヲ有セシニ霜害ノタメ一割五分ノ減少ヲ來セリト云フ然ルニ今蟻量一匁ニツキ凡ソ二斗五升ノ繭ヲ得ルニ桑葉四十七貫五百目ヲ要スル豫定ナルトキハ前桑園ニテ幾何ノ蟻量ヲ掃立テ又何程ノ收繭アルモノナリヤ
- 五 左ノ實物ニツキ名稱及ビ用途ト鑑定トヲナサシム
 (イ)乾濕計 (ロ)採種用漏斗 (ハ)蠶網 (ニ)酒精漬蠶兒二種。

明治四十年度本科生入學試験問題

●數學科

- 一 左ノ數ヲ計算セヨ

セハ其出金額各如何 (以上答式并ニ運算ヲ詳記スベシ)

●理科

- 一 攝氏及華氏寒暖計ノ構造ヲ問フ
 - 二 例ヲ舉ゲテ化合物ト混合物トノ區別ヲ説明セヨ
 - 三 花ノ各部ノ名稱ヲ問フ
 - 四 海ニ棲ム哺乳動物ノ例三ケヲ舉ゲ且ツ陸ニ棲ムモノト差違アル點ヲ示セ
 - 五 何故ニ空氣ト食物トハ人類ノ生活ニ必要ナルヤ
- 歴史科
- 一 北清事件ノ原因ヲ語レ
 - 二 左ノ人々ノ事蹟ヲ問フ
 稚郎子、 坂上田村麿、 以仁王、
 徳川吉宗、 吉田松蔭、 能久親王、
- 地理科
- 一 奥羽及北海道ニ於ケル著名ナル都會ヲ問フ
 - 二 我國ニ於ケル輸出貿易品ノ主ナルモノヲ舉ゲヨ

明治二十九年別科入學試験問題

●養蠶科

- 一 蠶兒ノ不整トナルハ如何ナル點ニ基スルカ詳ニ之ヲ記セヨ
- 二 春蠶種ノ買入レ方ニツキ注意スベキ事柄ヲ問フ
- 三 左ノ章句ニ讀ミテ附ケ略解ヲナスベシ
 聖徳太子と云ふ御方は養蠶上につき次の如く宣はれました
 蠶を養ふは父母の赤子を育つるが如く蠶を思ふ事我子を思ふ如くせよ寒暖陽氣の加減平生我身に倣ひて温ならず冷ならず平和なる様陽氣を廻らし晝夜間斷なく精力を盡すべし云々
 飼育に從事するものは皆此心にて能く注意し御互が協同和樂して懇切に取扱はねばなりませぬ
- 四 或人一反歩貳百八十貫ノ收穫アル桑園三反八畝歩ヲ有セシニ霜害ノタメ一割五分ノ減少ヲ來セリト云フ然ルニ今蟻量一匁ニツキ凡ソ二斗五升ノ繭ヲ得ルニ桑葉四十七貫五百目ヲ要スル豫定ナルトキハ前桑園ニテ幾何ノ蟻量ヲ掃立テ又何程ノ收繭アルモノナリヤ
- 五 左ノ實物ニツキ名稱及ビ用途ト鑑定トヲナサシム
 (イ)乾濕計 (ロ)採種用漏斗 (ハ)蠶網 (ニ)酒精漬蠶兒二種

明治四十年度本科生入學試験問題

●數學科

- 一 左ノ數ヲ計算セヨ

(77-104+8,24)+(9,08-11x24)

- 二 或人資本金二千圓ヲ以テ商業ヲ營ミ一ケ年ニテ資本金ノ三割七分ニ當ル利益金ヲ得タリ此中ヨリ税金及ビ諸費合計三百十圓ヲ引去レハ純益金ノ歩合年何割ニ當ルカ
- 三 人夫六十人毎日八時間ヅ、働キテ九ヶ月ヲ要スル工事ヲ六ヶ月間ナシタルトキ十二人ヲ増シテ毎日十時間ヅ、働クコトニシタリト殘業ハ幾月ニテ成ルカ

●讀書科

- 一 下文ノ解釋

但シ圈點ヲ附シタル漢字ヲ拔書シ片假字ヲ以テソノ音ヲ示セ

「大功は細瑾を顧みず」といふ語をよき口實にして、不倫の行をなし、おのれを欺き、人を欺きて、得たりとする如きは、余のいたく擯斥するところなり

- 二 イ、次ナル四語ノ意義ヲ區別セヨ

勇斷、油斷、不斷、無斷、

ロ、次ナル二語ノ音讀ト解釋トヲ問フ

目測、繭、

ハ、次ナル二文ノ解釋

えせ豪傑の多き世かな。

稼ぐに追ひつく貧乏なし。

- 三 次ナル假字書ニ漢字ヲ當テヨ但シ一縦線ヲ以テ一字ナルコトヲ示ス

イ、カ シ ヌ ウ サン カウ シフ シヨ ロ、ケン ビ キヤウ
 ハ、クハノ シ タテ カタ ニ、カ ナイ アン セン
 ホ、クワ ハン スウ

(略字俗字ヲ許サズ)

●理科

- 一 植物ハ如何ナル部分ヨリ其養料ヲ吸收スルカ
- 二 益蟲及害蟲ノ名稱各三個以上ヲ擧ゲヨ
- 三 瓦葺ト茅葺トノ家屋アリ夏季及冬季ニ於ケル寒暖ノ差異如何
- 四 空氣ト物ノ燃焼トノ間ニ如何ナル關係アリヤ

●歴史科

- 一 雄略天皇ノ事蹟ヲ語レ
- 二 徳川將軍各代ノ名
- 三 左ノ人物ニツキ知ル所ヲ問フ
白河樂翁公、伊達政宗、
- 四 左ノ事柄ヲ説ケ
廢藩置縣、帝國議會、

●地理科

- 一 東北ニ於ケル有名ナル山川ヲ問フ

(120)

- 二 本邦著明輸出品ヲ舉ゲヨ
- 三 左ノ地名ノ所在ヲ述ベヨ
吳、釜山、浦鹽斯德、遼陽、桑港、
- 四 九州著明ノ都會ヲ舉ゲヨ

明治四十年年度別科生入學試驗問題

●養蠶科

- 一 冬季ヨリ春季掃立マデノ蠶種取扱ヲ記セ
- 二 春蠶蟻量一匁ヲ飼育スルニ當リ各齡幾何ノ給桑量ヲ要スベキヤ
- 三 春蠶ト秋蠶ト飼育上給桑及眠起ニツキ取扱ヲ異ニスベキ點ヲ舉ゲヨ
- 四 玆ニ蠶種製造家アリ蛆害ナキ上繭三斗九升五合ヲ以テ框製蠶種ヲ製造セシニ百八十枚ヲ得尙雄蛾三十二ナ餘セリト云フ然ラバ此繭一升ノ粒數何程ナルヤ
- 五 イ、左ニツキ讀ミ方及意義ヲ記セ
農閑ノ利用、寒暖ノ節制國家百年ノ計、
ロ、左ノ假名文ヲ漢字交リ文ニ書キカヘヨ
クワリヨクハオンドヲオギナヒクノキノコクワシナハカリシツナイチカンツトセシメ
シツキヲハラフニオイテオホヒナルコリヨクアルモノナレドモソノヨリホーチアヤマ
ルトキハカヘツテシツパイチマネグモトキトナルモノナリ

明治四十一年度本科生入學試驗問題

●數學科

- 一 $77-3,125 + \frac{11}{6} + \frac{1}{21}$
 $6-39 + \frac{61}{21}$ 上式ノ値ヲ求ム
- 二 或人金十三圓八十二錢四厘ニテ上等ノ桑苗一千四百四十本ヲ買入レシニ今此八分ノ三ヲ中等ノ桑苗ト交換スルトキハ何本ヲ受取リテ相方損得ナキカ但シ中等一本ノ價ハ上等一本ノ價ノ十二分ノ七ニ當レリ
- 三 或人一ヶ年ト二ヶ月ノ間元金二百七十圓ヲ貸シ利金五十四圓ヲ得タリ今回利割ニテ半年間ニ利金十二圓ヲ得ルニハ元金何程ヲ貸シテ可ナルヤ
右(一)ハ運算(二)ハ答式各詳記スベシ

●讀書科

- 一 次の文章の意義を詳解せよ
最上の判断はみづから額に汗して自己衣食の計をなござるべからざる如く生れたるもの胸中のみより生ず
- 二 次の語の讀方及意義
イ協賛、ロ權衡、ハ椅子、ニ涉獵、ホ撒布、
- 三 次の文につき口語のものは文語に文語のものは口語に書き改めよ

(121)

- イ、ある距離の間にては自由に談話することを得るものあり電話機是れなり
- ロ、あの人たちはこの輕氣球を見つけたのだな
- 四 左の假名文を漢字交り文に書きかへよ
 ガイカイノキヨイグーニオホシケイシツチヘンカシテオノレノセイカツスルジョーキヨ
 ーニテキスルニイタルコトナシンカトイフ。シンカノリチフカクキハメカツクワシクセ
 ツメイシタルヒトハハクブツガクシヤダーウインナリ

明治四十一年度別科生入學試験問題

●養蠶科

- 一 蠶量四匁ヲ飼育スルニ要スル蠶具ノ數量ヲ問フ
- 二 春蠶第一齡中ノ取扱ヲ記セ
- 三 春蠶第三齡盛食期ニ於テ六坪ノ蠶座一枚ニ何頭位ヲ容ルルヲ適當トスルヤ且ツ其際ニ於ケル一箔ノ給桑量ヲ問フ
- 四 イ、左ノ文字ノ讀ミ方及意義ヲ問フ
 機織、繰絲、成繭、變遷、模範、
 ロ、左ノ假名文ニツキ傍線ヲ附セル部分ノミヲ漢字ニ書キ直セ
 ヤウサンノワザハタイコヨリヒラケタレドモキンライナイチニテモオリモノルイノシユ
 ヨウシゲクカイグワイトノボウエキサカンナルニオヨンデキイトハユシユツヒンチウノ

- 五 シユキナシムルコト、ナリタレバヤウサンノワザハマスマスサカンナルニイタレリ
 一枚ノ蠶種ヲ掃立ツルトキハ其蠶兒ハ第一齡ニ於テ一貫三百九十六匁第二齡ニ於テ三貫五
 百五十六匁第三齡ニ於テ十一貫五百三十六匁第四齡ニ於テ三十四貫八百三十二匁第五齡ニ
 於テ百五十六貫百六十匁ノ桑葉ヲ食ス而シテ蠶種一枚ニハ卵數四萬二千粒アリ然ルニ其内
 孵化セザルモノ及孵化ノ余リ早キト晚キニ失シタルモノトチ拋棄セリ而シテ其拋棄セシ分
 ハ總卵數ノ五分ニ當ルト云フ一匹ノ蠶兒ガ發生ヨリ結繭マデニ食スル處ノ桑葉ノ目方ハ如
 何

明治四十一年度本科生入學試験問題

●算術科

- 一 次ノ式ニ誤リアラバ正セ
 1. $125\text{錢} \times 65\text{人} = 750\text{錢}$
 2. $511 \times 24\text{時} = 120\text{時}$
 3. $15\text{間} \times 12\text{間} = 180\text{坪}$
 4. $25 \times 9 = 150 - 30 = 120$
- 二 内法長サ幅サ深サ各々一めーとるノ水漕ニ何升ノ水ヲ入レラル、カ (升未滿四捨五人セヨ)
- 三 甲乙二人相等シキ資本金ニテ商業ヲ營ミシガ若干年ノ後甲ハ二千五百圓ヲ利シ乙ハ三百圓

四 手損セシニヨリ其所有金甲ハ乙ノ三倍トナレリ開業當時ノ資本金ヲ求ム
或人所持金ノ1/3トシテトキトキトキ費シタル後ニ尙ホ百十九圓残り居レリト云フ此人最初幾何金
ヲ所持セシカ

甲乙兩人が共ニ働キテ八日間ニ仕上ケ得ル仕事アリ二日間ハ甲乙共ニ働キ其後ハ甲ノミ九
日間働キテ仕上ケタリト云フ甲乙各一人ニテ仕上グルニハ幾日ヲ要スルカ

●讀書科

一 左ノ假名ヲ漢字交リ文ニ書キカヘヨ

ニ 日本 ホンシン 漢 ミン 法 ハ 律 ホーリツ 電 ニ 協 サダメタル 合 バアヒ 除 チ 外 ノ 其 ズク 許 ホカソ 諸 ノ 語 キヨダク 住 ナクシテ 住 ギユ
一 所 シヨニ 入 シンニ 及 ユーセラレオヨビ 搜 ソーサク 索 セラル、コトナシ

二 左ノ語ニ讀方及意義ヲ附セヨ

イ、偏頗 ロ、成年 ハ、斷續 ニ、挨拶 ホ、馳走

三 左ノ文章ノ意義ヲ解釋セヨ

いかに性急なればとて播きたる種の直ちに實らんことを望む者はなかるべしいかに僥倖
心強ければとて播かぬ種のおのづからに生せんことを願ふ者もなかるべし

四 左の文章につき文語のものは話語に話語のものは文語に書き直せ

イ、ごらんなさい。勉三は病氣のよいですよたいそう顔の色がわるいではありませんか
ロ、女王は貴重な物品を贈りてその勞を謝したりとぞ

明治四十二年度本科生無資格者入學口頭試験

●地理、歴史

- 一 建武中興ノ功臣五名ヲ舉ゲヨ
- 二 徳川吉宗ノ事蹟ヲ問フ
- 三 横濱ヲ發シ英京ロンドンニ至ル間ノ主要ナル寄港地ヲ問フ
- 四 我國ノ重要ナル輸出品ヲ列舉セヨ

明治四十二年度別科生入學試験問題

●養蠶科

- 一 春蠶掃立ノ早晚ニ就テ利害得失ヲ論セヨ
- 二 善良ナル品種ニシテ而カモ可良ニ發育セシ蠶兒ナルニモ拘ラズ結繭不良ナリト云フ其原因
ヲ判セヨ
- 三 實驗鑑定
酒精漬蠶兒、支那繭、青白、又昔、角又、
- 四 イ、左の語の意味を説け
虚言は負債の背に乗る。
ロ、書取(左の文句を音讀して書取らしむ)

蠶卵は雞の卵の如く呼吸作用を行ひ或期間に於て一定の熱度を得る時は孵化するものなり其孵化する迄の間に於て形狀着色重量及び内容に種々の變化をなし其趣を異にす
 五 或ル養蠶家上繭拾六石ヲ得之ヲ繰絲スルニ一升ニ付十二匁ノ生絲ヲ得タリ而シテ之レヲ時下相場百斤ニ付八百五十圓ニ賣捌キタリト云フ然ルニ此人生産費トシテ八百圓ヲ費シタリ然ラハ純利益ハ生産費ノ何割ニ當ルカ

明治四十三年度本科生入學試驗問題

●算術科

- 一 一數アリ $\frac{1}{2}$ ヲ減シ $\frac{3}{4}$ ヲ掛クレバ $\frac{1}{10}$ トナルト云フソノ數ヲ求ム
- 二 水二升五合ノ重サ一貫二百匁トセバ水銀三合ノ重サハ如何但シ水銀ノ比重ハ13.6トス
- 三 職工の人 $\frac{1}{2}$ 日間ノ賃錢 $\frac{1}{4}$ 圓トセバ $\frac{1}{3}$ 人ニテ賃金 $\frac{1}{2}$ 圓ヲ得ルニハ幾日間働クベキカ
- 四 若干尺ノ竿ヲ池中ニ立テタルニ全長ノ $\frac{1}{3}$ ハ泥中ニ入り $\frac{1}{4}$ ハ水中ニ入り殘リノ部分ハ $\frac{1}{2}$ 尺ニ寸ナリト云フ竿ノ全長如何
- 五 一錢五厘ト三錢ノ郵便切手合セテ二十枚アリ而シテ其價ハ四十二錢ナリト云フ各何枚ツ、ナルカ

●國語科

一 解釋

立春は春の節にて東風氷を解なりと云へり。されど東國北國などにては餘寒は却つて寒

中より寒きこと少なからず。立春の前夜は謂はゆる節分なり福は内鬼は外と唱へて豆をまく處今もあるべし。

二 作文

受験地より舊師に送る手紙

●理科

- 一 風媒花ト花媒花ノ例各五ツヅ、チアゲヨ
- 二 哺乳動物ノ特徴ヲノベヨ
- 三 熱ノ傳導及ビ對流作用ヲ説明セヨ
- 四 例ヲアゲテ化合物ト混合物トノ差異ヲ記セ

明治四十三年度別科生入學試驗問題

- 一 生種ト黒種トノ區別ヲ問フ
- 二 各自春蠶ニ於テ飼育セシ左ノ事蹟ヲ記セ
 - イ、品種ノ名稱及ビ掃立枚數(若シクハ掃立蟻量)
 - ロ、各齡ノ蠶座枚數
 - ハ、五齡ニ於テ人夫一人ニ就キ蠶座幾枚ヲ取扱ヘシメシヤ
- 三 左ノ文字ノ讀方及ビ意義ヲ問フ
 - 開綻、頻繁、飢餓、洗滌、堆積、

緊張、嫩軟、繭層、絨沙、類節、

四 一ばーせんと、はるまりん溶液百平方尺ニ付二合五勺ヲ要スト云フ然ラハ間口二間奥行二間高サ九尺ノ蠶座ヲ消毒セントスルニハ何程ノはるまりん溶液ヲ要スルカ
五 實驗

イ、二齡ノ蠶兒
ロ、四齡ノ蠶兒

附 錄

蠶業講習所並蠶業學校規程

東京蠶業講習所講習規程 (明治四十一年七月改正)

第一章 總 則

第一條 本所ハ養蠶及製絲ニ關スル學理及技術ヲ講習ス

第二條 本所ニ養蠶科及製絲科ヲ置キ養蠶科ニ本科、製絲科ニ本科及別科ヲ置ク

第三條 講習生ノ定員左ノ如シ

一 養蠶科

本科(男生) 六十名

二 製絲科

本科(男生) 六十名

本科(女生) 二十名

別科(女生) 四十名

第四條 講習期限左ノ如シ

一 養蠶科

本科 三年

二 製絲科

(1)

(8)

一 養蠶科
本科

學期	第一學年	第二學年	第三學年
第一學期	自十月一日起至十一月三十日止	自十月一日起至十一月三十日止	自十月一日起至十一月三十日止
第二學期	自十二月一日起至一月三十一日止	自十二月一日起至一月三十一日止	自十二月一日起至一月三十一日止
第三學期	自二月一日起至三月三十一日止	自二月一日起至三月三十一日止	自二月一日起至三月三十一日止

二 製絲科

本科(男生)

學期	第一學年	第二學年	第三學年
第一學期	自十月一日起至十一月三十日止	自十月一日起至十一月三十日止	自十月一日起至十一月三十日止
第二學期	自十二月一日起至一月三十一日止	自十二月一日起至一月三十一日止	自十二月一日起至一月三十一日止
第三學期	自二月一日起至三月三十一日止	自二月一日起至三月三十一日止	自二月一日起至三月三十一日止

本科(女生)

學期	第一學年	第二學年
第一學期	自十月一日起至十一月三十日止	自十月一日起至十一月三十日止
第二學期	自十二月一日起至一月三十一日止	自十二月一日起至一月三十一日止
第三學期	自二月一日起至三月三十一日止	自二月一日起至三月三十一日止

別科

學期	第一學年
第一學期	自十月一日起至十一月三十日止
第二學期	自十二月一日起至一月三十一日止
第三學期	自二月一日起至三月三十一日止

第十條 休業日左ノ如シ但シ養蠶科ニ在リテハ養蠶ノ實習中、製絲科ニ在リテハ購繭又ハ殺蛹貯繭ノ實習中ハ休業セズ

冬期休業 自十二月二十五日起至一月七日止
 夏期休業 自三月三十一日起至九月三十日止
 日曜日
 大祭祝日
 蠶業講習所官制公布紀念日 三月十八日

第四章 募集及入學

第十一條 入學志願者ハ品行方正ニシテ在學中家事ノ係累ナク第十二條ノ規定ニ該當スル者ニシテ左ノ資格ヲ有スル者タル

養蠶科

本科

一 滿十七年以上ノ者

(9)

二 製絲科

一 中學卒業生若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

本科(男生)

一 滿十七年以上ノ者

一 中學卒業生若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

本科(女生)

一 滿十八年以上ノ者

一 二箇年以上製絲ニ從事シタル者

一 高等小學卒業生若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

別科

一 滿二十年以上ノ者

一 三箇年以上製絲ニ從事シ優等工女タリシ者

一 尋常小學卒業生若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

第十二條

入學志願者ハ身體強壯ニシテ左記ノ各項ニ該當セサル者タルヘシ

一 結核、咯血、癲狂、癲癩、癲病、梅毒、傳染性皮膚病、其ノ他傳染性疾患アル者又ハ心臟、肺臟、肋膜ノ著シキ疾患、肋膜炎後ノ障害甚シキ者、其他動作ニ堪ヘサル疾患アル者

二 發育不全ニシテ薄弱ナル者、高度ノ脂肪肥滿ナル者四肢ノ著シキ彎曲若ハ不同又ハ甚シキ筋肉薄弱ナル者、手指ノ缺損若ハ畸形ナル者、下肢靜脈ノ怒張著シキ者、又ハ動靜脈瘤等總テ動作ニ堪ヘサル者

三 精神ノ異狀、言語障害アル者又ハ甚シキ啞吃ナル者

四 片眼若ハ兩眼ノ視力妨ケアル者又ハ色盲ナル者但シ養蠶科ニ在リテハ眼鏡ヲ用井テ其ノ視力ヲ調節シ得ル者、製絲科ニ在リテハ「スネルレン」氏ノ視力表ノ三十號(十號)ヲ二十呎(六メートル)ノ距離ニ於テ明視シ得ル者ハ此ノ

限ニ在ラス

五 片耳若ハ兩耳ノ聾ナル者又ハ底聲ヲ聴取シ難キ者

第十三條 入學志願者ハ七月十日迄ニ左ノ書式ニ依ル入學願書ニ履歷書及身體檢査證ヲ添ヘ地方廳ヲ經由シテ本所ニ差出スヘシ但シ男生ハ寫真一葉ヲ添附スヘシ

入學願書 (用紙美濃白紙)

某儀貴所(養蠶科本科製絲科本科又ハ別科)入學志願ニ付(東京、京都)蠶業講習所(又ハ何道廳府縣郡市役所)ニ於テ試驗ノ上御許可相成度別紙履歷書身體檢査證(及寫真)相添ヘ此段相願候也

住所

年月日

何

某印

東京蠶業講習所長某殿

履歷書 (用紙美濃白紙)

本籍地

寄留地

族籍(戶主又ハ戶主トノ續柄)

何

某

何年月日生

一 何年何月ヨリ何年何月迄何學校ニ於テ若ハ何某ニ就キ何學修業

一 何年何月何學校ニ於テ第何學年ノ課程修業或ハ全科卒業

一 何年何月ヨリ何年何月迄何所ニ於テ(養蠶製絲)ヲ修得シ或ハ何年何月ヨリ何年何月迄何所ニ於テ(養蠶製絲)實業ニ從事

一 何年何月何々ニ付賞又ハ罰

右之通相違無之候也

(12)

右
 年 月 日 何 某 吻
 身體検査証
 住 所 何 某
 何 年 月 日 生

右精細検査候處東京蠶業講習所講習規程第十二條ニ該當スル者ト診斷候也

年 月 日 住 所 醫師 何 某 印

第十四條 入學試験ハ東京蠶業講習所又ハ京都蠶業講習所ニ於テ之ヲ執行ス但シ入學志願者ノ願ニ依リ男生ハ地方廳女生ハ地方廳又ハ郡市役所ニ於テ之ヲ執行ス

第十五條 入學試験時期ハ八月中トス

第十六條 入學試験科目左ノ如シ

- 一 養蠶科
- 本科
 - 一 數 學(算術、代數、幾何學)
 - 二 動物學
 - 三 植物學
 - 四 物理學
 - 五 無機化學
 - 六 地理(日本地理外國地理)

- 七 作文
- 八 英語(英文和譯、和文英譯、文法)
- 二 製絲科

- 本科(男生)
 - 一 算 術
 - 二 代數及幾何學
 - 三 物理學
 - 四 無機化學
 - 五 地 理(日本地理、外國地理)
 - 六 作 文
 - 七 英 語(英文和譯、和文英譯、文法)
- 本科(女生)
 - 一 算 術
 - 二 理 科
 - 三 作 文(假名交リ記事文又ハ往復文)
 - 四 製絲法
 - 別 科
 - 一 作 文(往復文)
 - 二 製絲法

(13)

第十七條 入學試験ニ合格シタル者ハ假入學ヲ許可シ本所ニ於テ更ニ第十二條ニ依リ身體検査ヲ行ヒ検査ニ合格シタル者ハ入學ヲ許可シ合格セサル者ハ假入學ヲ取消スヘシ

(14)

第十八條 入學許可ヲ得タル者ハ保證人ヲ定メ左ノ書式ニ依リ在學證書ヲ本所ニ差出スヘシ

印紙 在學證書 (用紙美濃白紙)

私儀令般(養蠶科本科製絲科本科又ハ別科)へ入學許可相成候ニ就テハ御規則等固ク遵守シ專心勉勵可仕候仍テ在學證書如件

本籍地

族籍(戸主又ハ戸主トノ續柄)

年月日

何

某(例)

何年月日生

右某令般入學許可相成候ニ就テハ御規則等固ク相守ラセ且本人ニ係ル一切ノ事件ハ私共ニ於テ引受可申候仍テ保證候也

住所

族籍職業(入學者トノ關係)

保證人 何

某(例)

何年月日生

住所

族籍職業(入學者トノ關係)

保證人 何

某(例)

何年月日生

東京蠶業講習所長某殿

前記保證人某ハ當區町村公民ニ相違無之候也

何區町村長 (印)

第十九條 保證人ハ二人トス内一人ハ學資ヲ供給スル者他ノ一人ハ東京府内在住ノ公民タルヲ要ス

第二十條 保證人旅行セントスルトキハ豫メ相當ノ代理者ヲ定メ届出ツヘシ

第二十一條 保證人死亡シ若ハ第十九條ノ資格ヲ失ヒタル時ハ新ニ保證人ヲ定メ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第二十二條 本所ニ於テ保證人又ハ其ノ代理者ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ換ヘシムヘシ

第五章 試験及卒業

第二十三條 試験ハ各學科ニ付一學期間一回以上隨時之ヲ行フ

第二十四條 實習ノ試験點數ハ試験及平生ノ成績並勤怠ニ依リテ之ヲ定ム

第二十五條 各學科ノ試験點數ハ一百點ヲ以テ滿點トス

第二十六條 試験ニ缺席シタル學科ハ零點トス

第二十七條 病氣其他止ヲ得サル事故ニ因リ届出ノ上試験ニ缺席シタル者ニハ願ニ依リ特ニ試験ヲ行フコトアルヘシ

第二十八條 及落ハ第三學期ノ終ニ於テ各學期ノ試験點數ヲ通算シ左ノ規定ニ依リ之ヲ定ム

總平均點數 六十點以上 及第

總平均點數 六十點未滿 落第

二學科以上 五十點未滿 落第

一學科 四十點未滿 落第

第二十九條 本科ハ最終學年、別科ハ全學期ニ及第シタル者ヲ卒業セシム卒業ノ成績ハ講習期間ノ試験點數ヲ通算シテ之ヲ定ム

(15)

第六章 休學責罰及退學

(16)

- 第三十條 疾病其ノ他ノ事故ニ因リ一學期以上修學スルコト能ハサル者ハ其ノ學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第三十一條 休學ノ許可ヲ得ムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ノ場合ニハ本所囑託醫又ハ本所ニ於テ適當ト認ムル醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ
- 第三十二條 休學者ハ次學年ノ始ヨリ原級ニ編入ス
- 第三十三條 疾病又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ退學セントスルモノハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ノ場合ニハ本所囑託醫又ハ本所ニ於テ適當ト認ムル醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ
- 第三十四條 在學中學術優等品行方正ニシテ他ノ模範タルハキ者ニハ賞品ヲ授與ス
- 第三十五條 諸規則及心得等ニ違反シ又ハ怠惰不品行ナル者ハ其ノ情狀ニ依リ左ノ懲戒ニ處ス
 - 一 譴責
 - 二 停學
 - 三 退學
- 第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス
 - 一 缺席多キ者
 - 二 成業ノ見込ナキ者
 - 三 同級ニ於テ二回落第シタル者

第七章 雜則

- 第三十七條 本科及別科ノ各級ニ級長一名ヲ置キ上席者ヲ以テ之ニ充ツ級長事故アルトキハ次席者ヲシテ代理セシム
- 第三十八條 級長ハ主務官ノ命令ヲ傳達シ又ハ其ノ級ノ意見ヲ上申スルモノトス

京都蠶業講習所講習規程 (明治四十三年五月改正)

第一章 總則

- 第一條 本所ハ養蠶ニ關スル學理及技術ヲ講習ス
- 第二條 本所ニ本科及別科ヲ置ク
- 第三條 講習生ノ定員左ノ如シ
 - 一 本科男生 六十名
 - 二 本科女生 六十名
 - 三 別科男生 六十名以内
- 第四條 講習期限左ノ如シ
 - 一 本科男生 三年
 - 二 本科女生 二年
 - 三 別科 六箇月
- 第五條 講習生ノ學費ハ自辨トス但シ講習料ヲ徴收セス
- 第六條 講習生ハ男生ニ在リテハ本所所定ノ制帽及制服ヲ、女生ニ在リテハ制服ヲ着用スヘシ
- 第七條 講習生ハ所内ニ寄宿スルモノトス但シ本所ノ都合ニ依リ通學ヲ命ジ又ハ講習生ノ願ニ依リ通學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二章 學科課程

- (17)
- 第八條 學科課程左ノ如シ
 - 一 本科 (男生)課程

(24)

第十二條 入學志願者ハ身體強壯ニシテ左記ノ各項ニ該當セサル者タルハシ

- 一 結核、咯血、癲狂、癲癩、癩病、梅毒、傳染性皮膚病其ノ他傳染性疾患アル者又ハ心臟、肺臟、肋膜ノ著シキ疾患、肋膜炎後ノ障害甚シキ者其ノ他動作ニ堪ヘサル疾患アル者
 - 二 發育不全ニシテ薄弱ナル者、高度ノ脂肪肥滿ナル者四肢ノ著シキ彎曲若ハ不同又ハ甚シク筋肉薄弱ナル者、手指ノ缺損若ハ畸形ナル者、下肢靜脈ノ怒張著シキ者、又ハ動靜脈瘤等總テ動作ニ堪ヘサル者
 - 三 精神ノ異狀、言語障害又ハ甚シキ啞吃アル者
 - 四 片眼若ハ兩眼ノ視力妨ケアル者又ハ色盲アル者但シ眼鏡ヲ用井テ其ノ視力ヲ調節シ得ル者ハ此限ニ在ラス
 - 五 片耳若クハ兩耳ノ聾ナル者又ハ低聲ヲ聴取シ難キ者
- 第十三條 本科入學志願者ハ七月十日迄ニ別科入學志願者ハ十月十日迄ニ左ノ書式ニ依ル入學願書ニ履歷書及身體檢査證ヲ添ヘ地方廳ヲ經由シテ本所ニ差出スヘシ
但シ男生ハ寫眞一葉ヲ添附スヘシ

入學願書 (用紙義濃白紙)

某儀貴所^{本科}又入學志願ニ付^{東京}京都蠶業講習所(又ハ何道廳府縣廳郡市役所)ニ於テ試驗ノ上御許可相成度別紙履歷書身體檢査證(及寫眞)相添ヘ此段相願候也

年月日 住所 何 某印

京都蠶業講習所長某殿

履歷書 (用紙美濃白紙)

本籍地 寄留地 籍(戶主又ハ戶主トノ續柄) 族

何年月日生 某

- 一 何年何月ヨリ何年何月迄何學校ニ於テ若ハ何某ニ就キ何學修業
 - 一 何年何月何學校ニ於テ第何年ノ課程修業或ハ全科卒業
 - 一 何年何月ヨリ何年何月迄何所ニ於テ^(養蠶)ヲ修得シ或ハ何年何月ヨリ何年何月迄何所ニ於テ^(養蠶)實業ニ從事
 - 一 何年何月何々ニ付賞又ハ罰
- 右之通相違無之候也

年月日 住所 何 某印

身體檢査證

年月日 住所 何 某印

何年月日生

右精細檢査候處京都蠶業講習所講習規程第十二條ニ該當スル者ト診斷候也

(25)

第十四條 入學試驗ハ京都蠶業講習所又ハ東京蠶業講習所ニ於テ之ヲ執行ス但シ入學志願者ノ願ニ依リ男生ハ地方廳、女生ハ地方廳又ハ郡市役所ニ於テ之ヲ執行ス

第十五條 入學試驗時期ハ本科ハ八月中、別科ハ十一月中トス

第十六條 入學試驗科目左ノ如シ

- 一 本科(男生)
 - 一 數 學 (算術代數幾何學)
 - 二 動物學
 - 三 植物學
 - 四 物理學
 - 五 無機化學
 - 六 地 理 (日本地理、外國地理)
 - 七 作 文
 - 八 英 語 (英文和譯、和文英譯、文法)
 - 二 本科(女生)
 - 一 算 術
 - 二 理 科
 - 三 作 文 (假名交リ記事文、又ハ往復文)
 - 四 養蠶法
 - 三 別科
 - 一 算 術
 - 二 理 科
 - 三 作 文
 - 四 養蠶法
- 第十七條 入學試験ニ合格シタル者ハ假入學ヲ許可シ本所ニ於テ更ニ第十二條ニ依リ身體検査ヲ行ヒ検査ニ合格シタル者ハ入學ヲ許可シ合格セサル者ハ假入學ヲ取消スヘシ

第十八條 入學許可ヲ得タル者ハ保證人ヲ定メ左ノ書式ニ依リ在學證書ヲ本書ニ差出スヘシ

印 紙 在學證書 (用紙美濃白紙)

私儀令般本科又ハ入學許可相成候ニ就テハ御規則等固ク遵守シ専心勉強可仕候仍テ在學證書如件

本籍地
 族籍(戸主又ハ戸主トノ續柄) 何 某 ㊟
 何年何月日生

右某今般入學許可相成候ニ就テハ御規則等固ク相守ラセ且本人ニ係ル一切ノ事件ハ私共ニ於テ引受可申候仍テ保證候也

住 所
 族籍職業(入學者トノ關係) 某 ㊟
 保證人 何 某 ㊟
 何年何月日生

住 所
 族籍職業(入學者トノ關係) 某 ㊟
 保證人 何 某 ㊟
 何年何月日生

京都蠶業講習所長某殿
 前記保證人某ハ當區町村公民ニ相違無之候也

第十九條 保證人ハ二人トス内一人ハ學費ヲ供給スル者他ノ一人ハ京都府内在住ノ公民タルヲ要ス
 第二十條 保證人旅行セントスルトキハ豫メ相當ノ代理者ヲ定メ届出ツヘシ
 第二十一條 保證人死亡シ若ハ第十九條ノ資格ヲ失ヒタル時ハ新ニ保證人ヲ定メ更ニ在學證書ヲ差出スヘシ
 第二十二條 本所ニ於テ保證人又ハ其ノ代理者ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ換ヘシムヘシ

第五章 試験及卒業

第二十三條 試験ハ各學科ニ付一學期間一回以上隨時之ヲ行フ
 第二十四條 實習ノ試験點數ハ試験及平生ノ成績并勤意ニ依リテ之ヲ定ム
 第二十五條 各學科ノ試験點數ハ一百點ヲ以テ滿點トス
 第二十六條 試験ニ缺席シタル學科ハ零點トス
 第二十七條 病氣其ノ他止ムヲ得サル事故ニ因リ届出ノ上試験ニ缺席シタル者ニハ願ニ依リ特ニ試験ヲ行フコトアルヘシ
 第二十八條 及落ハ本科ニ在リテハ第三學期ノ終ニ於テ、別科ニ在リテハ第三學期ノ終ニ於テ各學期ノ試験點數ヲ通算シ左ノ規定ニ依リ之ヲ定ム

總平均點數	六十點以上	及	第
總平均點數	六十點未滿	落	第
二學期科以上	五十點未滿	落	第
一學科	四十點未滿	落	第

第二十九條 本科ハ最終學年、別科ハ全學期ニ及第シタル者ヲ卒業セシム卒業ノ成績ハ講習期間ノ試験點數ヲ通算シテ之ヲ定ム

第六章 休學賞罰及退學

第三十條 疾病其ノ他ノ事故ニ因リ一學期以上修學スルコト能ハサル者ハ其ノ學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ
 第三十一條 休學ノ許可ヲ得ムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ノ場合ニハ本所囑託醫又ハ本所ニ於テ適當ト認ムル醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ
 第三十二條 休學者ハ次年ノ始ヨリ原級ニ編入ス
 第三十三條 疾病又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ退學セムトスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ノ場合ニハ本所囑託醫又ハ本所ニ於テ適當ト認ムル醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ
 第三十四條 在學中學術優等品行方正ニシテ他ノ模範タルヘキ者ニハ卒業ノ際賞品ヲ授與ス
 第三十五條 諸規則及心得等ニ違反シ又ハ怠惰不品行ナル者ハ其ノ情狀ニ依リ左ノ懲戒ニ處ス

- 一 譴責
- 二 停學
- 三 退學

第三十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

- 一 缺席多キ者
- 二 成業ノ見込ナキ者
- 三 同級ニ於テ二回落第シタル者

第七章 雜則

第三十七條 本科及別科ノ各級ニ級長一名ヲ置キ上席者ヲ以テ之ニ充ツ級長事故アルトキハ次席者ヲシテ代理セシム
 第三十八條 級長ハ主務官ノ命令ヲ傳達シ又ハ其ノ級ノ意見ヲ上申スルモノトス

研究生規程 (明治三十八年十月改正)

第一條 蠶業講習所卒業生(元農務局蠶業試驗場卒業生ヲ含ム)ニシテ既修ノ學科ニ就キ更ニ研究ヲ爲サムト欲スル者ハ本規
定ノ定ムル所ニ依リ研究生ト爲ルコトヲ得

第二條 研究生ノ定員左ノ如シ

養蠶講習科 拾 名

製絲講習科 貳拾名

第三條 研究ノ期限ハ男生ニ在リテハ六ヶ月以上貳ヶ年以内女生ニ在リテハ壹箇年以内トス

但シ研究上必要アリト認ムルモノニ付テハ所長ハ其期限ノ伸縮ヲ許可スルコトアルヘシ

第四條 研究生タラント欲スル者ハ研究ノ事項及期限ヲ明記シタル願書ニ履歷書ヲ添附シテ講習所ニ差出スヘシ所長ハ詮議
ノ上之ヲ許否ス

第五條 研究生ノ研究ニ要スル費用ハ器具藥品其ノ他所長ニ於テ指定シタルモノヲ除クノ外總テ自辨トス

第六條 研究生ニシテ貸與ノ物品ヲ毀損シ若クハ紛失シタルトキハ之ヲ辨償セシム

第七條 研究生ハ研究シタル事項ニ付報告書ヲ編成シ期限滿了後一箇月以内ニ之ヲ所長ニ差出スヘシ

第八條 所長前條ノ報告書ヲ審査シ研究ノ目的ヲ達シタルモノト認ムルトキハ證明書ヲ交付ス

第九條 研究生ニシテ成業ノ見込ナキ者ハ除名スヘシ

第十條 研究生ニシテ其ノ研究ヲ中止シタル者及除名セラレタル者ハ再ヒ研究生タルコトヲ得ス

留學生規定

第一條 外國人ニシテ蠶業講習所ノ講習ヲ受ケムト欲スル者ハ本規程ノ定ムル所ニ依リ留學生ト爲ルコトヲ得

第二條 入學志願者ハ身體強壯ニシテ本邦語ヲ解シ得ル者タルヘシ

第三條 入學志願者ハ志望ノ學科ヲ明記シタル願書ニ履歷書ヲ添付シ本邦駐劄公使ヲ經テ講習所ニ差出スヘシ所長ハ詮議ノ
上之ヲ許否ス

第四條 留學生ニシテ規定ノ學科ヲ習得シタル者ニハ證明書ヲ交付ス

第五條 留學生ニ關シテハ前四條ノ外總テ蠶業講習所講習規程ヲ準用ス

講習生心得

第一條 講習生ハ總テ本所ノ規定及主務官ノ指揮ニ從ヒ其ノ命令ヲ遵守スベシ

第二條 常ニ禮節ヲ重シ友誼ヲ篤フシ苟モ本所ノ體面ヲ汚スガ如キ行爲アルベカラズ

第三條 告示ハ之ヲ揭示シタル日ヨリ一般ニ了知シタルモノト認ムルニ依リ常ニ注意スベシ

第四條 上達文書ニハ總テ級名ヲ肩書シ記名捺印ノ上所長ニ宛差出スベシ

第五條 本所ノ物品ヲ毀損シ又ハ紛失シタルトキハ之ヲ辨償スベシ但シ共同使用ノ物品ニシテ其ノ責任ノ明カナラザルモノ
ハ連帶シテ之ヲ辨償スベシ

第六條 衣服身體ハ清潔ヲ旨トシ深ク衛生ニ注意スベシ

第七條 各級ヨリ衛生委員一名ヲ互撰シ衛生上注意ノ任ニ當ラシムベシ

第八條 常ニ火ノ元ヲ慎ミ危險ナキ様注意スベシ

第九條 火災其他非常ノ事變アル場合ニハ總テ主務官ノ指揮ニ從フベシ

第十條 已ムヲ得ザル事故ニ由リ制服制帽ヲ着用シ難キトキハ其旨願出テ許可ヲ受クベシ

第十一條 教場ニ於テ喫煙又ハ喧嘩粗暴ノ舉動アルベカラズ

第十二條 何等ノ目的ニ依ルモ共同缺課シ又ハ主務官ノ許可ナクシテ會議スベカラズ

第十三條 缺課シタルトキハ常日中ニ其旨ノ事由ヲ詳記シテ届出ヅベシ

二日以上缺課セムトスルトキハ豫メ其事由ヲ詳記シ願出テ許可ヲ受クベシ

但シ疾病ニ因ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添附スベシ

第十四條 通學セントスル者ハ保證人連署ヲ以テ願出テ許可ヲ受クベシ

第十五條 出入ハ必ず正門ニ依リ門衛詰所ニ設ケアル各自ノ名札ノ表裏ヲ以テ其ノ在否ヲ明ニスベシ

第十六條 外出時限ハ左ノ如シ但シ時宜ニ依リ伸縮スルコトアルベシ

- 男 生
- 一 平日 終業ヨリ午後八時迄
 - 一 休日 午前六時ヨリ午後十時迄
- 女 生
- 一 休日 午前七時ヨリ午後五時迄

第十七條 女生ハ外出セントスルトキ又ハ歸舍シタルトキハ外出點檢簿ヲ舍監ニ差出シ點檢ヲ受クベシ

第十八條 外出時限ニ遅レテ歸舍シタルトキハ其事由ヲ詳記シテ直ニ届出ヅベシ

第十九條 閉門後ニ於テ歸所セントスル者ハ其ノ氏名ヲ門衛ニ通シ閉門ヲ乞フベシ

第二十條 時限外ニ外出セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シテ願出テ舍監ヨリ外出證ヲ受ケテ之ヲ門衛ニ差出スベシ

第二十一條 外出中疾病又ハ事故アリテ外泊シタルトキハ翌日直ニ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ届出ヅベシ

但シ疾病ノトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スベシ

第二十二條 寄宿舎ニ於テハ常ニ靜肅ヲ旨トシ猥リニ他室ニ出入スベカラズ

第二十三條 衣服寢具其ノ他ノ物品ハ各自之ヲ整理シ散亂セザル様注意スベシ

第二十四條 消燈並閉門時刻ハ左ノ如シ

但シ時宜ニ依リ變更スルコトアルベシ

- 一 平日 午後十時
- 一 休日 午後十一時

第二十五條 寄宿舎ニ於テ點檢ヲ行フトキハ各自ノ室前ニ整列スベシ

第二十六條 玩具、樂器、劍銃、火藥、劇藥、毒藥其他危險ノ物品ヲ所持スベカラズ

第二十七條 來訪者アルトキハ所定ノ應接所ニ於テ面會シ猥リニ教場及寄宿室内ニ誘フベカラズ但シ女生ハ豫メ舍監ノ許可ヲ受クベシ

學費概算

- 男 生
- 一 制 帽 壹 個 金壹圓内外
 - 一 制 服 (冬服及夏服) 金貳拾圓内外
 - 一 食 費 壹ヶ月 金六圓内外
 - 一 筆 紙 墨 料 壹ヶ月 金五拾錢内外
 - 一 機 械 費 本科ニアリテハ三ヶ年間七圓乃至十圓別科ニアリテハ六ヶ月間參圓乃至四圓
 - 一 雜 費 壹ヶ月 金貳圓内外
- 右ノ外寢具机等ハ總テ用意ノ事
- 女 生
- 一 袴 壹 着 金四圓内外
 - 一 食 費 壹ヶ月 金六圓内外
 - 一 筆 紙 墨 料 壹ヶ月 金五拾錢内外
 - 一 機 械 費 貳ヶ月 金七圓内外
 - 一 雜 費 壹ヶ月 金壹圓内外
- 右ノ外寢具机等ハ總テ用意ノ事

上田蠶絲專門學校規則

第一章 總 則

- 第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ蠶絲業ニ從事スベキ者ニ高等ノ學術、技藝ヲ教授スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本校本科ノ學科ヲ分チテ養蠶科、製絲科トス
- 第三條 各學科ノ修業年限ハ各三箇年トス
- 第四條 本校ニハ研究生及選科生ヲ置クコトアルベシ
研究生及選科生ニ關シテハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

第二章 學科課程

- 第五條 各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ教授定時間外又ハ休業期間ニ於テ臨時講演ヲ聽カシメ又ハ實習ヲ課スルコトアルベシ(學科課程表略ス)

第三章 學年、學期及休業日

- 第六條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第七條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス
- 第一學期ハ四月一日ニ始マリ九月三十日ニ終ル
- 第二學期ハ十月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル
- 第三學期ハ一月一日ニ始マリ三月三十一日ニ終ル
- 第八條 休業日ハ左ノ如シ

- 一 祝日、大祭日
- 一 日曜日
- 一 本校紀念日
- 一 春季休業(自四月一日至四月十五日)
- 一 夏季休業(自九月十六日至九月三十日)
- 一 冬季休業(自十二月二十一日至翌年一月二十日)

第四章 入學、在學、退學及懲戒

第九條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始メ一箇月以内トス

第十條 各學科一學年ニ入學ヲ許スヘキ者ハ品行方正、志望鞏固、年齡十七年以上ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學試驗及體格検査ニ合格シタル者タルヘシ

- 一 中學校ヲ卒業シタル者
 - 二 專門學校入學者檢定規程ニ據ル試驗檢定ニ合格シタル者
 - 三 專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者
 - 四 甲種程度ノ實業學校ヲ卒業シタル者但シ志望學科ト同種類者ハ類似ノ學科ヲ修メタル者ニ限ル
- 前項第一號、第三號又ハ第四號ニ該當スル學校ニ在學シ本校入學試驗期日前ニ卒業スヘキ見込アル者ハ當該學校長ノ證明ヲ得テ入學試驗ヲ受ケルコトヲ得
- 第十一條 入學試驗ノ學科目ハ國語漢文、英語、數學、物理、化學、動物、植物トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行ヒ別ニ體格検査ヲ行フ
- 第十二條 入學ヲ出願スル者ハ第二條ニ掲ケタル學科中ニ就キ其ノ志望學科ヲ定メ左ノ書類ニ入學試驗手数料及寫眞(入學志願前六箇月以内ニ撮影シタル對半身手札形)ヲ添ヘ學校長ニ差出スヘシ

- 一 入學願書(第一號書式)
- 二 履歷書(第二號書式)
- 三 戶籍抄本

四 第十條第一號、第三號又ハ第四號ニ該當スル學校長ノ卒業證明書(第三號書式)若ハ第二號合格證明書(第四號書式)

第十三條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ許可ノ日ヨリ二十日以内ニ保證人ノ署名セル證書(第五號書式)ヲ本校ニ差出スヘシ

第十四條 保證人ハ成年以上ノ男子ニシテ上田町又ハ同町附近ノ地ニ住所ヲ有シ生徒在學中ニ係ル一切ノ事件ニ就キ其ノ責ニ任スヘキモノタルヘシ

上田町又ハ同町附近ノ地ニ於テ保證人ヲ得難キトキハ父兄又ハ後見人ヲ以テ保證人ト爲スコトヲ得

第十五條 保證人死去若ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキ又ハ學校ニ於テ不適當ナリト認メタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ直ニ誓書ヲ本校ニ差出スヘシ

第十六條 保證人改姓、改名、改印轉居等ヲ爲シタルトキハ速ニ届出ツヘシ

第十七條 本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限り證議ノ上試驗ヲ行ヒ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試驗ヲ省略ス試験ノ全部ヲ省略シタルトキハ入學試驗手数料ヲ徴收セス

第十八條 生徒ハ本校所定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ

第十九條 生徒疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ三日以内ニ届出ツヘシ但シ病氣ノ爲メ缺席七日以上ニ互ル者ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十條 生徒疾病ニ依リ三箇月以上修業シ能ハスト思料スルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ保證人連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出シ許可ヲ得テ其ノ學年間休學スルコトヲ得但シ休學中其ノ事由消滅シタルトキハ許可ヲ得テ一學科目又ハ數學科目ノ授業ニ出席スルコトヲ得

前項ニ依リ休學ヲ許可セラレタル者ハ次學年ノ始メヨリ更ニ原級ノ課程ヲ修ムヘシ

第二十一條 生徒改姓、改名、改印、轉籍等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨直ニ届出ツヘシ但シ改姓、改名、轉籍ニハ戶籍抄本ヲ

添フルヲ要ス

第二十二條 生徒在學中兵役ニ服スル者ハ學校長ノ許可ヲ得テ其ノ間休學スルコトヲ得

前項ニ依リ休學ヲ許可セラレタル者服役ヲ終リタルトキハ直ニ原級ニ復歸スヘシ

第二十三條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入リ又ハ他學校若ハ官署ニ於テ各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ノ上學校長ニ願出ツヘシ

第二十四條 生徒已ムヲ得ザル事由ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ノ上學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ニ因リ退學セントスル場合ニ於テハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學業劣等若ハ身體虛弱等ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 引續キ一箇年以上缺席シタル者但シ休學ノ許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラズ
- 四 正當ノ事由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者
- 五 正當ノ事由ナクシテ屢缺席シ出席常ナラサル者
- 六 授業料滞納二週日ニ互ル者

第二十六條 生徒ニシテ校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失ヘリト認ムヘキ行爲アル者ハ學校長之ヲ懲戒ス懲戒ハ分子ヲ譴責停學放校トス

第五章 修業及卒業

第二十七條 各學年ノ課程修了ハ該學年中平素ノ勤惰及卒業ノ成績等ヲ考查シテ之ヲ定ム

第二十八條 前條ノ考查ニ合格セザル者ニハ次學年ノ始メヨリ原級ノ課程ヲ再修セシムルモノトス

第二十九條 已ムヲ得ザル事由ニ依リ試験ニ缺席シタル者追試験ヲ受ケムコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ次學期ノ始メ二週日以内ニ之ヲ行フ

第三十條 第三學年ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十一條 第三學年ノ成績考查ニ合格セル者ニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第六章 特待生

第三十三條 生徒品行方正ニシテ學業ニ熱心シ一學年中ノ成績優良ナル者ハ學校長之ヲ選ミテ次學年間特待生ト爲スコトアルヘシ

第三十四條 特待生ニハ授業料ヲ徴收セス

第三十五條 特待生ニシテ其ノ資格ヲ失ヒタル者ハ直ニ特待生タルコトヲ罷ム

第七章 入學試験手数料、授業料、實習實驗費

第三十六條 入學試験手数料ハ金三圓トス

第三十七條 授業料ハ一學年本科生及研究生ハ金二十五圓選科生ハ金十五圓トス

外國人ニシテ特別ニ入學ヲ許可セラレタル者ノ授業料ハ一學年本科生及研究生ハ金五十圓選科生ハ金三十圓トス

第三十八條 授業料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分テ每期ノ始メニ於テ之ヲ徴收ス

第一期	至四月	金十圓	金二十圓	金十圓
第二期	至八月	金八圓	金五圓	金十圓
第三期	至十二月	金七圓	金五圓	金十圓
第三十九條	研究生及選科生ニハ實習、實驗ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徴收スルコトアルヘシ			

(4)

第四十條 入學試驗手数料、授業料及實習實驗費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖モ之ヲ返付セス

第四十一條 實業學校教員養成規程ニ依ル學資補給希望者ニ對シテハ其ノ補給決定ニ至ル迄授業料徴收ヲ猶豫シ補給生トナリタルトキハ之ヲ徴收セス

第四十二條 停學ヲ命セラレタル者又ハ休學ヲ許可セラレタル者ハ其期間内授業料ヲ徴收セス但シ授業料徴收期日以前ニ停學又ハ休學シタルトキハ其ノ期ノ授業料ハ本科及研究生ハ金二圓五十錢選科生ハ金一圓五十錢外國人本科及研究生ハ金五圓同選科生ハ金三圓トシテ指定ノ日ニ於テ之ヲ納付スヘシ

第四十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ其ノ期ニ於ケル授業料ハ其ノ月ヨリ一箇月本科及研究生ハ金二圓五十錢選科生ハ金一圓五十錢外國人本科及研究生ハ金五圓同選科生ハ金三圓トシテ指定ノ日ニ納付スヘシ但シ納付金ノ總額ハ當該期ノ定納額以內トス

一 特待生ノ資格消滅シタル者

二 停學ヲ解除セラレ就學シタル者

三 休學ノ事故止ミ就學シタル者

四 學期ノ半途ニ於テ入學ヲ許可セラレタル者

第四十四條 授業料ハ定日ニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ五日以內ニ之ヲ納付スヘシ

第四十五條 授業料ヲ定日ニ納付セザルトキハ本人ニ之ヲ催告シ尙納付セザルトキハ保證人ニ之ヲ催告ス前項ノ催告ヲ受ケ尙納付セザルトキハ第二十五條ニ據リ處分ス

第八章 研究生

第四十六條 本校卒業者ニシテ既修ノ學科目ニ就キ更ニ研究セント欲スル者アルトキハ證議ノ上研究生トシテ二箇年以內在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十七條 研究生タラント欲スル者ハ其ノ研究セント欲スル事項及在學ノ期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第四十八條 研究生ハ學校ニ於テ研究ニ從事スル者トス但シ必要ノ場合ニ於テハ或ル期間ヲ限り指導教官指揮ノ下ニ學校外ニ於テ研究スルコトヲ許可スルコトアルヘシ

第四十九條 研究生ハ其ノ研究事項ヲ終了シタルトキハ研究報告書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第五十條 學校長ハ研究報告書ヲ考查シ其ノ成績佳良ナリト認メタルトキハ研究證明書ヲ授與ス

第九章 選科生

第五十一條 本校所定ノ各學科ノ中一學科目若ハ數學科目ヲ專修センコトヲ願出ル者アルトキハ證議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十二條 選科生トシテ入學ヲ許可スル者ハ左ノ各號ニ該當シ且本校ニ於テ適當ト認ムル者ニ限ル

一 品行方正身體強健ナル者

二 年齡滿十七年以上ノ者

三 三箇年以上引續キ志望學科目ニ關スル業務ニ從事セル者又ハ實業學校ノ卒業者

第五十三條 選科生ノ入學時期ハ每學年ノ始メ一箇月以內トス但シ特別ノ場合ニハ學年ノ半途ニ於テ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十四條 選科生ニシテ在學中成績適當ナリト認メタル者ニハ修業證書ヲ授與ス

第十章 寄宿舎

第五十五條 寄宿舎ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

(書式略ス)

(41)

長野縣立甲種蠶業學校學則

第一章 總 則

- 第一條 本校ハ蠶業ニ關スル學理並實習及普通農業ノ大意ヲ授ケ兼テ農蠶業ノ攻究ヲ爲スヲ目的トス
- 第二條 本校ニ本科別科ヲ置ク
- 第三條 修學年限ハ本科三ヶ年別科一ヶ年トス
- 第四條 生徒定員ハ凡二百名トス
- 第五條 本科生ノ内人員ヲ限リ農業教員志望者ヲ置ク
- 第六條 本科別科トモ別ニ傍聽生ヲ置キ教授ノ傍聽ヲ許スコトアルベシ

第二章 學年及學期授業日數及休業日

- 第七條 學科ハ本科ハ四月ニ始マリ翌年三月ニ終リ別科ハ十月ニ始マリ翌年九月ニ終ル
- 第八條 學年ヲ分テ左ノ二學期トス
 - 前期 本科ハ四月一日ヨリ九月十五日マデ
 - 別科ハ十月一日ヨリ翌年四月卅日マデ
 - 後期 本科ハ九月十六日ヨリ翌年三月三十一日迄
 - 別科ハ五月一日ヨリ九月三十日迄
- 第九條 授業日數ハ本科別科各四十週以上トス

(44)

第十條

休業日ハ左ノ如シ
但シ實習期間ニ於ケル日曜日ハ休業セサルコトアルヘジ
日 曜 日

學校創立紀念日	四月一日
神武天皇祭	四月三日
養蠶實習後	十五日以内
秋季皇靈祭	秋 分 日
神 嘗 祭	十月十七日
天 長 節	十一月三日
新 嘗 祭	十一月廿三日
冬 期 休 業	十二月廿六日ヨリ 翌年一月廿五日迄
孝明天皇祭	一月三十日
紀 元 節	二月十一日
春期皇靈祭	春 分 日
學年末休業	七日以内

第三章 學科目及其程度並每週授業時數

第十一條 學科目及其程度每週授業時數ハ本科ハ別表甲號、別科ハ別表乙號ノ如シ

第四章 生徒及其入學退學

第十二條 生徒入學ノ期ハ學年ノ始トシ募集人員等ハ其都度告示ス

但シ時宜ニ依リ臨時募集スルコトアルヘシ

第十三條

入學志願者ハ左ノ資格ヲ具フル者タルヘシ

- 一 年齢十四年(農業教員志望生)以上ノ男子ニシテ小學校令第十八條第二項ノ修業年限二ケ年ノ高等小學卒業以上ノ學力ヲ有スルモノ
- 一 身體強健ニシテ課程ヲ修ムルニ耐フル者
- 一 性行善良ナルモノ
- 一 在學中家事ニ係累ナキモノ
- 一 學資ヲ自辨シ授業料ヲ納メ得ルモノ

第十四條 入學志願者ノ學力ノ檢定ハ總テ試験ニ依リ國語、算術、日本歴史、地理、理科ニ就キ修業年限二ケ年ノ高等小學卒業ノ程度ニ於テ之ヲ行ヒ更ニ身體性行等ヲ檢定シテ入學ヲ許ス

但シ中學校第二級修了又ハ修業年限二ケ年ノ高等小學若シクハ舊小學校令ニ依ル修業年限四ケ年ノ高等小學卒業者ハ其證書ニ依ツテ學力ヲ檢定スルコトアルヘシ

第十五條

入學志願者ハ入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ本校ヘ差出スヘシ

第十六條

入學願書ニハ其家ノ戶主(本人戶主ナ)及親權ヲ行フ者(親權ヲ行フモノナ)之ニ連署スヘシ

第十七條

入學ノ許可ヲ得タルモノハ保證人ヲ定メ其連署シタル誓約書ヲ本校ニ差出スヘシ

保證人ヲ變更シタルトキハ更ニ其保證人ノ連署シタル誓約書ヲ差出スヘシ

第十八條

保證人ハ保證ノ任ニ耐フヘキ成年以上ノ男子ニシテ其一人ハ本人ト親族關係アルモノ若クハ之ニ準ズベキモノ他

ノ一人ハ本校所在地ヲ距ル二里以内ニ居住シ一家計ヲ立ツルモノタルヘシ但シ學校長ニ於テ不相當ト認メタルトキハ之ヲ更ヘシムルコトアルヘシ

第十九條

本人若クハ保證人ノ住所又ハ戶籍上ニ異動チ生シタルトキハ其旨届出ヘシ

第二十條

生徒昇校中ハ本校ノ制服ヲ着スヘシ

第二十一條

病氣又ハ止ムヲ得サル事故アリテ半途退學セントスル者ハ事由ヲ具シ其家ノ戶主(本人戶主ナ)及親權ヲ行フ者

(45)

(46)

(親權ヲ行フ者ナ)之ニ連署シ學校長ニ願出ヘシ
第廿二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ除名又ハ退校ヲ命ス

- 一 正當ノ理由ナク引續キ一ヶ月以上缺席ノ者
- 二 病氣其他ノ事故ニ依リ成業ノ目的ナキモノ
- 三 引續キ一ヶ年以上缺席シタルモノ
- 四 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 五 出席常ナラサル者

第廿三條 入學願書、履歷書、誓約書、傍聽願書ノ書式ハ左ノ如シ
入學願書 (用紙半紙罫紙)

某(志願者ノ名)儀(養業(農業教員)志願ニ付貴校本科(別科)へ入學仕度候間御許可相成度別紙履歷書相添此段相願候也

何府縣何郡市何町村何番地居住

何府縣士族(平民)

戸主(誰子弟等)

入學志願者

氏

名

年 月 日

生 年 月 日

何府縣何郡市何町村何番地居住

何府縣士族(平民)職業

戸 主

何府縣何郡市何町村何番地居住

何府縣士族(平民)職業

親權ヲ行フ者(後見人)

氏

名

長野縣立小縣甲種養業學校長宛

履 歷 書

(用紙半紙罫紙)

何府縣士族(平民)

氏

名

本籍何府縣何郡市何町村何番地
(寄留ノ者ハ寄留地ヲ併記スヘシ)

氏

名

生 年 月 日

學 業

一 何年何月マテ何處何學校ニ於テ何々學科修業

一 何年何月何所何學校ニ於テ何々卒業

一 何年何月ヨリ何處何誰ニ就キ何々學科修業

一 卒業證書寫左ノ通り

何 々

從 來 ノ 職 業

一 何年何月ヨリ何年何月マテ何所ニ於テ何業ニ從事

一 何年何月何所ニ於テ何々ニ付何賞ヲ受ケ又ハ何罰ヲ受ケ

右ノ通り相違無之候也

年 月 日

右

氏

名

姓

收 入
印 紙

誓 約 書 (用紙半紙罫紙)

(47)

某(本人ノ名)儀貴校へ入學中御規則堅ク相守リ勉學可致ハ勿論半途退學等決シテ致ス間敷候且又本人ノ身上及金錢物品

(48)

等ノ辨償其他在學中ニ係ル一切ノ事件ハ保證人ニ於テ連帶其責ニ任シ可申候依テ連署ヲ以テ證書差入候也

何府縣何郡市何町村何番地居住
何府郡士族(平民)職業戶主(何子弟等)
本人 氏 生年月日 名 節

何府縣何郡市何町村何番地居住
何府縣士族(平民職業)
保證人 氏 生年月日 名 節

長野縣小縣郡何町村何番地居住
長野縣士族(平民)職業
保證人 氏 生年月日 名 節

長野縣立小縣甲種蠶業學校長殿

傍聽願書 (用紙半紙罫紙)

某(志願者ノ氏名)儀蠶業志望ニ付貴校本科(別科)(實習期)教授ノ傍聽致度御許可ノ上ハ御規則嚴重ニ相守リ可申候此段
相願候也

何府縣何郡市何町村何番地居住
何府縣士族(平民)
戶主(誰子弟等)
氏 生年月日 名 節

長野縣立小縣甲種蠶業學校長宛

第五章 試驗及證書

第廿四條 試驗ヲ分テ入學試驗學期試驗學年試驗トス

第廿五條 試驗評點ハ各學科一百ヲ以テ定點トス

第廿六條 入學試驗ハ其得點各學科三十以上平均五十以上ヲ以テ合格標準點トス

第廿七條 學期試驗及學年試驗ノ評點平素ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第廿八條 學年試驗ハ其得點各學科五十平均六十以上ヲ以テ各科標準點トス

第廿九條 學年進級及全科卒業ハ學年試驗評點ノ外平素ノ操行ヲ參酌シ教員會ノ意見ヲ聞キ學校長之ヲ定ム

第三十條 修業ノ者ニハ左式ノ證書ヲ授與ス

卒業證書 (用紙鳥ノ子紙)

何府縣士族(平民)

氏 生年月日 名



本校規定ノ本科(別科)課程ヲ卒業セルヲ以テ此證書ヲ授與ス

年 月 日

長野縣立小縣甲種蠶業學校長位勳

氏 名 節

割印

番 號

第卅一條

農業教員志望生ノ卒業者ニハ前條證書ノ外左ノ證明書ヲ授與ス

證明書 (用紙大奉書四ツ切)

(49)

校印

長野縣士族(平民)

氏

名 生年月日

右者本校ニ於テ本科ノ課程ヲ卒業シ農業教員タルニ適任ノ者ト認ム

年 月 日

氏

名 印

割印

番

號

長野縣立小縣甲種蠶業學校長位勳

第六章 懲 罰

第卅二條 校規若クハ命令ニ違背スル等生徒ノ本分ニ悖リタル行爲アルトキハ輕重ヲ量リ之ヲ罰ス

但傍聽生ニシテ本文ニ該當スルモノハ傍聽ヲ拒絶ス

第卅三條 罰ノ種類ハ譴責停學放校トス

第卅四條 譴責ハ訓諭ヲ加ヘ將來ヲ戒メ停學ハ在學ヲ停止シ父兄又ハ保證人ノ許ニ於テ謹慎セシメ放校ハ退學ヲ命スルモノトス

第卅五條 停學ニ處シタルトキハ知事ニ申報シ放校ニ處セントスルトキハ知事ノ認可ヲ受クルモノトス

第七章 授 業 料

第卅六條 生徒ハ左額ノ授業料ヲ納ムベシ

一本 科 生

一ヶ月金八拾錢

一別 科 生

一ヶ月金六拾錢

一傍 聽 生

一ヶ月金參拾錢

戰地ニ於ケル勤務ニ起因シテ死去シタル者傷痍ヲ受ケ若シクハ疾病ニ罹リタル者又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタル者若

ハ徵兵現役年限ヲ延期セラレタル者ノ子弟ニシテ學校長ニ於テ授業料減免ノ必要アリト認メタル者ニ對シテハ期間ヲ限リ之ヲ減免スルコトヲ得

前項授業料ノ減免ヲ爲サントスルトキハ其事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クルモノトス

第卅七條 授業料ハ出席ノ有無ニ拘ハラズ毎月十五日(休日ニ當ルト)キハ順延トス)之ヲ徵收ス若シ納付ヲ怠ルトキハ保證人ヨリ代納セシム

第卅八條 豫メ届出テ缺席全月ニ涉ルトキハ其月ノ授業料ヲ免除ス

但缺席事由正當ナラサルトキハ此限リニ非ス

第八章 寄 宿 舍

第卅九條 父兄又ハ親戚其ノ他學校ニ於テ適當ト認メタル家ヨリ通學スル者ノ外總テ寄宿舍ニ入ラシム

但シ寄宿員滿員ノトキハ此限リニアラス

第四十條 寄宿舍外ニ居ル生徒ハ保證人連署ヲ以テ其ノ止宿所ヲ届出ズベシ轉居シタルトキハ亦同シ

第四十一條 寄宿舍ハ實習後ノ休業冬季休業及學年末休業中ハ閉鎖スルコトアルヘシ

第四十二條 寄宿舍料ハ一人一ヶ月金參拾錢トシ毎月十五日之ヲ納ムヘシ

但シ休日ニ當ルトキハ順延トス

第四十三條 食費ハ毎月末日舍監ニ納ムヘシ

第四十四條 寄宿料又ハ食費ヲ第四十二條又ハ第四十三條ノ期日ニ納メサルトキハ保證人ヲシテ代納セシム

但シ事情ニ依リ退舍ヲ命スルコトアルヘシ

第九章 職 員 職 務

第四十五條 學校長ハ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統轄ス

第四十六條 教諭及助教諭ハ生徒ノ教育ヲ掌ル

長野縣立小縣中種蠶業學校別科學科課程每週授業時數表

學 科 課 程	每 週 授 業 時 數
蠶 體 解 剖 生 理 及 病 理	六
蠶 術 及 製 種	四
桑 樹 栽 培 法	二
病 蟲 害 法	六
氣 象 象 害	一
土 壤 象 害	二
肥 料 象 害	二
植 物 營 養	二
顯 微 鏡 實 習 (蠶體解剖及蠶卵蛹蛾檢查法)	四
養 蠶 實 習	不 定
桑 園 實 習	不 定
習 實	二 九

(備考) 授業日數不定トアルハ豫メ時間ヲ定メ難キニ依ル

福島縣立蠶業學校學則

第一章 總 則

第一條 本校ハ農業學校規程甲種ノ程度ニ依リ蠶業ニ從事セントスル者ニ須要ナル教育ヲ爲シ兼テ蠶業ニ關スル攻究ヲ爲ス
ヲ目的トス

第二條 本校ニ本科及別科ヲ置ク

第三條 修業期間ハ本科ハ三年四箇月別科ハ六箇月トス

第二章 學年、學期、式日及休業日

第四條 本科ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル但シ第四學年ハ七月三十一日ニ終ル

學年ハ分テ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日マテ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マテ第三學期ハ

翌年一月一日ヨリ三月三十一日マテトス

第五條 別科ノ學期ハ分テ前後ノ二學期トシ前學期ハ十月一日ヨリ十二月三十一日迄後學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日マテトス

第六條 紀元節、天長節及一月一日ニハ職員生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フ

本校創立紀念日及卒業證書授與ノ日ニハ職員生徒學校ニ參集シテ其ノ式ヲ行フ

第七條 休業日左ノ如シ

一、日曜日

二、大祭日及祝日

三、本校創立紀念日(十一月七日)

四、春季休業

學科	科	實	科
理	養蠶及採種法	蠶體解剖及病理	蠶蠶及採種法
裁	栽桑法	蠶體解剖及生理	蠶蠶及採種法
製	製絲法	蠶體解剖及生理	蠶蠶及採種法
蠶	蠶體解剖及生理	蠶體解剖及生理	蠶蠶及採種法
農	農學大意	蠶體解剖及生理	蠶蠶及採種法
經	經濟大意	蠶體解剖及生理	蠶蠶及採種法
計	計	蠶體解剖及生理	蠶蠶及採種法
製	蠶體解剖及病理	蠶體解剖及生理	蠶蠶及採種法
絲	蠶體解剖及生理	蠶體解剖及生理	蠶蠶及採種法
法	蠶體解剖及生理	蠶體解剖及生理	蠶蠶及採種法

實習ノ時數ハ學校長之ヲ定ム

第四章 生徒ノ入學、在學及退學

- 第十條 本科入學期ハ學年ノ始トシ別科入學期ハ學期ノ始トス
- 第十一條 入學者ハ左ノ資格ヲ具フルヲ要ス
 - 一、本科ハ年齡十四年以上ノ男子ニシテ修業年限二箇年ノ高等小學校卒業者クハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者
 - 二、別科ハ成年ノ男子ニシテ尋常小學校卒業者クハ之ト同等ノ學力ヲ有シ三箇年以上蠶蠶ニ從事シタル者
- 第十二條 入學セントスル者ハ入學願書(書式第一號)ニ履歷書(書式第二號)及戶籍謄本ヲ添ヘ學校長ニ差出スヘシ
- 第十三條 本科第一學年入學志願者中修業年限二箇年ノ高等小學校卒業者ニ就キテハ國語、算術、日本歴史、地理及理科ニ就キ修業年限二箇年ノ高等小學校卒業ノ程度ニ依リ試驗ヲ行ヒ其ノ學力ヲ檢定ス

- 科ニ就キ修業年限二箇年ノ高等小學校卒業ノ程度ニ依リ試驗ヲ行ヒ其ノ學力ヲ檢定ス
- 別科入學志願者ニ就テハ蠶蠶術ニ就キ入學試驗ヲ行フ但シ尋常小學校卒業者ニ就キテハ仍ホ國語算術及理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ試驗ヲ行ヒ其ノ學力ヲ檢定ス
- 第十四條 本科第一學年入學志願者ノ數募集員數ニ超過スルトキハ國語算術及理科ニ就キ選抜試驗ヲ行フ
- 第十五條 本科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ相當年齡ニ達シ其ノ前各學年ノ課程ヲ卒業リタル者ト同等ノ學力ヲ有スル者ニ限ル
- 前項入學志願者ノ學力ハ其ノ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試驗ニ依リテ檢定ス
- 第十六條 身體ノ狀況ニ依リ修業スル能ハスト認メタル者ハ入學ヲ許サス
- 第十七條 退學シタル生徒ニシテ退學シタル日ヨリ一箇年以内ニ入學ヲ志願シタルトキハ同一學年以下ノ學年ニ限り入學ヲ許スコトアルヘシ
- 第八條 本科ニ入學ノ許可ヲ得タル者ハ保證人ヲ定メ在學證書(書式第三號)ヲ學校長ニ差出スヘシ
 - 保證人ハ本校所在地ヨリ一里以内ニ住スル成年男子ニ限ル
 - 保證人ハ前項ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ在學證書ヲ差出スヘシ
- 第十九條 學校長ニ於テ保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ變換セシメ更ニ在學證書ヲ差出サシム
- 第二十條 保護者又ハ保證人住所ヲ移轉シ氏名ヲ改メ又ハ改印シタルトキハ學校長ニ届出ヅヘシ
- 第二十一條 在學中徵兵事故發生シタルトキハ其ノ都度學校長ニ届出ツヘシ
- 第二十二條 退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保護者及保證人連署ノ上學校長ニ許可ヲ請フベシ但シ疾病ノ爲メナルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フルヲ要ス
- 第二十三條 學校長ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ト認メタルトキハ退學ヲ命ス
 - 一、性行不真ニシテ改善ノ見込ナキ者
 - 二、學力及實習成績劣等ニシテ成業ノ見込ナキ者

三、正當ノ理由ナリシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者
 四、引續キ一箇年以上缺席シタル者
 五、出席常ナラサル者
 第二十四條 本章ニ於テ保護者ト稱スルハ生徒ニ對シテ主權ヲ行フ者ヲ謂フ但シ生徒カ戶主ナルトキハ其ノ生徒ニ對シテ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ謂フ

第五章 課程ノ修了及卒業ノ認定

第二十五條 本科第一學年乃至第三學年一課程ノ修了ヲ認ムルニハ平素ノ成績、操行及試験ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ム
 第二十五條ノ二 平素ノ成績ヲ考査スルニハ日課評點ニ依ル
 第二十五條ノ三 試験ハ分テ學期試験及學年試験トス
 學期試験ハ第一學年ニ於テハ第一學期末及第二學期末ニ於テ其ノ學期ニ履修シタル事項ニ就キ第二學年及第三學年ニ就テハ第二學期末ニ於テ第一學期ノ始メヨリ履修シタル事項ニ就キ之ヲ行フ但シ學科ニ依リ學期試験ヲ行ハサルコトアルヘシ
 學年試験ハ學年末ニ於テ其ノ學年ニ履修シタル事項ニ就キ之ヲ行フ
 第二十五條ノ四 正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタル者ニ對シテハ特ニ追試験ヲ行フコトアルヘシ
 第二十六條 各學科目學期ノ成績ハ學期試験ノ評點ノ日課評點トノ平均トス但シ學期試験ヲ行ハサル學科及第三學期ニ在リテハ日課評點ノミヲ以テ其ノ成績トス
 各學科目學年ノ成績ハ各學期ノ成績評點ト學年試験評點トノ平均トス
 一學科目ヲ數科目ニ分テ各々評點ヲ付スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ各科目ヲ各々一學科目ト見做ス
 前項ノ分科ハ學校長之ヲ定ム
 第二十七條 評點ハ一學科目百點ヲ以テ全點トス

第二十八條 各學科目學年ノ成績評點四十點以上總平均六十點以上ヲ得タル者ニアラサレハ進級セシメサルモトス但シ平素ノ學力及操行ヲ考査シ特ニ此ノ例ニ依ラサルコトアルヘシ
 第二十九條 本科ノ卒業ヲ認ムルニハ第四學年ノ實習ヲ了ヘタルトキ其ノ成績及操行ヲ考査シテ之ヲ定ム
 第三十條 第二十五條乃至第二十八條ノ規定ハ別科ニモ之ヲ準用ス
 第三十一條 學校長ハ本科ヲ卒業セリト認メタル者ニ卒業證書(書式第四號)別科ヲ修了セリト認メル者ニ修業證書(書式第五號)ヲ授與ス

第五章ノ二 授業料

第三十一條ノ二 授業料ハ一箇月本科ハ金壹圓別科ハ金五拾錢トス但シ學校ニ於テ休業セシムルコト全月ニ渉ルトキハ其ノ月分ハ之ヲ徴收セス
 第三十一條ノ三 授業料ハ學校長ノ交附スル納入告知書ニ依リ之ヲ納ムヘシ
 第三十一條ノ四 授業料ノ納期ハ毎月一日ヨリ五日マテトス但シ其ノ間休業ノ日アルトキハ順延トス
 前項ノ納期後入學シタル者ハ入學ノ日ヨリ五日以内納期前退學スル者ハ其際之ヲ納ムヘシ
 第三十一條ノ五 納入告知書ニ指定ノ期限内ニ授業料ヲ納付セサルトキハ出席ヲ停止ス
 前項ニ依リ出席ヲ停止シタルトキハ學校長之ヲ保護者又ハ保證人ニ通告ス
 第三十一條ノ六 前條ニ依リ出席ヲ停止セラレタル者其翌月ノ納期ヲ過キ仍授業料ヲ納メサルトキハ退學ヲ命ス此ノ場合於テハ其ノ滞納ニ係ル授業料ヲ徴收セス

第六章 褒賞及懲戒

第三十二條 在學中學業操行共ニ優良ナル者ハ學校長ニ於テ之ヲ表彰スルコトアルヘシ
 第三十三條 學校長ハ生徒ノ本分ヲ誤リ學校ノ風紀ヲ紊ルノ行爲アル者ニ對シ其ノ情狀ニ依リ左ノ懲戒ヲ行フ